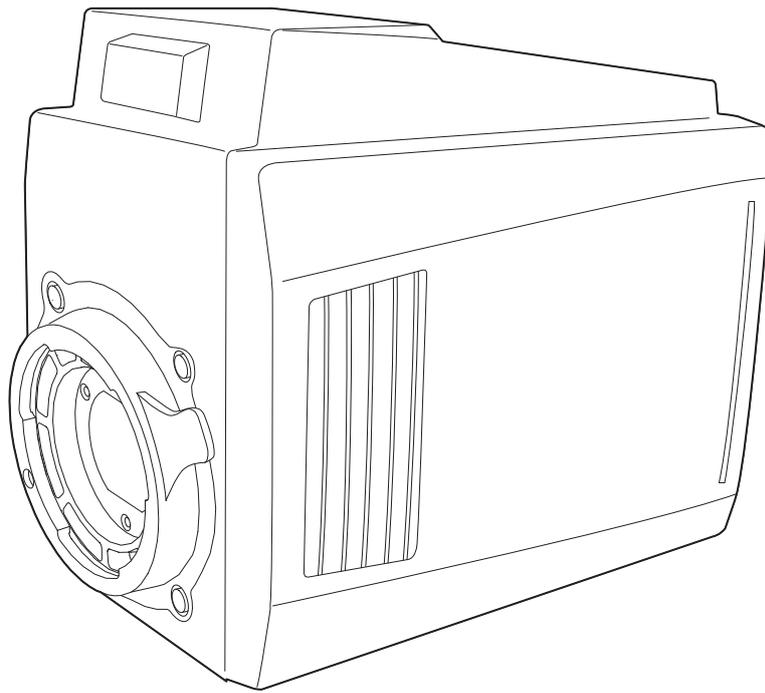


Panasonic[®]

取扱説明書

マルチパーパスカメラ

品番 **AK-UB300G**



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(5～7ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

-
- Microsoft®、Windows®、Windows® 7、Windows® 8、Windows® 8.1、Windows® 10、Internet Explorer®、ActiveX® および DirectX® は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Apple、Mac、OS X は、米国 Apple Inc. の米国および他の国で登録された商標です。
 - Intel®、Intel® Core™ は、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
 - その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。
 - 本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アSEMBル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、ならびに輸出法令に違反した輸出行為には禁じられています。

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- カメラ本体、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

■ 表記について

- [] の語句はビューファインダーやモニターに表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを (00 ページ) のように示しています。

■ 用語について

- Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 32/64 ビット版を Windows 7 と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8 Professional 32/64 ビット版を Windows 8 と表記しています。
- Microsoft® Windows® 8.1 Professional 32/64 ビット版を Windows 8.1 と表記しています。
- Microsoft® Windows® 10 Professional 32/64 ビット版を Windows 10 と表記しています。
- Windows® Internet Explorer® 8.0 版、Windows® Internet Explorer® 9.0 版、Windows® Internet Explorer® 10.0 版、Windows® Internet Explorer® 11.0 版を Internet Explorer と表記しています。
- 2160/** で表示されるフォーマットを UHD モードと表記しています。
- ***/** CROP で表示されるフォーマットを UHD CROP モードと表記しています。
- 1080/**、720/** で表示されるフォーマットを HD モードと表記しています。

もくじ

安全上のご注意	5
第 1 章 概要	8
ご使用前に	9
お知らせ	10
必要なパーソナルコンピュータの環境	10
免責について	10
ネットワークに関するお願い	10
システムで活用	11
基本構成機器	11
拡張構成機器	11
システムブロック図	11
付属品	15
フレーム周波数の設定	16
第 2 章 各部の名称	17
前面部	18
左面部	19
右面部	20
後面部	21
上面部	23
底面部	24
第 3 章 操作	25
モニターのオンスクリーン表示	26
データについて	28
ユーザーファイル	28
操作の手順	29
撮影のための調整	30
フランジバック調整	30
アイリスゲインボリューム調整	30
ホワイトバランス調整	30
ブラックバランス調整	30
ゲノロック調整	31
シャッターモードについて	32
シャッターモード/スピードの設定	32
シンクロスキャンモードの設定	32
画質の調整	33
ディテール機能	33
スキントーン機能	33
RB ゲインコントロール機能	34
クロマ設定機能	34
マトリックス機能	34
カラーコレクション機能	35
ブラックコントロール機能	35
ガンマ機能	35
二ー機能	36
ハイカラー機能	36
ホワイトクリップ機能	36
インテリジェント機能	37
マルチフォーマット	38
キャラクターの重畳	38
出力フォーマット一覧 (〈UHD/HD SDI OUT 1〉～〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子)	38
出力フォーマット一覧 (〈HD SDI OUT 1〉 / 〈HD SDI OUT 2〉 端子)	40
便利な撮影機能	41
スキャンリバース撮影	41
ゼブラパターンの表示	41
センターマーカ表示	41
セーフティーゾーンマーカ表示	41
フレームマーカ表示	41
ダイナミックレンジストレッチャー機能	41
カラーバー	42
フォーカスアシスト機能	42
フラッシュバンド補正 (FBC) 機能	42
UHD 切り出し機能	43
霧除去機能	44
第 4 章 メニュー操作	45
メニューの操作	46
基本操作	46
メニューの構成	48
[MAIN MENU]	48
メニューの一覧	49

[DISPLAY SETUP]	49
[SWITCH MODE]	50
[PAINT]	54
[HDR-PAINT]	63
[SYSTEM MODE]	64
[IN/OUT SELECT]	65
[INTELLIGENT]	67
[NETWORK SETUP]	68
[FILE]	68
[MAINTENANCE]	69
[DIAGNOSTIC]	70
第 5 章 外部機器との接続	71
リモートカメラコントローラー (AW-RP50/AW-RP120G) の接続	72
〈I/F〉端子とのシリアル接続	72
〈LAN〉端子との IP 接続	74
リモートオペレーションパネル (AK-HRP200G) の接続	75
〈I/F〉端子とのシリアル接続	75
〈LAN〉端子との IP 接続	75
リモートオペレーションパネル (AK-HRP1000/AK-HRP1005G) の接続	76
〈I/F〉端子とのシリアル接続	76
〈LAN〉端子との IP 接続	76
屋内回転台 (AW-PH400) の接続	77
〈I/F〉端子との接続	77
第 6 章 Web 画面	79
ネットワークの設定	80
ソフトウェアについて	80
簡単 IP 設定ソフトウェアを使用して本機の設定をする	80
表示用プラグインソフトウェアをインストールする	81
Web 画面の表示	82
Web 画面に関するお知らせ	82
パーソナルコンピュータによる Web 画面の表示	82
[Live] 画面 / [Setup] 画面の切り替え	83
[Live] 画面 (シングル表示モード)	84
各部の名前とはたらき ([Live] 画面)	85
[Live] 画面 (マルチ表示モード)	88
[Multi-screen] ボタン	88
[Setup] 画面	89
[Setup] 画面へのログイン	89
各部の名前とはたらき ([Setup] 画面)	89
[Basic] 画面	90
[Image] 画面	90
[Multi-screen setup] 画面	95
[User mng.] 画面	96
[Network] 画面	97
[Maintenance] 画面	99
第 7 章 UB300 Setting Tool	102
はじめに	103
UB300 Setting Tool の機能	103
セットアップ	104
インストール	104
接続	105
操作	106
起動	106
トップ画面	106
接続設定画面	107
ファームウェアアップデート機能画面	107
設定メニュー画面	108
第 8 章 メンテナンス	109
故障かな?と思ったら	110
操作関係	110
IP 映像関係	111
Web 画面	112
ご使用時間の確認	114
ワーニング表示について	115
カメラワーニング表示	115
その他のワーニング表示	115
本機搭載ファームウェアのアップデート	116
保証とアフターサービス (よくお読みください)	117
修理を依頼される時	117

第 9 章 仕様	118
定格	119
総合	119
カメラ部	119
ビデオ入出力部	120
その他入出力部	120
コネクタ-信号の内容	121
さくいん	124

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

 **注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

    してはいけない内容です。

  実行しなければならない内容です。

警告

カメラは…

 電源プラグ を抜く	<p>■ 異常があったときは、DC コードを抜く 内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき (そのまま使用すると、火災の原因になります。) ⇒ 販売店にご相談ください。</p>
	<p>■ ぶら下がらない、足場代わりにしない (落下などの事故の原因になります。)</p> <p>■ 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど * の原因になります。) ⇒ 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。 * 血流状態が悪い人 (血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている) や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。</p>
 接触禁止	<p>■ 雷が鳴り出したら、本機の金属部や DC コードに触れない (落雷すると、感電につながります。)</p>
 分解禁止	<p>■ 分解や改造をしない (火災の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。) ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。</p>
 水場使用禁止	<p>■ 水場で使用しない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする (火災の原因になります。) ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花瓶などの容器を置かないでください。</p> <p>■ 工事は販売店に依頼する (工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。) ⇒ 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。</p> <p>■ 付属品・オプションは指定の製品を使用する (本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。)</p> <p>■ 使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください ⇒ 販売店にご相談ください。</p>

警告 (つづき)

DCコードは…



■ DCコードを破損するようなことはしない
[傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]
(感電・火災の原因になります。)
⇒コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



■ DCコードは、根元まで確実に差し込む
(差し込みが不完全ですと、発熱による火災の原因になります。)
⇒傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

小さな付属品は…



■ フランジナット、取り付けねじは乳幼児の手に届くところに置かない
(誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
⇒万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。


注意

カメラや付属品は…

	<p>■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温 (約 60℃以上) になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)</p>
	<p>■ ろうそく等の炎を機器の近くに置かない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ DC コードを抜くときは、コードを引っ張らない (コードが傷つき、火災の原因になります。) ⇒必ずプラグやコネクタを持って抜いてください。</p>
	<p>■ 落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因になります。)</p>
	<p>■ ケーブルなどは引っ張らない (火災の原因になります。)</p>
	<p>■ 三脚を取り付けた状態で、本機を持って運搬しない (三脚の重さで取り付け部が破損し、けがの原因になります。)</p>
	<p>■ 定期的に点検する (金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。) ⇒点検は販売店にご依頼ください。</p>
	<p>■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)</p>
 電源プラグを抜く	<p>■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、DC コードを抜く (火災の原因になります。)</p>

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検 (1年に1回をめやすに) をお願いします。

定格銘板は底面にあります。

第 1 章 概要

ご使用になる前に本章をお読みください。

ご使用前に

■ 撮影は適正な照明のもとで行ってください

- 美しいカラー映像を得るには適正な照明で撮影してください。
- 蛍光灯の照明では正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。
- 明るすぎるところでは ND フィルターをお使いください。

■ ケーブルの抜き差しは電源を切ってください

- ケーブルの抜き差しは必ず機器の電源を切ってから行ってください。

■ 取り扱いについて

- 落としたり、強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

■ 光学系部には触れないでください

- 光学系部はカメラの「生命」です。レンズを外したときなど、光学系には絶対に触れないでください。万一、ほこりが付いた場合は、カメラ用のブロワーやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

■ 太陽光やレーザー光に向けしないでください

- 太陽光・レーザー光などを長時間撮像すると、MOS を破壊する原因となります。

■ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用について

- 機器がぬれたり水が入ったりしないようにしてください。

■ 湿気、ほこりについて

- 湿気、ほこりの多いところは内部の部品が傷みやすくなります。避けてください。

■ 使用温度範囲について

- 次のようなところでは画質低下や内部の部品に悪影響を与えます。避けてください。
 - 10℃以下の寒いところ
 - 45℃以上の暑いところ
- 低温環境下では予熱が必要になります。▲表示が消灯していることを確認し、ご使用ください。

■ お手入れについて

- 電源を切って乾いた布で拭いてください。ほこりがとれにくいときは、台所用洗剤を布に浸み込ませて軽く拭いてください。
- レンズの清掃はレンズクリーニングペーパー（メガネやカメラなどの清掃に使うもの）で行ってください。

■ 冷却ファンについて

- 内部には冷却ファンが付いています。
- 冷却ファンは消耗品です。約 60,000 時間を目安に交換してください。交換は必ず販売店へ依頼してください。

■ 周辺機器ソフトウェアについて

- 本機に接続する周辺機器は、ソフトウェアのアップデートが必要なことがあります。
- 詳細については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■ 個人情報の保護について

- 本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
- 「個人情報」については、経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

- 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。本製品には、The BSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

お知らせ

必要なパーソナルコンピュータの環境

次の条件を満たすホストコンピュータをご使用ください。

■ CPU

Intel® Core™2 DUO 2.4 GHz 以上推奨

■ メモリー

● Windows

1 GB 以上

ただし、Microsoft® Windows® 10/Microsoft® Windows® 8.1/Microsoft® Windows® 8/Microsoft® Windows® 7 の 64 ビットの場合は、2 GB 以上

● Mac

2 GB 以上

■ ネットワーク機能

10BASE-T または 100BASE-TX

1 ポート

■ 画像表示機能

解像度：1024×768 ピクセル以上

発色：True Color 24 ビット以上

■ 対応 OS と Web ブラウザー

● Windows

Microsoft® Windows® 10 Professional 64 ビット /32 ビット *1

Microsoft® Windows® 8.1 Professional 64 ビット /32 ビット *1

Windows® Internet Explorer® 11.0*1*3

Microsoft® Windows® 8 Professional 64 ビット /32 ビット *1

Windows® Internet Explorer® 10.0*1*3

Microsoft® Windows® 7 Professional SP1 64 ビット /32 ビット *2

Windows® Internet Explorer® 11.0/10.0/9.0/8.0*3

*1 デスクトップ用 Internet Explorer でご利用ください。(Windows UI の Internet Explorer には対応していません)

*2 Windows® XP 互換モードでは使用できません。

*3 Internet Explorer® 64 ビット版では使用できません。

● Mac

OS X 10.11 Safari 9.0

OS X 10.10 Safari 8.0.4

OS X 10.9 Safari 7.0.2

OS X 10.8 Safari 6.1.2

免責について

当社はいかなる場合も、次の項目に関して一切の責任を負わないものとします。

- 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 取り付け方法の不備など、本商品の不良によるもの以外の事故に対する不便・損害・被害
- 登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと
- 本体やメモリーカードまたはパーソナルコンピュータに保存された画像データ、設定データの消失あるいは漏えいなどによるいかなる損害、クレームなど

ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用する機能もあります。

ネットワークへ接続して使用する際には、次のような被害に遭うことを考えることができます。

- 本機を経由した情報の漏えいや流出
- 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任のもと、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性が確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パーソナルコンピュータが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。

また、次の点もご確認ください。

- 本機やケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

システムで活用

マルチパスカメラ（AK-UB300G）と周辺機器から構成される標準システムの例を示します。

接続機器については、各機器の取扱説明書を参照してください。

取扱説明書に記載された情報以外の最新情報は、次の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

基本構成機器

レンズなど本機の基本となる構成機器です。

品名	品番	備考
レンズ	FUJINON/CANON	—
リモートカメラコントローラー	AW-RP50/AW-RP120G	本機や回転台を制御するコントローラーです。
リモートオペレーションパネル	AK-HRP200G	本機を制御するコントローラーです。
	AK-HRP1000/AK-HRP1005G	

拡張構成機器

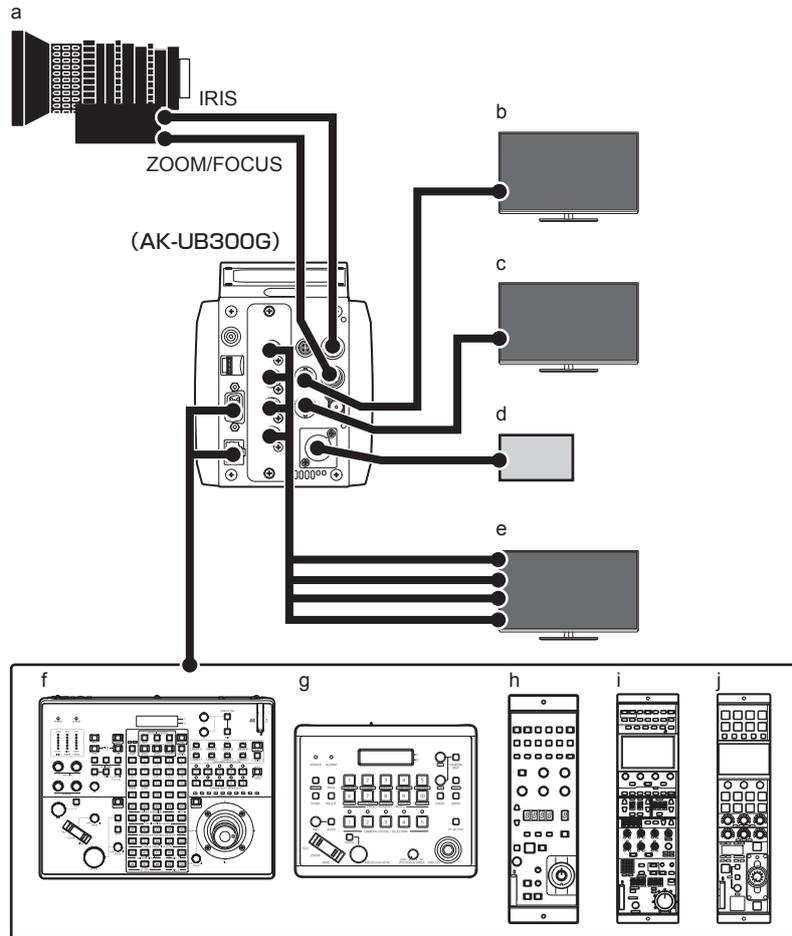
基本構成機器に加えて、次の機器が接続できます。

品名	品番	備考
屋内回転台	AW-PH400	—
プロトコルコンバーター	AW-IF400G	リモートカメラコントローラーから屋内回転台を制御するためのコンバーターです。
12G 出力ボード	AK-UHD12G	本機に装着することで 12G SDI 信号または 3G SDI 信号を出力できます。
3G TICO UHD 出力ボード	AK-UTS03G	本機に装着することで、3G TICO SDI 信号を出力できます。
3G TICO & 12G to Quad 3G SDI コンバーター	AK-UGB01G	<p>UHD 信号のコンバーターです。ケーブル 1 本で伝送可能な 12G SDI 信号または 3G TICO SDI 信号をクワッドリンク SDI 信号に変換できます。</p> <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> 本機に 12G 出力ボード AK-UHD12G、または 3G TICO UHD 出力ボード AK-UTS03G を装着したときのみ接続できます。

システムブロック図

1 対 1 構成

AK-UB300G を 1 台、リモートカメラコントローラーまたはリモートオペレーションパネルを 1 台接続する構成です。



a: リモートコントロールレンズ

b: HD モニター (HD 本線用)

c: HD モニター (HD モニター用)

d: 外部 DC 電源

e: UHD/HD モニター (UHD/HD 本線用)

f: AW-RP120G

g: AW-RP50

h: AK-HRP200G

i: AK-HRP1000

j: AK-HRP1005G

● 映像出力

UHD モード時

- UHD 本線用: 〈UHD/HD SDI OUT 1〉 ~ 〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子からの出力を使用

- HD 本線用: 〈HD SDI OUT 1〉 端子からの出力を使用

- HD モニター用: 〈HD SDI OUT 2〉 端子からの出力を使用

UHD CROP モード / HD モード時

- HD 本線用: 〈HD SDI OUT 1〉 端子からの出力、または、〈UHD/HD SDI OUT 1〉 / 〈UHD/HD SDI OUT 2〉 端子からの出力を使用

- HD モニター用: 〈HD SDI OUT 2〉 端子からの出力を使用

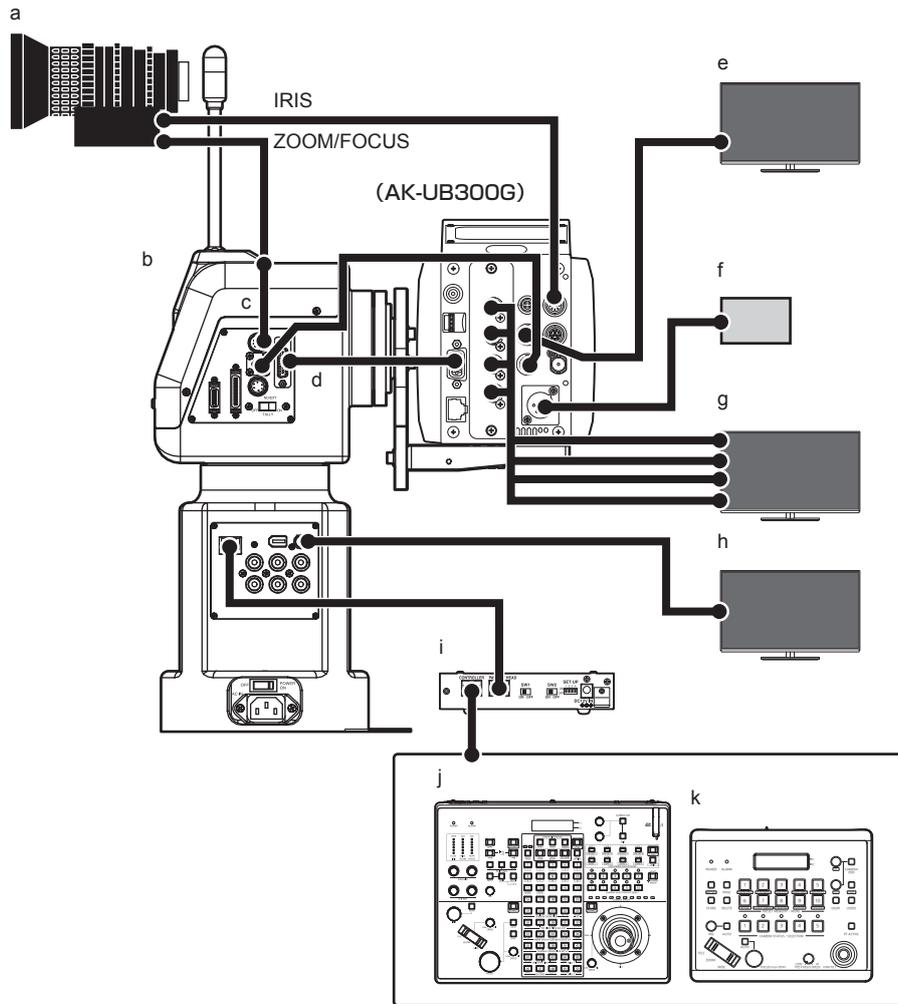
NOTE

- ・〈MENU〉 ボタンを押すと、〈HD SDI OUT 2〉 端子からの出力にメニューを表示します。
- リモートカメラコントローラー
AW-RP50 または AW-RP120G を 〈I/F〉 端子または 〈LAN〉 端子に接続
- リモートオペレーションパネル
AK-HRP200G、AK-HRP1000 または AK-HRP1005G を 〈I/F〉 端子または 〈LAN〉 端子に接続

屋内回転台を使用した構成

AK-UB300G を 1 台、屋内回転台およびリモートカメラコントローラーを 1 台接続する構成です。

■ AW-PH400



a: リモートコントロールレンズ

b: AW-PH400

c: 中継ケーブル

リモートコントロールレンズのズーム / フォーカスコントロール用ケーブルを AW-PH400 と接続するときは、中継ケーブルを経由させてください。直接接続すると、機器が故障することがあります。

d: AW-CA15H29G

e: HD モニター (HD 本線用)

f: 外部 DC 電源

g: UHD/HD モニター (UHD/HD 本線用)

h: HD モニター (HD 本線 / モニター用)

i: AW-IF400G

j: AW-RP120G

k: AW-RP50

● 映像出力

UHD モード時

- UHD 本線用 : 〈UHD/HD SDI OUT 1〉 ~ 〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子からの出力を使用

- HD 本線用 : 〈HD SDI OUT 1〉 端子からの出力を使用

- HD 本線 / モニター用 : AW-PH400 の 〈SDI〉 端子からの出力を使用

UHD CROP モード / HD モード時

- HD 本線用 : 〈HD SDI OUT 1〉 端子からの出力、または、〈UHD/HD SDI OUT 1〉 / 〈UHD/HD SDI OUT 2〉 端子からの出力を使用

- HD 本線 / モニター用 : AW-PH400 の 〈SDI〉 端子からの出力を使用

NOTE

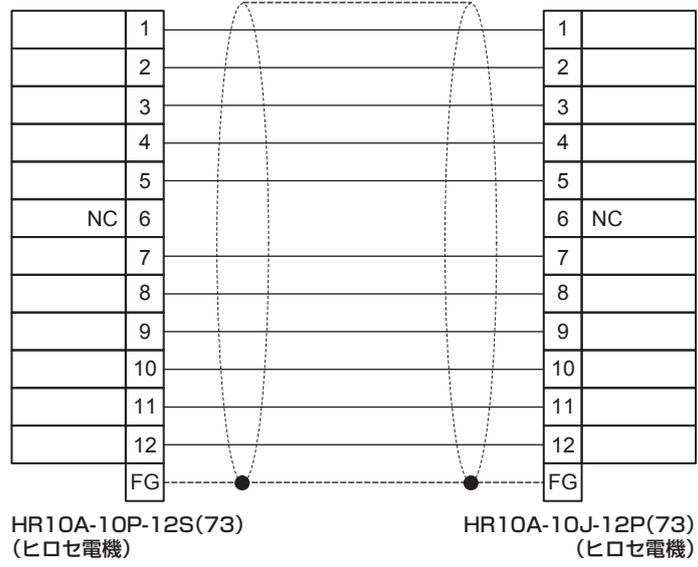
・ 〈MENU〉 ボタンを押すと、〈HD SDI OUT 2〉 端子からの出力にメニューを表示します。

● リモートカメラコントローラー

AW-RP50 または AW-RP120G を AW-PH400 の 〈IP/RS〉 端子に接続

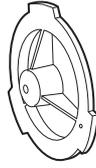
■ 中継ケーブル仕様

6 番ピンは未接続にしてください。



付属品

マウントキャップ (製品本体にあらかじめ取り付けられています)



フランジナット (1 個)



ワイヤー取り付けねじ (2 個)



NOTE

・ 包装材料は商品を取り出した後、適切に処理してください。

フレーム周波数の設定

本機はフレーム周波数が未設定の状態出荷されています。初めて本機をご使用になるときには、次の手順でフレーム周波数を設定してください。

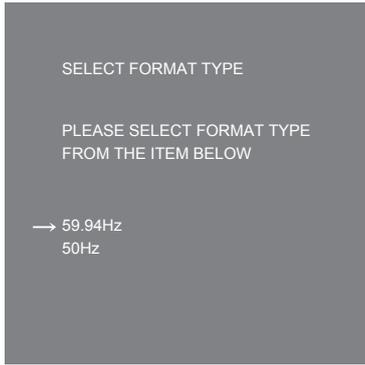


図 1



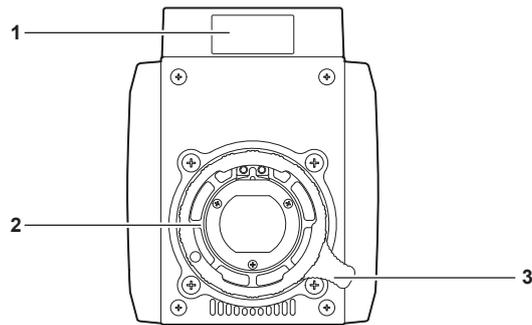
図 2

- 1 〈HD SDI OUT 2〉端子 (21 ページ) にモニターを接続する。
- 2 DC 電源を接続する。
[SELECT FORMAT TYPE] 画面が表示されます。
- 3 ジョグダイヤルボタンを回して設定したい周波数にカーソル (矢印) を移動させる。(図 1)
- 4 ジョグダイヤルボタンを押す。
確認画面が表示されます。
- 5 [YES] にカーソル (矢印) を移動させ、ジョグダイヤルボタンを押す。(図 2)
メニュー画面が表示され、設定が完了します。
一度設定すると、次回電源を入れたとき以降、この画面は表示されません。
- 6 DC 電源を切る。
- 7 DC 電源を入れる。

第2章 各部の名称

本機の各部の名称と機能、動作について説明します。

前面部



1 フロントタリーランプ

タリー信号が送られると点灯します。
ワーニング表示中は赤色、ファームウェアアップデート中は緑色で点滅します。

NOTE

・ [MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [TALLY] → [FRONT TALLY] で明るさを設定できます。ファームウェアアップデートのときは、設定に関わりなく [LOW] で緑色点滅します。

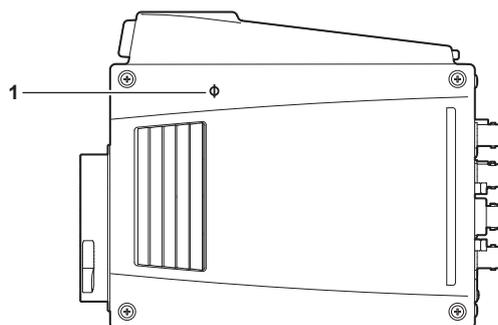
2 レンズマウント (2/3 型バヨネット式)

レンズを取り付けます。

3 レンズ固定レバー

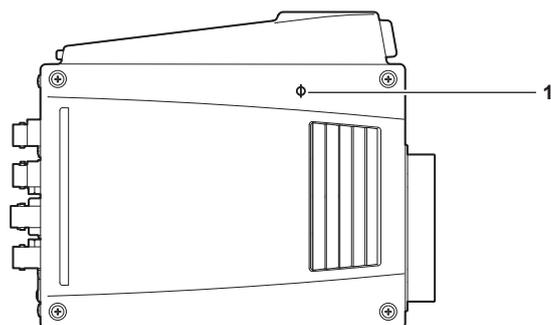
レンズをレンズマウントに取り付けた後、レバーを時計方向に回してレンズを固定します。

左面部



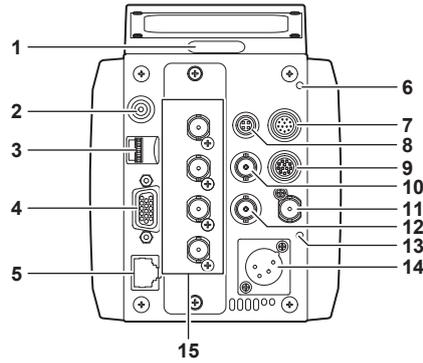
- 1 〈φ〉マーク
カメラ内の撮像面の位置を示します。

右面部



- 1 〈φ〉マーク
カメラ内の撮像面の位置を示します。

後面部

**1 バックタリーランプ**

タリー信号が送られると点灯します。
ワーニング表示中は赤色、ファームウェアアップデート中は緑色で点滅します。

NOTE

・ [MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [TALLY] → [BACK TALLY] で明るさを設定できます。ファームウェアアップデートのときは、設定に関わりなく [LOW] で緑色点滅します。

2 〈MENU〉 ボタン

ボタンを押すと、カメラの [MAIN MENU] 画面が表示されます。
再度ボタンを押すと、もとの映像に戻ります。

3 ジョグダイヤルボタン

設定メニューを表示しているときは、設定メニューのページの移動、項目の選択や設定を行います。
ジョグダイヤルボタンを下側に回すと、カーソルが下側に移動します。上側に回すと、カーソルが上側に移動します。
また、ジョグダイヤルボタンを押すと設定内容が確定します。

4 〈I/F〉 端子

カメラへの外部同期信号、制御信号用ケーブルを接続します。
接続ケーブルの仕様は「コネクター信号の内容」(121 ページ) を参照してください。

5 〈LAN〉 端子

LAN ケーブルを接続します。

NOTE

・ 〈LAN〉 端子に接続するケーブルは、シールドケーブルをご使用ください。

6 〈WARNING〉 ランプ

異常が発生すると、赤色に点灯します。

7 〈IRIS〉 端子

レンズのアイリスコントロール用ケーブルを接続します。

8 〈TALLY OUT〉 端子

R タリーと G タリーを出力します。

9 〈ZOOM/FOCUS〉 端子

レンズのズーム / フォーカスコントロール用ケーブルを接続します。

10 〈HD SDI OUT 1〉 端子

HD SDI 専用の本線出力端子です。

NOTE

・ 5C-FB 以上のケーブルをご使用ください。

11 〈G/L IN〉 端子

カメラに外部同期をかけるときの基準信号入力端子です。

NOTE

・ 入力信号は、コンポジット信号（ブラックバースト）または 3 値 SYNC を供給してください。

12 〈HD SDI OUT 2〉 端子

HD SDI 専用のモニター出力端子です。

NOTE

・ 5C-FB 以上のケーブルをご使用ください。

13 〈DC IN〉 ランプ

カメラに電源が供給されると、緑色に点灯します。

14 〈DC IN〉 端子

外部 DC 電源の入力用端子です。外部 DC 電源と接続します。(DC 11 V ~ 17 V)

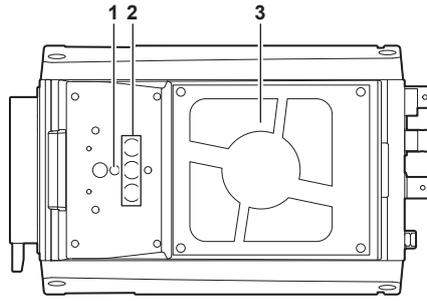
15 〈UHD/HD SDI OUT 1〉 / 〈UHD/HD SDI OUT 2〉 / 〈UHD/HD SDI OUT 3〉 / 〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子

UHD および HD SDI の本線出力端子です。

 **NOTE**

- 5C-FB 以上のケーブルをご使用ください。

上面部

**1 落下防止用ワイヤー取り付け用ねじ穴**

- 取り付け穴サイズ
- M4

2 取り付け用ねじ穴

- カメラハウジングなどに設置するときに使用します。
- 取り付け穴サイズ
- 1/4-20 UNC (3 個)

NOTE

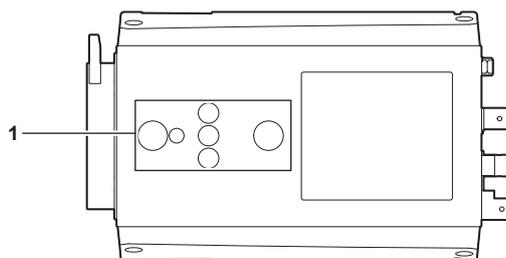
- ねじ穴の深さは 10 mm です。長さ 10 mm 以下の取り付けねじを使用ください。

3 冷却ファン

本機冷却用のファンです。

- 動作時にふさいだり、通風を妨げたりしないでください。内部に熱がこもり火災の原因になります。
- このファンの寿命は約 60,000 時間です。(室温 25 °C で使用時) 寿命のときは、交換してください。
- 交換は必ず販売店へ依頼してください。

底面部



1 取り付け用ねじ穴

カメラハウジングに設置するときや、回転台、三脚を取り付けます。

- 取り付け穴サイズ
 - 1/4-20 UNC (3 個)
 - 3/8-16 UNC (2 個)

NOTE

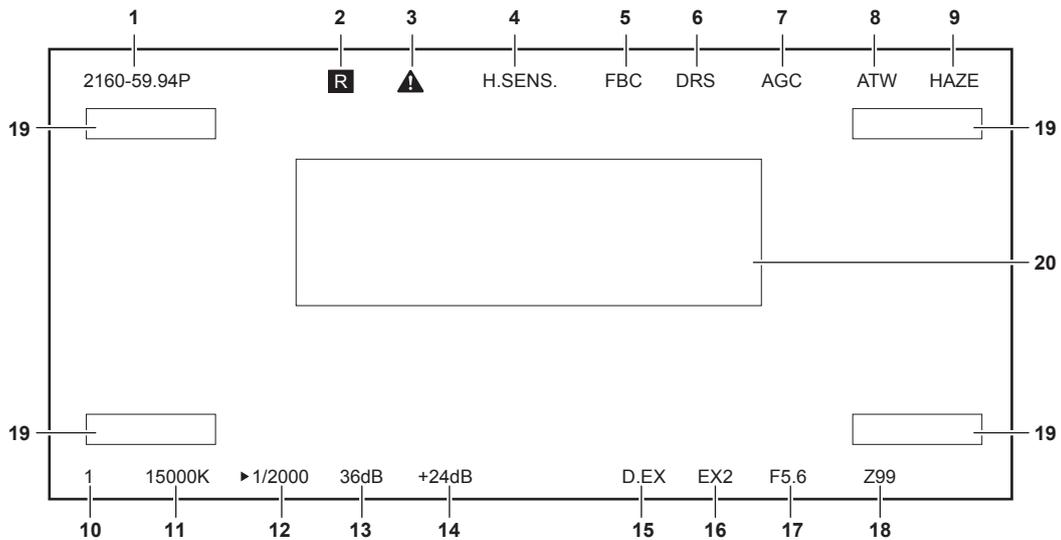
- ねじ穴の深さは 10 mm です。長さ 10 mm 以下の取り付けねじを使用ください。

第3章 操作

本機の操作方法について説明します。

モニターのオンスクリーン表示

マルチパスカメラの設定と動作状態を示すメッセージが、モニターの画面内に表示されます。
表示できる全ての項目は、次の図のように配置されています。



1 システムモード表示

システム周波数を表示します。

- [2160/60p]
- [2160/59.94p]
- [2160/50p]
- [2160/29.97p]
- [2160/29.97PsF]
- [2160/25p]
- [2160/25PsF]
- [2160/23.98p]
- [2160/23.98PsF]
- [1080/60p]
- [1080/59.94p]
- [1080/59.94p CROP]
- [1080/59.94i]
- [1080/59.94i CROP]
- [1080/50p]
- [1080/50p CROP]
- [1080/50i]
- [1080/50i CROP]
- [1080/29.97PsF]
- [1080/25PsF]
- [1080/23.98p]
- [1080/23.98PsF]
- [720/60p]
- [720/59.94p]
- [720/50p]

2 タリー表示

タリー信号が送られる则表示します。

3 ウォームアップワーニング

内部温度が低いときに、表示します。

4 高感度モード表示

[MAIN MENU] → [SYSTEM MODE] → [SHOOTING MODE] → [HIGH SENS] のとき表示されます。

5 フラッシュバンド補正表示

[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [FBC SETTING] → [FBC] → [ON] のとき表示されます。

6 ダイナミックレンジストレッチャー表示

ダイナミックレンジストレッチャー機能が動作しているときに表示されます。

7 オートゲインコントロール表示

オートゲインコントロール機能が有効になっているときに表示されます。

8 オートトラッキングホワイトバランス

オートトラッキングホワイトバランス機能が有効になっているときに表示されます。

9 霧除去機能表示

霧除去機能が有効になっているときに表示されます。

10 ND フィルター表示

選択されている ND フィルターの値が表示されます。

- [1]
- [2]
- [3]
- [4]

11 色温度表示

カメラで設定されている色温度が表示されます。

オートホワイトバランス実行時のメモリー値とメニュー設定値の場合があります。

12 シャッタースピード表示

現在のシャッタースピードが表示されます。

13 マスターゲイン表示

現在のゲイン値が表示されます。

- [-6dB] ~ [36dB]

14 フレームミックス (蓄積ゲイン) 表示

蓄積ゲインが動作しているときに、その値を表示します。

- [+6dB] / [+12dB] / [+18dB] / [+24dB]

15 デジタルエクステンダー表示

デジタルエクステンダーを使用しているときに表示されます。

16 レンズエクステンダー表示

レンズエクステンダーを使用しているときに表示されます。

17 アイリス表示

アイリス設定 (F 値) が表示されます。F 値はおおよそその値になります。

18 ズーム位置表示

ズーム位置が表示されます。

- [00] ~ [99]

 **NOTE**

・ズーム位置を出力するレンズを使用しているときに表示されます。

19 カメラ ID

カメラ ID が表示されます。表示位置は四隅から選択できます。

20 カメラ警告、情報表示エリア

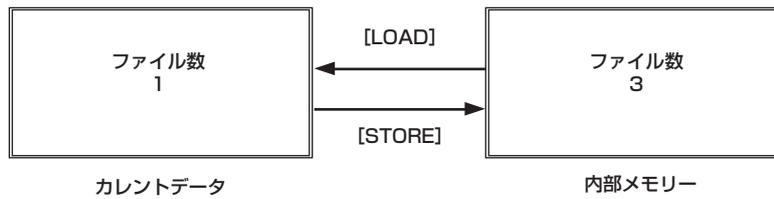
エラーの発生、カメラの設定、調整進行状況、および調整結果を示すメッセージが約 3 秒間表示されます。

データについて

カメラで取り扱うデータは次のとおりです。

管理機器	名称	個数	説明
カメラ	ユーザーファイル	1 ~ 3	[MAIN MENU] で設定されたカメラで保持している機器設定データです。 カメラにて管理します。 [MAIN MENU] → [FILE] → [USER FILE] で保存、読み出しができます。
	レンズファイル	1 ~ 32	ビデオエンジニアが扱うレンズ固有の特性を補正するデータです。 カメラにて管理します。 [MAIN MENU] → [MAINTENANCE] → [LENS FILE ADJUST] で保存、読み出しができます。
	シーンファイル	1 ~ 8	主にビデオエンジニアが扱う絵作り用データです。 カメラにて管理します。 [MAIN MENU] → [FILE] → [SCENE FILE] で保存、読み出しができます。

ユーザーファイル



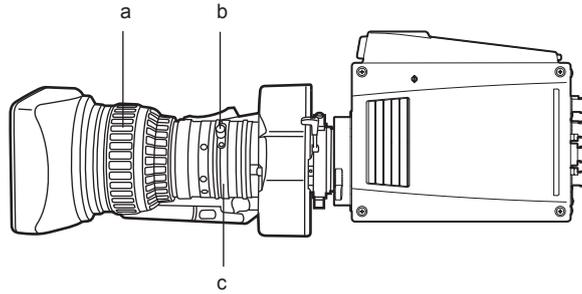
操作の手順

- 1** 各機器の電源を入れる。
- 2** 被写体の照明を適度にする。
- 3** レンズのフランジバックを調整し、絞り、ピントを合わせる。
フランジバック調整は、カメラを初めて使用するときや、レンズを交換したときには必ず行ってください。
- 4** ホワイトバランスを調整する。
カメラを初めて使用するときや、長時間使用しなかったときに必要です。
照明条件や明るさが変化したときに必要です。
ホワイトバランスは一度調整すると、同じ条件のもとでは調整する必要はありません。
- 5** ブラックバランスを調整する。
カメラを初めて使用するときや、長時間使用しなかったときに必要です。
周囲の温度が大幅に変化したときや季節の変わり目などに必要です。
ブラックバランスは一度調整すると、同じ条件のもとでは調整する必要はありません。
- 6** 撮影する。
撮影が終了したら、各接続機器の電源を切ってください。

撮影のための調整

フランジバック調整

フランジバックは、ズームレンズの最望遠から最広角までの全範囲でピントを合わせる調整です。ズームレンズを使用するときに調整が必要です。



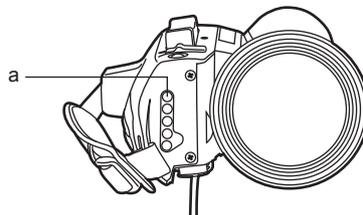
- a: フォーカスリング
- b: フランジバック固定つまみ
- c: フランジバック調整リング

- 1 暗い被写体を写し、絞りを開放する。
- 2 被写体との距離を 2 m 以上にし、レンズのフランジバック固定つまみをゆるめる。
- 3 レンズを最望遠にし、フォーカスリングでピントを合わせる。
- 4 レンズを最広角にし、フランジバック調整リングでピントを合わせる。
- 5 ズーム範囲内でピントが合うまでフォーカスリングとフランジバック調整リングで、繰り返し調整する。
- 6 調整終了後、フランジバック固定つまみを締め付ける。

アイリスゲインボリューム調整

レンズハウジング前面にアイリスゲイン調整用穴（G または S 表示）があります。ドライバーを使用してレンズ内のアイリスゲインボリュームを調整します。

■ 自動絞りパワーズームレンズの例



- a: アイリスゲイン調整ボリューム

- 1 レンズのアイリス選択スイッチを A（AUTO）側にします。
- 2 アイリスゲイン調整ボリュームを回してハンチングが起こらない範囲でゲインを最高にする。

NOTE

- ・ [MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [IRIS] → [IRIS GAIN] → [CAM] に設定すると、[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [IRIS] → [IRIS SPEED] で調整できます。

ホワイトバランス調整

白い被写体を画面 50% 以上に映してからホワイトバランスを調整してください。

白の信号レベルが 100% 以上、50% 以下のときは正常にホワイトバランス調整が機能しないことがあります。

ブラックバランス調整

レンズをクローズにして調整します。

モータードライブレンズをカメラからコントロールしているときは、ブラックバランスを調整すると自動的にクローズになります。

ゲンロック調整

外部から供給された基準信号に本機から出力される映像信号をロックさせることができます。本機は外部基準信号を〈G/L IN〉端子または〈I/F〉端子から受けることができます。

- 1 [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [GEN-LOCK] を選択する。
- 2 [GEN-LOCK INPUT] で同期信号の入力先を選択する。
- 3 [H PHASE-COARSE] で同期信号入力と映像信号出力の位相を粗調整する。
- 4 [H PHASE-FINE] で同期信号入力と映像信号出力の位相を微調整する。

NOTE

- ・12G 出力ボード AK-UHD12G を装着しているときに、[H PHASE-COARSE] または [H PHASE-FINE] で映像信号出力の位相を調整すると、12G 出力ボード AK-UHD12G から出力される映像が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。

外部基準信号フォーマット

各システムフォーマットでゲンロックをかけることができる外部基準信号フォーマットは次のとおりです。

〈G/L IN〉端子または〈I/F〉端子に外部基準信号の入力がないときは、ゲンロックをかけることができません。

- ：ロックできます。
- ：ロックできません。

[MAIN MENU]	〈G/L IN〉端子または〈I/F〉端子への入力信号			
[FORMAT]	1080/60i	1080/59.94i	1080/50i	1080/23.98PsF
[2160/60p]	○	—	—	—
[2160/59.94p]	—	○	—	—
[2160/50p]	—	—	○	—
[2160/29.97p]	—	○	—	—
[2160/29.97PsF]	—	○	—	—
[2160/25p]	—	—	○	—
[2160/25PsF]	—	—	○	—
[2160/23.98p]	—	—	—	○
[2160/23.98PsF]	—	—	—	○
[1080/60p]	○	—	—	—
[1080/59.94p]	—	○	—	—
[1080/59.94p CROP]	—	○	—	—
[1080/59.94i]	—	○	—	—
[1080/59.94i CROP]	—	○	—	—
[1080/50p]	—	—	○	—
[1080/50p CROP]	—	—	○	—
[1080/50i]	—	—	○	—
[1080/50i CROP]	—	—	○	—
[1080/29.97PsF]	—	○	—	—
[1080/25PsF]	—	—	○	—
[1080/23.98p]	—	○	—	—
[1080/23.98PsF]	—	—	—	○
[720/60p]	—	—	—	—
[720/59.94p]	—	—	—	—
[720/50p]	—	—	—	—

[MAIN MENU]	〈G/L IN〉端子または〈I/F〉端子への入力信号				
[FORMAT]	720/60p	720/59.94p	720/50p	525/59.94i	625/50i
[2160/60p]	—	—	—	—	—
[2160/59.94p]	—	—	—	○	—
[2160/50p]	—	—	—	—	○
[2160/29.97p]	—	—	—	○	—
[2160/29.97PsF]	—	—	—	○	—
[2160/25p]	—	—	—	—	○
[2160/25PsF]	—	—	—	—	○
[2160/23.98p]	—	—	—	—	—
[2160/23.98PsF]	—	—	—	—	—
[1080/60p]	—	—	—	—	—
[1080/59.94p]	—	—	—	○	—

[MAIN MENU]	〈G/L IN〉端子または〈I/F〉端子への入力信号				
[FORMAT]	720/60p	720/59.94p	720/50p	525/59.94i	625/50i
[1080/59.94p CROP]	—	—	—	○	—
[1080/59.94i]	—	—	—	○	—
[1080/59.94i CROP]	—	—	—	○	—
[1080/50p]	—	—	—	—	○
[1080/50p CROP]	—	—	—	—	○
[1080/50i]	—	—	—	—	○
[1080/50i CROP]	—	—	—	—	○
[1080/29.97PsF]	—	—	—	○	—
[1080/25PsF]	—	—	—	—	○
[1080/23.98p]	—	—	—	○	—
[1080/23.98PsF]	—	—	—	—	—
[720/60p]	○	—	—	—	—
[720/59.94p]	—	○	—	○	—
[720/50p]	—	—	○	—	○

シャッターモードについて

固定シャッタースピード

次のような場合に、使用します。

- 照明などによるフリッカーを除去したい場合
- 動きの速い被写体を鮮明に撮影したい場合

シンクロスキャンモード

次のような場合に、使用します。

- モニター画面の撮影時に、水平方向の縞模様が少なくなるように撮影したい場合
- 被写体の動きに効果をつけて撮影したい場合

シャッターモード/スピードの設定

[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SPEED] / [SHUTTER MODE] で、シャッタースピードの選択範囲を必要な範囲にあらかじめ制限したり、シンクロスキャンモードを使用するかどうかをあらかじめ選択したりできます。

一度、選択したシャッタースピードは、本機の電源を切ったあとも保持されます。

NOTE

- 電子シャッターをどのモードで使用しても、シャッタースピードが速いほど、カメラの感度は低減します。
- 絞りが自動のときには、シャッタースピードが速くなるにつれ、絞りが開き、焦点深度も浅くなります。
- 蛍光灯などの放電管による照明下では、画面上に横帯が現れることがあります。このとき、シャッタースピードを調整すると改善されることがあります。
- 素早く横切る被写体を撮影すると、少し歪んで見えることがあります。撮像素子（MOS センサー）の信号を読み出す方式によるものであり、故障ではありません。
- インテリジェント機能が動作中は、シャッターモードはオフになります。

シャッター関連の画面表示について

詳しくは「モニターのオンスクリーン表示」（26 ページ）を参照してください。

シンクロスキャンモードの設定

1 [MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER MODE] → [SYNCHRO] に設定する。

2 [MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [SHUTTER SPEED] → [SYNCHRO SCAN] でシンクロスキャンのシャッターを設定する。

[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [SHUTTER SPEED] → [SYNCHRO SCAN DISP] で、シンクロスキャンモード時のシャッタースピード表示は秒、または角度に切り替えることができます。

画質の調整

記録する映像の画質は [MAIN MENU] → [PAINT] で設定できます。より高度に設定するためには、ベクトルスコープなどの計測器を使用する必要があります。

ディテール機能

映像の輪郭を描写する強弱を表現する機能です。柔らかな表現やシャープな表現ができる反面、ノイズやエッジが強調されるような、映像全体が粗くなる現象が出る場合があります。

この現象を避けるには、ディテールを強調したい部分には残し、強調する必要のない部分には付加しないように調整する必要があります。

■ 一般的な設定

[MASTER DETAIL]：全体的なディテール効果のレベルを設定します。

[CRISP]：ディテール効果を働かせないようにする信号（ノイズを含む）のレベルを設定します。

■ より高度な設定

[MAIN MENU] → [PAINT] → [DETAIL SETTING] で設定します。

[DETAIL]：ディテール機能の [ON] / [OFF] を設定します。

[V DETAIL LEVEL]：垂直方向のディテールレベルの強弱を設定します。

[PEAK FREQUENCY]：水平方向のディテールの太さを設定します。

[V DETAIL FREQUENCY]：垂直方向のディテールの太さを設定します。

[LEVEL DEPENDENT]：輝度信号のディテールを強調しているときは、暗部のディテールを圧縮しています。[LEVEL DEPENDENT] の設定が大きいほど、明るい部分のディテールも圧縮する設定となります。

[KNEE APERTURE LEVEL]：高輝度部（非常に明るい部分）のディテールレベルを設定します。

[DETAIL GAIN(+)]：+方向（明るくする方向）のディテールレベルを設定します。

[DETAIL GAIN(-)]：-方向（暗くする方向）のディテールレベルを設定します。

スキントーン機能

人物の肌をよりなめらかに撮影するための機能です。

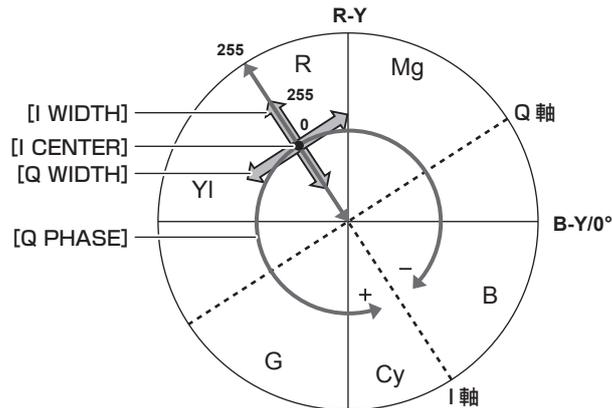


図 1

■ 一般的な設定

[SKIN TONE EFFECT MEMORY]：スキントーンディテール機能をどのような肌色で働かせるかを3つのデータから選択します。単独でも、組み合わせても設定できます。

[ZEBRA]：[SKIN TONE DETAIL] を有効にしているとき、選択している肌色の領域にゼブラパターンを表示します。ゼブラパターンは、[ZEBRA EFFECT MEMORY] で選択されたエリアを表示します。

■ より高度な設定

[MAIN MENU] → [PAINT] → [SKIN TONE DETAIL SETTING] で設定します。

[MEMORY SELECT]：スキントーンテーブルを働かせる被写体の肌色テーブルを選択します。

[SKIN GET]：[MEMORY SELECT] で選択された [A]、[B] または [C] の色情報を調整したボックスカーソル内から取得します。実行すると [I CENTER] ~ [Q PHASE] のデータが自動で取得されます。

[SKIN TONE CRISP]：スキントーンディテールの効果レベルを設定します。

● 映像信号の色成分 (R/G/B) を色差信号 (R-Y/B-Y) に置き換えて表すと (図 1) のようになります。

この中で、赤-シアン色相にある軸 (I 軸)、緑-マゼンタ色相にある軸 (Q 軸) を用いて次のスキントーンを働かせるエリアを設定します。

[I CENTER]：I 軸上の中心位置の設定 (スキントーンを働かせるエリアの設定) を行います。

[I WIDTH]：[I CENTER] を中心とした I 軸上のスキントーンを働かせるエリア幅を設定します。

[Q WIDTH]：[I CENTER] を中心とした Q 軸上のスキントーンを働かせるエリア幅を設定します。

[Q PHASE]：Q 軸を基準としたスキントーンを働かせるエリアの位相を設定します。

RB ゲインコントロール機能

赤色と青色の強弱を付け加える設定をする機能です。

オートホワイトバランスのときに動作します。オートトラッキングホワイトバランスのときは、動作しません。

■ 一般的な設定

工場出荷時の状態のままお使いください。

■ より高度な設定

[MAIN MENU] → [PAINT] → [RB GAIN CONTROL SETTING] で設定します。

- [RB GAIN PRESET] を選択しているとき

[R GAIN] : 赤色の強弱を付け加える設定をします。

[B GAIN] : 青色の強弱を付け加える設定をします。

- [RB GAIN] を選択しているとき

[R GAIN] : 赤色の強弱を付け加える設定をします。

[B GAIN] : 青色の強弱を付け加える設定をします。

[GAIN OFFSET] : オートホワイトバランスを行ったときに、[R GAIN] と [B GAIN] で設定した値を保持したままか、リセットするかを設定します。

クロマ設定機能

色の彩度と位相について設定します。映像の全体に対して効果をもたらします。個別の色相に対して設定できません。

■ 一般的な設定

[CHROMA LEVEL] : P_R 信号と P_B 信号のクロマレベルを設定します。

ベクトルスコープを使用したときに、中心（無色）からの距離が映像全体で増減します。

■ より高度な設定

設定項目はありません。

マトリックス機能

マトリックステーブルを選択することにより、映像の色の表現を設定できます。

設定を変更すると映像にある全ての色の表現が連動して動きます。

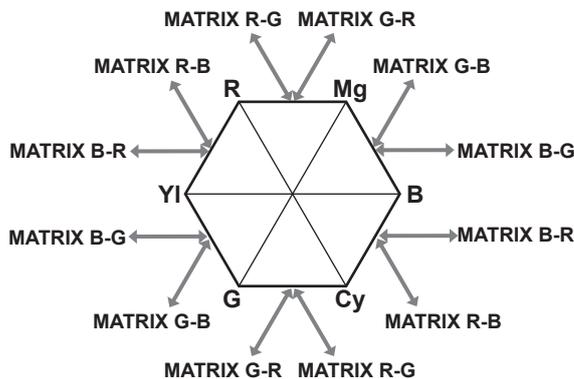


図 1

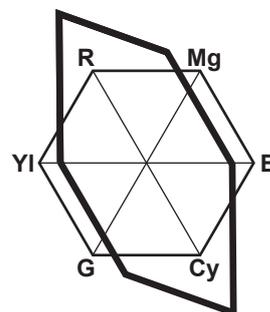


図 2

■ 一般的な設定

[MATRIX] : マトリックス機能を有効にして、撮影時の色を表現します。

■ より高度な設定

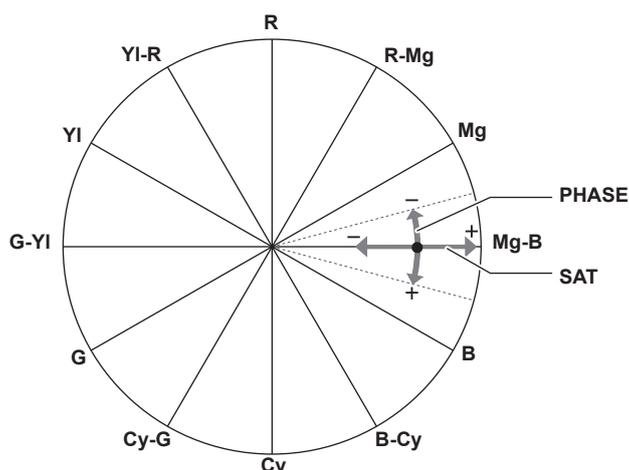
[MAIN MENU] → [PAINT] → [LINEAR MATRIX] で設定します。

[LINEAR TABLE] で選択したマトリックステーブルに対して相対的に微調整をします。(図 1)

(例) [MATRIX (R-G)_P] を + 側に、[MATRIX (B-G)_N] を - 側に調整した場合 (図 2)

カラーコレクション機能

色の彩度と位相について設定します。映像の12の位相に対し個別に効果をもたらします。個別の色相に対して設定できます。



■ 一般的な設定

工場出荷時の状態のままお使いください。

■ より高度な設定

[G PHASE] / [CY-G PHASE] / [CY PHASE] / [B-CY PHASE] / [B PHASE] / [MG-B PHASE] / [MG_PHASE] / [R-MG PHASE] / [R PHASE] / [YL-R PHASE] / [YL PHASE] / [G-YL PHASE]：位相を変化させます。+は時計回り、-は反時計回りです。

[G SAT] / [CY-G SAT] / [CY SAT] / [B-CY SAT] / [B SAT] / [MG-B SAT] / [MG_SAT] / [R-MG SAT] / [R SAT] / [YL-R SAT] / [YL SAT] / [G-YL SAT]：彩度を変化させます。

ブラックコントロール機能

輝度の基準となる黒レベルについて設定します。

[MAIN MENU] → [PAINT] → [PEDESTAL] で設定します。

■ 一般的な設定

[MASTER PEDESTAL]：基準の黒レベルを設定します。RGB が連動して動作します。-は沈む方向、+は浮く方向です。

■ より高度な設定

[R PEDESTAL]：RchのペDESTALレベルを設定します。

[G PEDESTAL]：GchのペDESTALレベルを設定します。

[B PEDESTAL]：BchのペDESTALレベルを設定します。

[PEDESTAL OFFSET]：オートブラックバランスの調整をしたとき、[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL]の各項目で設定した値を保持したままにするか、リセットするか設定します。

ガンマ機能

映像の階調を最適になるように設定します。

[MAIN MENU] → [PAINT] → [GAMMA/BLACK GAMMA] で設定します。

■ 一般的な設定

[GAMMA MODE SELECT]：6種類からガンマモードを選択します。

■ より高度な設定

[MASTER GAMMA]：マスターガンマの設定を0.0020または0.0025ステップで行います。

- [GAMMA MODE SELECT] で [FILM REC] を選択しているとき

[DYNAMIC LEVEL]：ダイナミックレンジを設定します。

[BLACK STRETCH LEVEL]：ブラックストレッチを設定します。

- [GAMMA MODE SELECT] で [VIDEO REC] を選択しているとき

[KNEE SLOPE]：ニー_slopeを設定します。

[KNEE POINT]：ニーポイントを設定します。

[BLACK GAMMA]：暗部のガンマカーブの圧縮と伸長を設定します。

二一機能

映像の白つぶれを防ぐために、映像信号を圧縮する設定をします。

■ 一般的な設定

工場出荷時の状態のままお使いください。

■ より高度な設定

[MAIN MENU] → [PAINT] → [KNEE] で設定します。

- [MAIN MENU] → [PAINT] → [KNEE] → [KNEE] で [AUTO] を選択しているとき
[AUTO KNEE RESPONSE]：応答速度を設定します。設定値が小さいほど応答速度が速くなります。
- [MAIN MENU] → [PAINT] → [KNEE] → [KNEE] で [MANUAL] を選択しているとき
[KNEE MASTER POINT]：ニーポイントの位置設定を 0.25% ステップで行います。
[KNEE MASTER SLOPE]：ニーの傾きを設定します。
[KNEE R SLOPE]：Rch のニーの傾きを設定します。
[KNEE B SLOPE]：Bch のニーの傾きを設定します。

ハイカラー機能

色のダイナミックレンジに関して設定します。

■ 一般的な設定

[HI-COLOR]：色のダイナミックレンジを拡大するモードの [ON] / [OFF] を選択します。

[HI-COLOR LEVEL]：色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを選択します。

■ より高度な設定

一般的な設定でお使いください。

ホワイトクリップ機能

映像信号の一番明るい部分が一定のレベルより高くないようにする設定をします。

■ 一般的な設定

工場出荷時の状態のままお使いください。

■ より高度な設定

[MAIN MENU] → [PAINT] → [WHITE CLIP] で設定します。

[WHITE CLIP]：ホワイトクリップ機能の [ON] / [OFF] を選択します。[ON] のときに [MASTER WHITE CLIP LEVEL] の設定値が有効になります。

[MASTER WHITE CLIP LEVEL]：ホワイトクリップレベルを設定します。

[R WHITE CLIP LEVEL]：ホワイトクリップに対して Rch のクリップレベルを設定します。

[B WHITE CLIP LEVEL]：ホワイトクリップに対して Bch のクリップレベルを設定します。

インテリジェント機能

カメラを使用する屋外では、朝 → 昼 → 夕方 → 夜と明るさや色温度が大幅に変化します。
インテリジェント機能は、屋外での変化に対応して、映像レベルや色温度を自動で補正します。

屋外では、次のように大きく変化します。

- 明るさが三日月の 0.01 lx から晴天の 10,000 lx まで 10 の 6 乗
- 色温度が日の出後の 3000 K から明るい晴天の 8000 K まで 5000 K

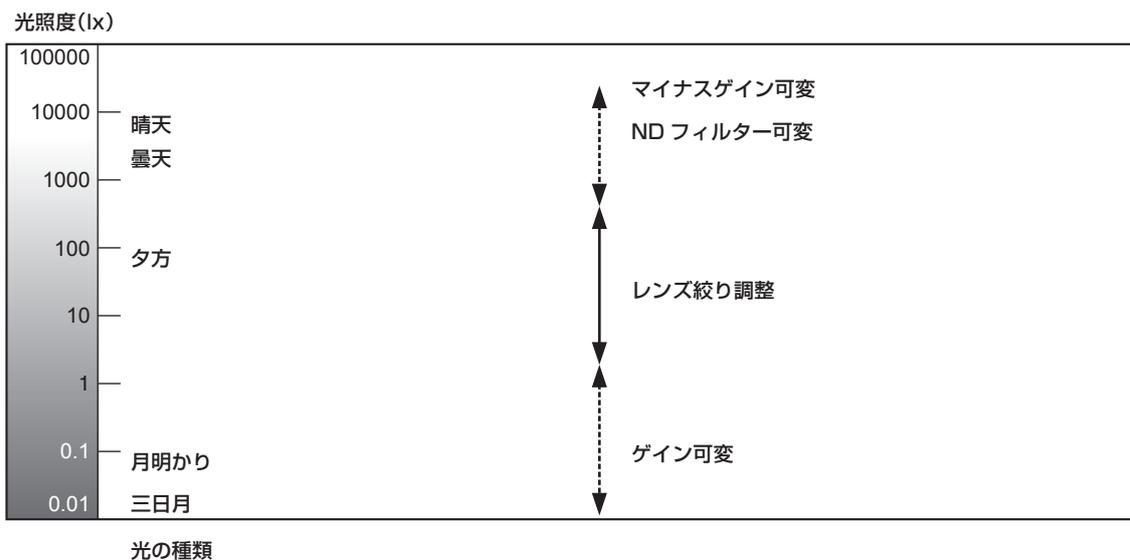
従来は、映像レベル調整としてゲイン、レンズ絞り、ND フィルター、マイナスゲインを、色温度調整としてゲイン調整、CC フィルターをマニュアルで調整して対応していました。

しかし、マニュアルで毎回調整が必要となると、地震などの緊急時には調整が間に合わず映像が撮れないなどの問題があります。

インテリジェント機能を使えば、これらの問題を解決できます。

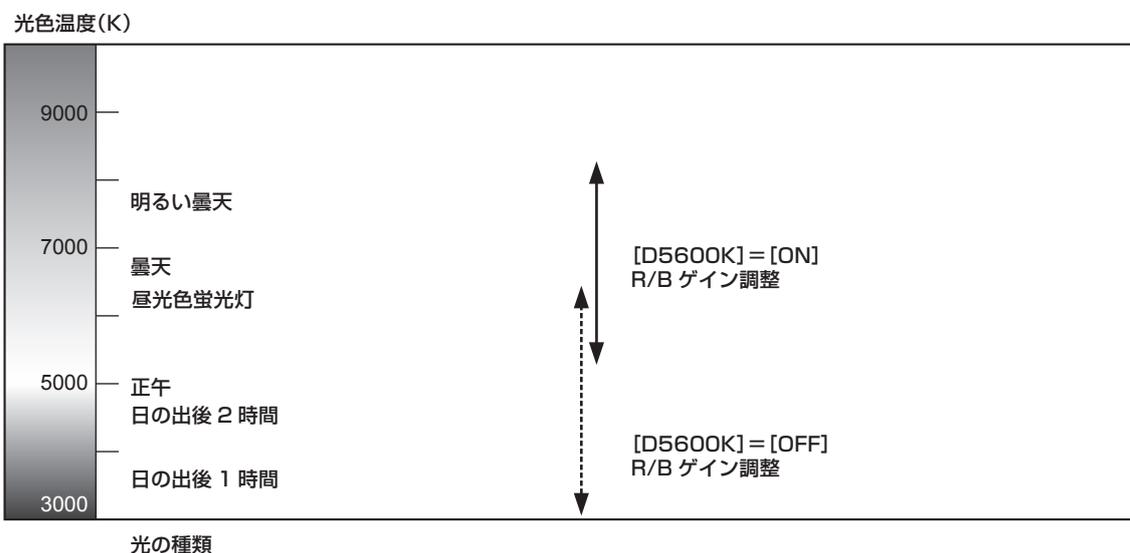
インテリジェント機能の設定は、[MAIN MENU] → [INTELLIGENT] で行います。

■ 自動映像レベル調整



レンズ絞り、ゲイン（フレーム加算を含む）、ND フィルター、マイナスゲインの制御により自動調整を行います。

■ 自動色温度調整



[D5600K] の [OFF] または [ON] の設定値から、R、B ゲインの制御により色温度を自動調整します。

NOTE

- インテリジェント機能で設定された状態は、同じ照度や色温度の撮影条件でもカメラの設定で異なるときがあり、最良設定にならないことがあります。
- オートゲインコントロール動作中に [FRAME MIX] の有効 / 無効が切り替わるときは、切り替わるタイミングでショックノイズが発生します。
- [SHUTTER SW] を [ON] または [SHUTTER MODE] を [SYNCHRO] に設定していると、[FRAME MIX] の有効 / 無効が切り替わるときに、ハンチングを起こすことがあります。
- 逆光、反射、夕焼けなどの特殊な撮影条件では、色温度追従が正常にならないことがあります。

マルチフォーマット

[MAIN MENU] → [SYSTEM MODE] → [FORMAT] で UHD、UHD からの HD 切り出し (UHD CROP)、HD の映像出力方式を選択できます。

- <HD SDI OUT 1> 端子および <UHD/HD SDI OUT 1> ~ <UHD/HD SDI OUT 4> 端子からの出力は本線用として使用します。
- <HD SDI OUT 2> 端子からの出力はモニター用として使用します。

NOTE

- 3G TICO UHD 出力ボード AK-UTS03G には <UHD/HD SDI OUT 3> / <UHD/HD SDI OUT 4> 端子はありません。

キャラクターの重畳

各端子の出力に重畳するキャラクターは次のとおりです。

- ○：重畳されます。
- —：重畳されません。

出力端子	重畳するキャラクター	
	カメラ ID	メニューおよびステータス
<UHD/HD SDI OUT 1> ~ <UHD/HD SDI OUT 4> 端子	—	—
<HD SDI OUT 1> 端子	○*1	○*1
<HD SDI OUT 2> 端子	○	○
<LAN> 端子	○*2	○*2

*1 [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [HD-SDI1 CHAR] → [ON] に設定すると、キャラクターが重畳されます。

*2 [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [LAN CHAR] → [ON] に設定すると、キャラクターが重畳されます。

NOTE

- [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [HD-SDI1 CHAR] を [OFF] にしたときに、メニューを表示する方法は次のとおりです。
 - <HD SDI OUT 2> 端子にモニターを接続
 - <LAN> 端子にパーソナルコンピューターを接続し、UB300 Setting Tool を使用

出力フォーマット一覧 (<UHD/HD SDI OUT 1> ~ <UHD/HD SDI OUT 4> 端子)

出力する信号に応じて、次の BNC ケーブルを使用してください。

- 12G または 6G 信号：12G 用 BNC ケーブル
- 上記以外の信号：5C-FB 以上の BNC ケーブル

UHD

■ 12G 出力ボード AK-UHD12G を使用し、[UHD-SDI S-LINK] を [ON] にしているとき

- [UHD SDI OUT TYPE] および [HD-SDI 3G SDI] は [---] になり、選択できません。

[MAIN MENU]	<UHD/HD SDI OUT 1> ~ <UHD/HD SDI OUT 4> 端子			
[FORMAT]	1	2	3	4
[2160/60p]	2160/60p (12GSL)	2160/60p (12GSL)	出力なし	
[2160/59.94p]	2160/59.94p (12GSL)	2160/59.94p (12GSL)	出力なし	
[2160/29.97p]	2160/29.97p (6GSL)	2160/29.97p (6GSL)	出力なし	
[2160/23.98p]	2160/23.98p (6GSL)	2160/23.98p (6GSL)	出力なし	
[2160/50p]	2160/50p (12GSL)	2160/50p (12GSL)	出力なし	
[2160/25p]	2160/25p (6GSL)	2160/25p (6GSL)	出力なし	

■ 12G 出力ボード AK-UHD12G を使用し、[UHD-SDI S-LINK] を [OFF] にしているとき、または標準装備のボードを使用しているとき

[MAIN MENU]	<UHD/HD SDI OUT 1> ~ <UHD/HD SDI OUT 4> 端子		
[FORMAT]	[UHD SDI OUT TYPE]	1, 2	3, 4
[2160/60p]	[SQUARE]	2160/60p (3GQL SQD)	
	[2 SAMPLE INT]	2160/60p (3GQL 2SI)	
[2160/59.94p]	[SQUARE]	2160/59.94p (3GQL SQD)	
	[2 SAMPLE INT]	2160/59.94p (3GQL 2SI)	
[2160/29.97p]	[SQUARE]	2160/29.97p (1.5GQL SQD)	
	[2 SAMPLE INT]	2160/29.97p (3GDL 2SI)	出力なし
[2160/23.98p]	[SQUARE]	2160/23.98p (1.5GQL SQD)	

第3章 操作 — マルチフォーマット

[MAIN MENU]		〈UHD/HD SDI OUT 1〉 ~ 〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子	
[FORMAT]	[UHD SDI OUT TYPE]	1, 2	3, 4
	[2 SAMPLE INT]	2160/23.98p (3GDL 2SI)	出力なし
[2160/50p]	[SQUARE]	2160/50p (3GQL SQD)	
	[2 SAMPLE INT]	2160/50p (3GQL 2SI)	
[2160/25p]	[SQUARE]	2160/25p (1.5GQL SQD)	
	[2 SAMPLE INT]	2160/25p (3GDL 2SI)	出力なし

- 12G 出力ボード AK-UHD12G、または標準装備のボードを使用し、[FORMAT] を [2160/29.97PsF] / [2160/23.98PsF] / [2160/25PsF] にしているとき
- [UHD-SDI S-LINK]、[UHD SDI OUT TYPE] および [HD-SDI 3G SDI] は [--] になり、選択できません。

[MAIN MENU]	〈UHD/HD SDI OUT 1〉 ~ 〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子			
[FORMAT]	1	2	3	4
[2160/29.97PsF]	2160/29.97PsF (1.5GQL SQD)			
[2160/23.98PsF]	2160/23.98PsF (1.5GQL SQD)			
[2160/25PsF]	2160/25PsF (1.5GQL SQD)			

- 3G TICO UHD 出力ボード AK-UTS03G を使用しているとき
- [UHD SDI OUT TYPE] および [HD-SDI 3G SDI] は [--] になり、選択できません。

[MAIN MENU]	〈UHD/HD SDI OUT 1〉 / 〈UHD/HD SDI OUT 2〉 端子	
[FORMAT]	1	2
[2160/60p]	2160/60p (3G)	2160/60p (3G)
[2160/59.94p]	2160/59.94p (3G)	2160/59.94p (3G)
[2160/29.97p]	2160/29.97p (1.5G)	2160/29.97p (1.5G)
[2160/29.97PsF]	2160/29.97p (1.5G)	2160/29.97p (1.5G)
[2160/23.98p]	2160/23.98p (1.5G)	2160/23.98p (1.5G)
[2160/23.98PsF]	2160/23.98p (1.5G)	2160/23.98p (1.5G)
[2160/50p]	2160/50p (3G)	2160/50p (3G)
[2160/25p]	2160/25p (1.5G)	2160/25p (1.5G)
[2160/25PsF]	2160/25p (1.5G)	2160/25p (1.5G)

NOTE

- [FORMAT] で [2160/60p]、[2160/59.94p]、[2160/50p] を選択したときの 3G SDI 出力形式は、LEVEL-A になります。
- [FORMAT] で [2160/29.97PsF]、[2160/23.98PsF]、[2160/25PsF] を選択したときの出力は、2160/29.97p、2160/23.98p、2160/25p になります。

UHD CROP

- [UHD-SDI S-LINK] は非表示になります。[UHD SDI OUT TYPE] および [HD-SDI 3G SDI] の設定は無効になります。

[MAIN MENU]	〈UHD/HD SDI OUT 1〉 ~ 〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子			
[FORMAT]	1	2	3	4
[1080/59.94p CROP]	1080/59.94p	1080/59.94p	出力なし	
[1080/59.94i CROP]	1080/59.94i	1080/59.94i	出力なし	
[1080/50p CROP]	1080/50p	1080/50p	出力なし	
[1080/50i CROP]	1080/50i	1080/50i	出力なし	

HD

- [UHD-SDI S-LINK] は非表示になります。[UHD SDI OUT TYPE] および [HD-SDI 3G SDI] の設定は無効になります。

[MAIN MENU]	〈UHD/HD SDI OUT 1〉 ~ 〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子			
[FORMAT]	1	2	3	4
[1080/60p]	1080/60p	1080/60p	出力なし	
[1080/59.94p]	1080/59.94p	1080/59.94p	出力なし	
[1080/59.94i]	1080/59.94i	1080/59.94i	出力なし	
[1080/29.97PsF]	1080/29.97PsF	1080/29.97PsF	出力なし	
[1080/23.98PsF]	1080/23.98PsF	1080/23.98PsF	出力なし	
[1080/23.98p]	1080/23.98p over 59.94i	1080/23.98p over 59.94i	出力なし	
[1080/50p]	1080/50p	1080/50p	出力なし	
[1080/50i]	1080/50i	1080/50i	出力なし	

第3章 操作 — マルチフォーマット

[MAIN MENU]	〈UHD/HD SDI OUT 1〉 ~ 〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子			
[FORMAT]	1	2	3	4
[1080/25PsF]	1080/25PsF	1080/25PsF		出力なし
[720/60p]	720/60p	720/60p		出力なし
[720/59.94p]	720/59.94p	720/59.94p		出力なし
[720/50p]	720/50p	720/50p		出力なし

出力フォーマット一覧 (〈HD SDI OUT 1〉 / 〈HD SDI OUT 2〉 端子)

UHD

[MAIN MENU]	[SDI1 OUT FMT]	〈HD SDI OUT 1〉 / 〈HD SDI OUT 2〉 端子	
[FORMAT]		1	2
[2160/60p]	[1080/60p]	1080/60p	1080/60i
	[1080/60i]	1080/60i	1080/60i
	[720/60p]	720/60p	720/60p*
[2160/59.94p]	[1080/59.94p]	1080/59.94p	1080/59.94i
	[1080/59.94i]	1080/59.94i	1080/59.94i
	[720/59.94p]	720/59.94p	720/59.94p*
[2160/29.97p]	[1080/29.97PsF]	1080/29.97PsF	1080/29.97PsF
[2160/23.98p]	[1080/23.98PsF]	1080/23.98PsF	1080/23.98p over 59.94i
	[1080/23.98p over]	1080/23.98p over 59.94i	1080/23.98p over 59.94i
[2160/29.97PsF]	[1080/29.97PsF]	1080/29.97PsF	1080/29.97PsF
[2160/23.98PsF]	[1080/23.98PsF]	1080/23.98PsF	1080/23.98p over 59.94i
	[1080/23.98p over]	1080/23.98p over 59.94i	1080/23.98p over 59.94i
[2160/50p]	[1080/50p]	1080/50p	1080/50i
	[1080/50i]	1080/50i	1080/50i
	[720/50p]	720/50p	720/50p*
[2160/25p]	[1080/25PsF]	1080/25PsF	1080/25PsF
[2160/25PsF]	[1080/25PsF]	1080/25PsF	1080/25PsF

* [SDI1 OUT FMT] で [720/60p] / [720/59.94p] / [720/50p] を選択したときは、〈HD SDI OUT 2〉 端子からも 720p の信号が出力されます。

UHD CROP

- [SDI1 OUT FMT] は非表示になります。

[MAIN MENU]	〈HD SDI OUT 1〉 / 〈HD SDI OUT 2〉 端子	
[FORMAT]	1	2
[1080/59.94p CROP]	1080/59.94p	1080/59.94i
[1080/59.94i CROP]	1080/59.94i	1080/59.94i
[1080/50p CROP]	1080/50p	1080/50i
[1080/50i CROP]	1080/50i	1080/50i

HD

- [SDI1 OUT FMT] は非表示になります。

[MAIN MENU]	〈HD SDI OUT 1〉 / 〈HD SDI OUT 2〉 端子	
[FORMAT]	1	2
[1080/60p]	1080/60p	1080/60i
[1080/59.94p]	1080/59.94p	1080/59.94i
[1080/59.94i]	1080/59.94i	1080/59.94i
[1080/29.97PsF]	1080/29.97PsF	1080/29.97PsF
[1080/23.98PsF]	1080/23.98PsF	1080/23.98p over 59.94i
[1080/23.98p]	1080/23.98p over 59.94i	1080/23.98p over 59.94i
[1080/50p]	1080/50p	1080/50i
[1080/50i]	1080/50i	1080/50i
[1080/25PsF]	1080/25PsF	1080/25PsF
[720/60p]	720/60p	720/60p
[720/59.94p]	720/59.94p	720/59.94p
[720/50p]	720/50p	720/50p

便利な撮影機能

スキャンリバース撮影

[MAIN MENU] → [SYSTEM MODE] → [SCAN REVERSE] を設定すると、映像を上下および左右反転して表示できます。

ゼブラパターンの表示

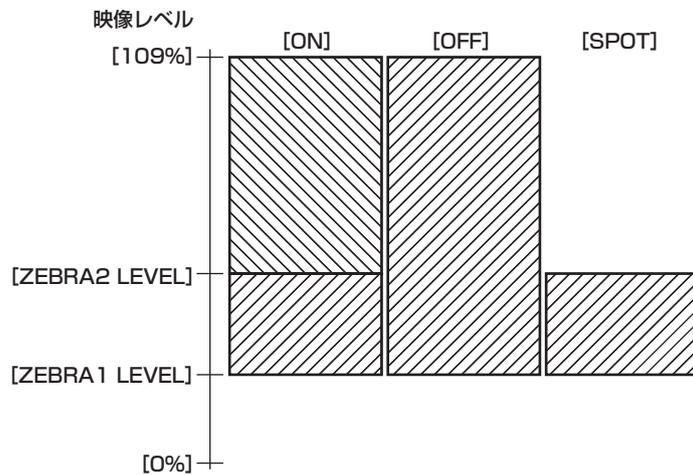
本機は 2 種類のゼブラパターンを表示できます。

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [ZEBRA] → [ON] に設定すると、メニューで設定されているゼブラパターンが表示されます。

ゼブラパターンを表示するレベルは、[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [ZEBRA] で設定できます。

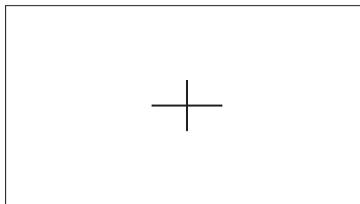
項目	設定内容
[ZEBRA1 LEVEL]	輝度ゼブラ 1 のレベルを設定します。 [0%] … [109%] • 工場出荷値：[80%]
[ZEBRA2 LEVEL]	輝度ゼブラ 2 のレベルを設定します。 [0%] … [109%] • 工場出荷値：[100%]
[ZEBRA PATTERN]	輝度ゼブラのパターンを設定します。 [1]、[1+2]、[SPOT] • 工場出荷値：[1]

[SPOT]：[ZEBRA1 LEVEL] の設定値から、[ZEBRA2 LEVEL] の設定値までの映像レベルが、ゼブラパターンで表示されます。



センターマーカー表示

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [CENTER MARK] → [ON] に設定しているときに、表示します。



セーフティーゾーンマーカー表示

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [SAFETY MARK] で選択したものが表示されます。

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [SAFETY AREA] でセーフティーゾーンマーカーの大きさが変更できます。

フレームマーカー表示

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [FRAME MARK SWITCH] → [ON] に設定しているときに表示します。

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [FRAME SIG] で画角を設定してください。

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [FRAME MARK SWITCH] → [FRAME LEVEL] で外側のレベルを設定してください。

ダイナミックレンジストレッチャー機能

通常の撮影では白とびする、高輝度な部分の映像信号レベルを、コントラストを保ちながら圧縮することにより、ダイナミックレンジを拡大できます。ダイナミックレンジストレッチャー機能を有効にしているときは、ニー機能やブラックガンマ機能が動作しません。

ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効/無効を切り替えると、発色に若干の差が生じることがあります。

[MAIN MENU] → [PAINT] → [DRS] → [EFFECT DEPTH] で圧縮の度合いを変えることができます。

NOTE

・HDモードでのみ動作します。UHDモード/UHD CROPモードでは動作しません。

カラーバー

テレビや外部モニターの画質調整に便利なカラーバーを表示できます。

[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [BAR SETTING] → [BAR SELECT] で3種類のカラーバertype ([FULL] / [SMPTE] / [ARIB]) を選択できます。

フォーカスアシスト機能

フォーカスアシスト機能は、フォーカスを合わせやすくするための機能です。

〈HD SDI OUT 2〉端子からの出力に対して、拡大表示やフォーカスアシストカラー表示（映像の輪郭部分が選択した色でふち取られる表示）、フォーカスバー表示ができます。

フォーカスアシストカラー表示

あらかじめ、[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [FOCUS ASSIST] → [IN RED SW] → [ON] に設定しておきます。
[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [FOCUS ASSIST] → [IN RED COLOR] で [RED] / [GREEN] のいずれかを選択します。

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [FOCUS ASSIST] → [IN RED SW] → [ON] に設定すると、映像の輪郭部分が選択した色でふち取られます。このとき、画面枠が選択した色になります。

ピントを合わせたい被写体の輪郭が選択した色になるように、フォーカスを調整してください。

NOTE

・〈HD SDI OUT 2〉端子からの出力にのみ表示されます。

フォーカスバー表示

[MAIN MENU] → [DISPLAY SETUP] → [MARKER] → [FOCUS ASSIST] → [BAR SW] → [ON] に設定すると、フォーカスバーを表示できます。

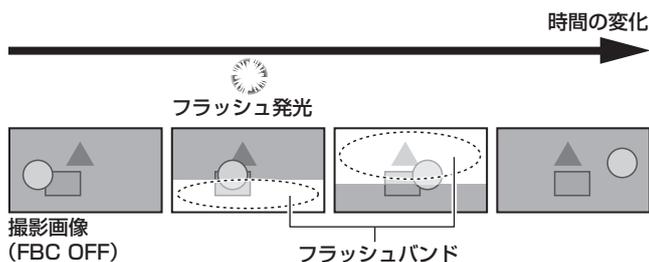
フォーカスが合っている度合いをバーの長さで表示します。



- 白バー：フォーカスバー表示
- 緑線：ピーク表示

フラッシュバンド補正 (FBC) 機能

本機は、スチルカメラなどのフラッシュ閃光がある環境で撮影したときに、MOS 撮像素子に起因する帯状の妨害（これをフラッシュバンドと呼びます）を補正、軽減する機能を搭載しています。



[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [FBC SETTING] → [FBC] → [ON] に設定すると、フラッシュバンド補正機能が有効となります。スチルカメラなどのフラッシュ閃光を検出し、補正できます。

フラッシュバンド補正機能が有効になっているときは、ステータス画面に [FBC] が表示されます。

[OFF] に設定されているときは、表示されません。

H.SENS. **(FBC)** DRS

NOTE

- ・フラッシュ閃光時、次の現象が発生することがあります。フラッシュバンド補正機能によるもので故障ではありません。
 - 動いている被写体が、一瞬止まったように見える。
 - フラッシュ閃光時の解像度が低下する。
 - フラッシュ閃光時の映像に横線が見える。
 - フラッシュ閃光時点の映像にのみ、フラッシュバンドが残る。

フラッシュバンド補正機能のご使用について

フラッシュバンド補正機能は、フラッシュ閃光の有無にかかわらず、画面下部の輝度変化が大きい場合に、動作します。

明るい窓がズームイン・ズームアウトした場合など、撮影環境によってはフラッシュバンド補正機能が動作することがあります。フラッシュ閃光が予想される撮影環境下でのご使用をお勧めします。

なお、フラッシュ閃光が発生しても、撮影環境によっては十分なフラッシュバンド補正機能の効果を得ることができないことがあります。

フラッシュバンド補正機能の動作条件について

- フラッシュバンド補正機能は、次の条件を全て満たしているときに、使用できます。
 - 59.94i、59.94P、50i、50P モードのいずれか (HD モードでのみ動作、UHD モード /UHD CROP モードでは動作しない)
 - スキャンリバース、デジタルズームの各機能が動作していない状態
 - [MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [OFF] の状態
- フラッシュバンド補正機能が有効の状態であっても、フラッシュバンド補正機能を使用できないモードに変更した場合、フラッシュバンド補正機能は強制的に無効になります。

再度、ご使用の場合は、フラッシュバンド補正機能を使用できるモードに戻したあと、[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [FBC SETTING] → [FBC] → [ON] にしてください。

- フラッシュバンド補正機能が有効でも、[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [ON] にしたときは、フラッシュバンド補正機能は一時的に無効になります。

その後、[MAIN MENU] → [SWITCH MODE] → [SHUTTER SPEED] → [SHUTTER SW] → [OFF] にすると、フラッシュバンド補正機能は有効になります。

UHD 切り出し機能

[MAIN MENU] → [SYSTEM MODE] → [FORMAT] → [1080/59.94p CROP] / [1080/59.94i CROP] / [1080/50p CROP] / [1080/50i CROP] を選択すると、〈HD SDI OUT 1〉端子、〈UHD/HD SDI OUT 1〉 / 〈UHD/HD SDI OUT 2〉端子、〈LAN〉端子に UHD 信号からの HD 切り出し映像を出力できます。(図 2)

このとき、〈HD SDI OUT 2〉端子からの映像には UHD 画角の HD 信号が出力され、切り出し枠が表示されます。(図 1)

〈HD SDI OUT 2〉端子からの映像に HD 切り出し映像を出力したいときは、[MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [UHD CROP] → [HD-SDI2 OUT SEL] → [CROP] を選択してください。

〈LAN〉端子からの映像に UHD 画角の切り出し枠を表示したいときは、[MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [UHD CROP] → [LAN OUT SEL] → [FULL] を選択してください。

切り出し枠



図 1

図 2

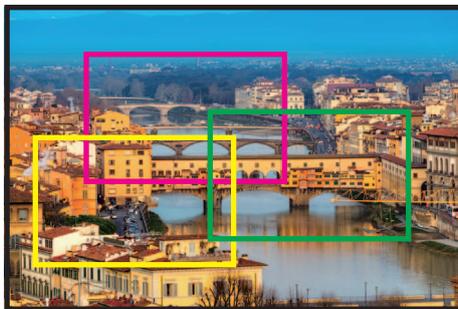
- 出力する切り出し映像は、[MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [UHD CROP] → [CROP OUT SEL] で 3 種類から選択できます。選択された切り出し枠は明るく表示され、ジョグダイヤルボタンを押して決定します。

[YL]：黄色の切り出し枠映像を出力します。

[G]：緑色の切り出し枠映像を出力します。

[MG]：マゼンタ色の切り出し枠映像を出力します。

- 切り出し枠の表示は、[MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [UHD CROP] → [CROP MARKER SEL] で選択できます。



[YL]：黄色の切り出し枠のみ表示します。

[G]：緑色の切り出し枠のみ表示します。

[MG]：マゼンタ色の切り出し枠のみ表示します。

[YL+G]：黄色と緑色の切り出し枠を表示します。

[YL+MG]：黄色とマゼンタ色の切り出し枠を表示します。

[G+MG]：緑色とマゼンタ色の切り出し枠を表示します。

[YL+G+MG]：黄色、緑色、マゼンタ色の全ての切り出し枠を表示します。

切り出し枠が同じ位置に重なった場合は、[CROP OUT SEL] で選択された切り出し枠が優先され、次に [YL]、[G]、[MG] の順で表示されます。

切り出し枠を動かしたいときは

- [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [UHD CROP] → [CROP ADJ SEL] で切り出し枠の色を選択します。
[YL]：黄色の切り出し枠の位置を設定します。
[G]：緑色の切り出し枠の位置を設定します。
[MG]：マゼンタ色の切り出し枠の位置を設定します。
- [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [UHD CROP] → [CROP H POSITION] / [CROP V POSITION] で切り出し枠の位置を設定します。
[CROP H POSITION]：水平方向に移動します。
[CROP V POSITION]：垂直方向に移動します。

NOTE

- オートアイリスやオートホワイトバランスなどのオート機能は、切り出し前の UHD 画角で動作します。オート機能が動作しているときは、切り出し枠外の被写体が切り出し映像に影響する場合があります。
- [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [UHD CROP] → [HD-SDI2 OUT SEL] / [LAN OUT SEL] で [FULL] を選択しているときは、〈HD SDI OUT 2〉端子または〈LAN〉端子の映像に [MAIN MENU] → [PAINT] → [WHITE CLIP] / [DOWNCON DETAIL SETTING] / [SKIN TONE DETAIL SETTING] の設定は反映されません。
- UHD CROP モードで [MAIN MENU] → [PAINT] → [SKIN TONE DETAIL SETTING] → [SKIN GET] → [CURSOR] → [ON] にするときは、[MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [UHD CROP] → [HD-SDI2 OUT SEL] および [LAN OUT SEL] で [CROP] を選択してください。

霧除去機能

霧がかかりコントラストが低い被写体に対して、霧を除去し見やすくする機能です。

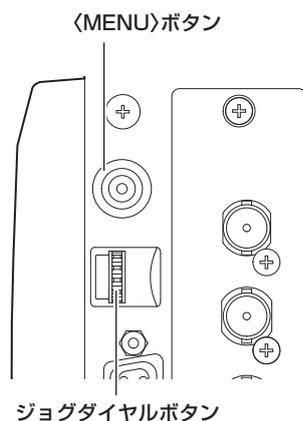
[MAIN MENU] → [PAINT] → [HAZE REDUCTION] → [HAZE REDUCTION LEVEL] で霧の濃さに応じて霧除去の強度を変えることができます。霧除去機能を有効にしているときは、[GAMMA] や [KNEE]、[DETAIL]、[DRS]、[DNR] は設定できません。

第4章 メニュー操作

本機のメニュー操作方法、設定メニューの構成、設定メニューの詳細について説明します。

メニューの操作

基本操作



ジョグダイヤルボタン

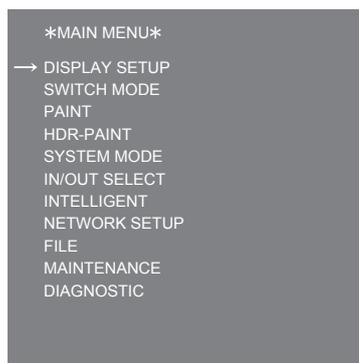


図 1

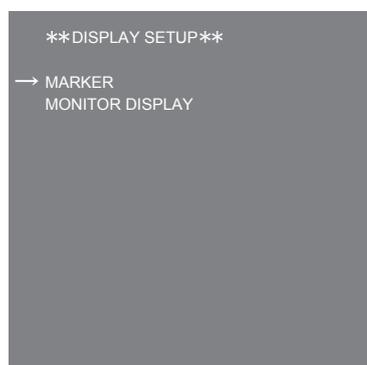


図 2

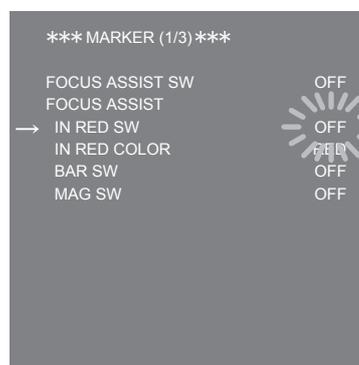


図 3

1 <MENU> ボタンを押す。

<HD SDI OUT 2> 端子から出力される映像に、カメラの [MAIN MENU] が表示されます。(図 1)

2 ジョグダイヤルボタンを回して項目を選択する。

3 ジョグダイヤルボタンを押す。

選択した項目のメニューに入ります。(図 2)

4 ジョグダイヤルボタンを回して項目を選択する。

5 ジョグダイヤルボタンを押す。

選択した項目のメニューに入ります。(図 3)

6 ジョグダイヤルボタンを回して設定するメニュー項目を選択する。

7 ジョグダイヤルボタンを押す。

矢印で示された項目の設定が点滅します。(図 3)

8 ジョグダイヤルボタンを回して、設定を変更する。

9 ジョグダイヤルボタンを押す。

設定が確定します。

<MENU> ボタンを押して、メニュー画面を閉じても、設定は反映されます。

NOTE

・ジョグダイヤルボタンを押して回すと素早く変更できます。

文字を入力するには

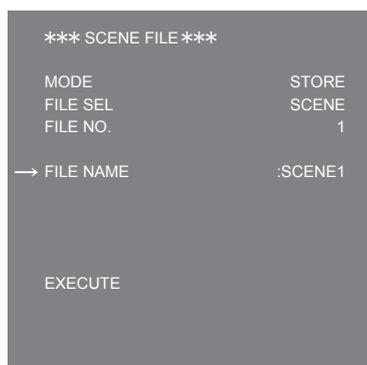


図 1

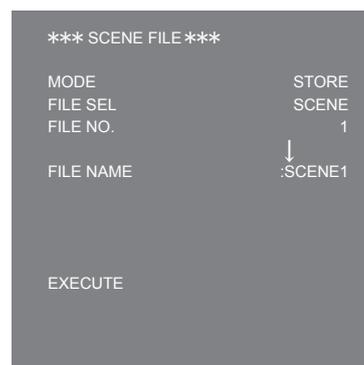


図 2

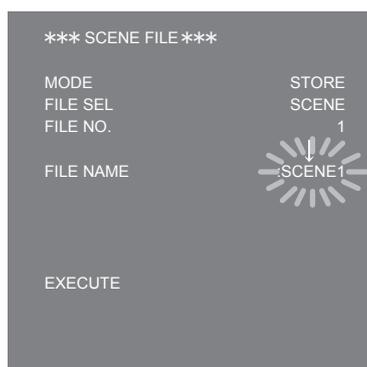


図 3

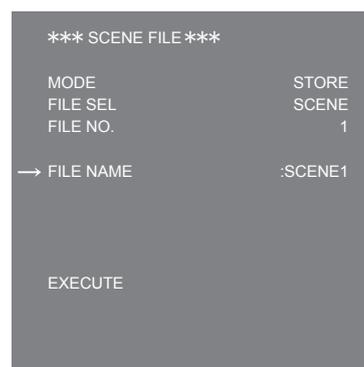


図 4

- 1 ジョグダイヤルボタンを押す。
カーソルが下向き矢印に代わり、ジョグダイヤルボタンを回すと次の文字（前の文字）にカーソルを移動できます。（図 1、図 2）
- 2 ジョグダイヤルボタンを回して、変更したい文字の上に矢印を移動する。
- 3 ジョグダイヤルボタンを押す。
変更したい文字が点滅します。（図 3）
- 4 ジョグダイヤルボタンを回して、文字を変更する。
- 5 ジョグダイヤルボタンを押す。
設定が確定します。
変更したい全ての文字に対して、同じ操作をします。
- 6 ジョグダイヤルボタンを回して、メニュー項目の先頭に矢印のカーソルを移動する。
- 7 ジョグダイヤルボタンを押す。
カーソルが横向き矢印に変わり、別の項目が選択できるようになります。（図 4）

メニューの構成

[MAIN MENU]

[DISPLAY SETUP]	モニター上に表示する内容に関する設定をします。
[SWITCH MODE]	スイッチに割り当てられた機能の設定をします。
[PAINT]	画像の設定をします。
[HDR-PAINT]	HDR 時の画像の設定をします。
[SYSTEM MODE]	システム周波数や撮影モードの設定をします。
[IN/OUT SELECT]	外部入出力や各接続の動作モードを設定します。
[INTELLIGENT]	自動映像レベルや色温度の調整をします。
[NETWORK SETUP]	ネットワークに関する設定をします。
[FILE]	シーンファイルの取り扱いに関する操作をします。
[MAINTENANCE]	レンズファイルの調整をします。
[DIAGNOSTIC]	本機のファームウェアのバージョン表示、通電時間の項目を表示します。

メニューの一覧

S : シーンファイルデータとして保存 / 読み出しができます。

U : ユーザーファイルデータとして保存 / 読み出しができます。

[DISPLAY SETUP]

[MARKER]

項目	設定内容
[FOCUS ASSIST SW] U	フォーカスアシストスイッチの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[FOCUS ASSIST]	— フォーカスアシストの種類を表示します。
[IN RED SW] U	インレッドスイッチの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[IN RED COLOR] U	インレッドのカラーを設定します。 [RED]、[GREEN] •工場出荷値 : [RED]
[BAR SW] U	バースイッチの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[MAG SW] U	拡大表示機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[ZEBRA]	— U 輝度ゼブラの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[ZEBRA1 LEVEL] U	輝度ゼブラ 1 のレベルを設定します。 [0%] … [109%] •工場出荷値 : [80%]
[ZEBRA2 LEVEL] U	輝度ゼブラ 2 のレベルを設定します。 [0%] … [109%] •工場出荷値 : [100%]
[ZEBRA PATTERN] U	輝度ゼブラのパターンを設定します。 [1]、[1+2]、[SPOT] •工場出荷値 : [1]
[FRAME LEVEL SWITCH] U	— U フレームマーカの外側に表示するレベルの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[FRAME LEVEL] U	フレームマーカの外側に表示するレベルを設定します。 [0] … [15] •工場出荷値 : [15]
[FRAME MARK SWITCH] U	フレームマーカの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[FRAME SIG] U	フレームマーカの画角を設定します。 [4:3]、[13:9]、[14:9]、[15:9]、[16:9]、[CINEMA]、[VISTA] •工場出荷値 : [4:3]
[SAFETY MARK SWITCH] U	セーフティマーカの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[SAFETY MARK] U	セーフティマーカの画角を設定します。 [16:9]、[15:9]、[14:9]、[13:9]、[4:3] •工場出荷値 : [16:9]
[SAFETY AREA] U	セーフティエリアの大きさを設定します。 [80%] … [100%] •工場出荷値 : [80%]
[CENTER MARK]	— U センターマーカの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[CENTER MARK SELECT] U	センターマーカの大きさを設定します。 [1] … [7] •工場出荷値 : [1]
[MARKER LEVEL] U	マーカおよびオンスクリーン表示の明るさを設定します。 [50%]、[60%]、[70%]、[80%]、[90%]、[100%] •工場出荷値 : [100%]

[MONITOR DISPLAY]

項目	設定内容
[F NUMBER] U	アイリス表示 (F 値) の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF] 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。
[ZOOM] U	ズーム位置表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF] 位置情報を出力するレンズを使用したとき表示されます。
[EXTENDER] U	エクステンダー表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[FILTER] U	フィルターポジション表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[MASTER GAIN] U	マスターゲイン表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[SHUTTER] U	電子シャッター表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[DIGITAL EXTENDER] U	デジタルエクステンダー表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[DRS] U	ダイナミックレンジストレッチャー表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[STATUS(AUTO)] U	AWB/ABB 開始時または終了時に現れる表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[SYSTEM MODE] U	システム周波数 / 解像度表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[COLOR TEMP] U	色温度表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[FBC] U	フラッシュバンド補正表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[SHOOTING MODE] U	感度モード表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[MAG] U	フォーカスアシスト拡大表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[TALLY] U	タリー表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[FRAME MIX] U	フレームミックス (蓄積ゲイン) 表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[AGC] U	オートゲインコントロール表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[ATW] U	オートトラッキングホワイトバランス表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[HAZE REDUCTION] U	霧除去モード表示の表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]

[SWITCH MODE]

[ND FILTER]

項目	設定内容
[ND FILTER] US	ND フィルターを選択します。 [CLEAR]、[1/4]、[1/16]、[1/64] ●工場出荷値：[CLEAR]

[DIGITAL EXTENDER]

項目	設定内容
[DIGITAL EXTENDER] US	デジタル処理して映像を 2 倍にする機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]

[GAIN SETTING]

項目	設定内容
[GAIN SELECT] US	ゲインスイッチを切り替えます。 [LOW]、[MID]、[HIGH]、[S.GAIN1]、[S.GAIN2]、[S.GAIN3] ●工場出荷値：[LOW]
[LOW GAIN] US	[GAIN SELECT] で [LOW] が選択されたときのゲインアップ量を設定します。 [-6dB] … [36dB] (3 dB ステップ) ●工場出荷値：[0dB]
[MID GAIN] US	[GAIN SELECT] で [MID] が選択されたときのゲインアップ量を設定します。 [-6dB] … [36dB] (3 dB ステップ) ●工場出荷値：[9dB]
[HIGH GAIN] US	[GAIN SELECT] で [HIGH] が選択されたときのゲインアップ量を設定します。 [-6dB] … [36dB] (3 dB ステップ) ●工場出荷値：[18dB]

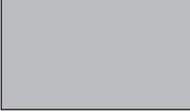
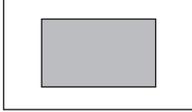
[SUPER GAIN]

項目	設定内容
[MEMORY SELECT] US	スーパーゲインの保存テーブルを選択します。 [S.GAIN1]、[S.GAIN2]、[S.GAIN3] ●工場出荷値：[S.GAIN1]
[TOTAL GAIN]	[GAIN]、[FRAME MIX] の総和を表示します。
[GAIN] US	ゲインアップ量を設定します。 [0dB] … [36dB] (3 dB ステップ) ●工場出荷値：[30dB] ([S.GAIN1])、[36dB] ([S.GAIN2])、[36dB] ([S.GAIN3])
[FRAME MIX] US	蓄積によるゲインアップ量を設定します。 [OFF]、[+6dB] … [+24dB] (6 dB ステップ) ●工場出荷値：[OFF] ([S.GAIN1])、[+12dB] ([S.GAIN2])、[+24dB] ([S.GAIN3])
[H DETAIL LEVEL] US	水平ディテールのレベルを設定します。 [0] … [63] ●工場出荷値：[20] (UHD モード)、[15] (HD モード)
[CRISP] US	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。 [0] … [63] ●工場出荷値：[5] (UHD モード)、[0] (HD モード)
[LEVEL DEPENDENT SWITCH] US	暗部のディテールを除去する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[LEVEL DEPENDENT] US	暗部のディテールを除去します。数値が大きいくほど除去する範囲が広がります。 [0] … [15] ●工場出荷値：[8]
[PEAK FREQUENCY] US	水平ディテールのピーク周波数を設定します。 UHD モード：[0] … [4] HD モード：[0] … [31] ●工場出荷値：[3] (UHD モード)、[18] (HD モード)
[MASTER GAMMA] US	ガンマ特性を調整します。 [MAIN MENU] → [PAINT] → [GAMMA/BLACK GAMMA] → [GAMMA MODE SELECT] が [HD] のとき： [0.150] … [0.750] (0.0020 ステップ) [MAIN MENU] → [PAINT] → [GAMMA/BLACK GAMMA] → [GAMMA MODE SELECT] が [FILMLIKE1] / [FILMLIKE2] / [FILMLIKE3] のとき： [0.300] … [0.750] (0.0025 ステップ) [MAIN MENU] → [PAINT] → [GAMMA/BLACK GAMMA] → [GAMMA MODE SELECT] が [FILE REC] / [VIDEO REC] のとき： [0.150] … [0.750] (0.0020 ステップ) [MAIN MENU] → [PAINT] → [DRS] → [DRS] が [ON] のとき： [0.150] … [0.750] (0.0020 ステップ) ●工場出荷値：[0.50] ([S.GAIN1])、[0.60] ([S.GAIN2])、[0.60] ([S.GAIN3])
[MASTER PEDESTAL OFFSET] US	黒レベルを調整します。 [-200] … [+200] ●工場出荷値：[000]
[R PEDESTAL OFFSET] US	Rch のペダスタルの補正量を調整します。 [-200] … [+200] ●工場出荷値：[000]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[B PEDESTAL OFFSET] US	Bch のペDESTALの補正量を調整します。 [-200] … [+200] •工場出荷値：[000]

[IRIS]

項目	設定内容
[WINDOW SELECT] U	測光範囲を設定します。 [1] … [4] ウィンドウイメージは次のようになります。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">[1] </div> <div style="text-align: center;">[2] </div> <div style="text-align: center;">[3] </div> <div style="text-align: center;">[4] </div> </div> •工場出荷値：[1]
[IRIS LEVEL] U	オートアイリスの目標値（明るさ）を調整します。 [0] … [100] •工場出荷値：[50]
[PEAK RATIO] U	オートアイリス測光のピーク値と平均値の割合を設定します。 [0] … [100] •工場出荷値：[50]
[IRIS RANGE] U	ROP によるオートアイリスレベルの微調整範囲を設定します。 [NORMAL]、[(3/4)]、[(2/4)]、[(1/4)] •工場出荷値：[NORMAL]
[IRIS SPEED] U	オートアイリススピードを設定します。 [1] … [25] •工場出荷値：[15]
[IRIS GAIN] U	オートアイリスの測光速度の調整を、レンズのアイリスゲインボリュームから行うか、メニューから行うかを切り替えます。通常は [LENS] に設定して、レンズのアイリスゲインボリュームで調整します。 [LENS]、[CAM] •工場出荷値：[LENS]
[LENS EXT COMP SW] U	レンズエクステンダーが有効のときアイリス補正を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[LENS EXT COMP LEVEL] U	レンズエクステンダーが有効のときアイリスの補正量を設定します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[IRIS OFFSET SW] U	アイリス制御値に対する補正の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[IRIS OFFSET] U	カメラからのアイリス制御値を補正します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]

[FBC SETTING]

UHD モード / UHD CROP モードのときは [--] と表示されます。

項目	設定内容
[FBC] U	フラッシュバンド補正の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]

[W/B BAL SETTING]

項目	設定内容
[AWB SET]	オートホワイトバランスを実行します。 [NO]、[YES]
[ABB SET]	オートブラックバランスを実行します。 [NO]、[YES]
[SHOCKLESS WB SW] U	色温度を変更したときのショックレスホワイトバランスの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[SHOCKLESS WB SPEED] U	ショックレスホワイトバランスのスピードを設定します。 [1] … [5] •工場出荷値：[4]

[SHUTTER SPEED]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[SHUTTER SW] US	シャッター機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF] : シャッターを無効にします。 [ON] : [SHUTTER SPEED] / [SYNCHRO SCAN] でシャッタースピードを設定します。 •工場出荷値 : [OFF]
[SHUTTER MODE] US	シャッターの動作モードを選択します。 [SHUTTER] : [SHUTTER SPEED] で設定されたシャッタースピードになります。 [SYNCHRO] : [SYNCHRO SCAN] で設定されたシャッタースピードになります。 •工場出荷値 : [SHUTTER]
[SHUTTER SPEED] US	[SHUTTER MODE] が [SHUTTER] のときのシャッタースピードを設定します。 [59.94i] / [59.94p] モード : [1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]、 [180.0deg]、[172.8deg]、[144.0deg]、[120.0deg]、[90.0deg]、[45.0deg] [50i] / [50p] モード : [1/60]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、[1/1500]、[1/2000]、 [180.0deg]、[172.8deg]、[144.0deg]、[120.0deg]、[90.0deg]、[45.0deg] [29.97p] モード : [1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、 [1/1000]、[1/1500]、[1/2000]、[180.0deg]、[172.8deg]、[144.0deg]、[120.0deg]、 [90.0deg]、[45.0deg] [25p] モード : [1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、[1/1000]、 [1/1500]、[1/2000]、[180.0deg]、[172.8deg]、[144.0deg]、[120.0deg]、[90.0deg]、 [45.0deg] [23.98p] モード : [1/48]、[1/50]、[1/60]、[1/96]、[1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、 [1/1000]、[1/1500]、[1/2000]、[180.0deg]、[172.8deg]、[144.0deg]、[120.0deg]、 [90.0deg]、[45.0deg] •工場出荷値 : [1/100]
[SYNCHRO SCAN DISP] US	シンクロスキャンモードを表示する単位を設定します。 [SEC] : 時間で表示します。 [DEG] : シャッターの開口角度で表示します。 •工場出荷値 : [SEC]
[SYNCHRO SCAN] US	[SHUTTER MODE] が [SYNCHRO] のときのシャッタースピードを設定します。 [59.94i] / [59.94p] モード : [61.7Hz] … [6130Hz] •工場出荷値 : [61.7Hz] [50i] / [50p] モード : [51.5Hz] … [6250Hz] •工場出荷値 : [51.5Hz] [29.97p] モード : [30.9Hz] … [2600Hz] •工場出荷値 : [30.9Hz] [25p] モード : [25.7Hz] … [3130Hz] •工場出荷値 : [25.7Hz] [23.98p] モード : [24.7Hz] … [2880Hz] •工場出荷値 : [24.7Hz] [DEG] 表示時 : [3.0deg] … [359.5deg] •工場出荷値 : [180.0deg]

[TALLY]

項目	設定内容
[FRONT TALLY] U	フロントタリーランプの有効 / 無効と明るさを設定します。 [OFF]、[LOW]、[HIGH] •工場出荷値 : [LOW]
[BACK TALLY] U	バックタリーランプの有効 / 無効と明るさを設定します。 [OFF]、[LOW]、[HIGH] •工場出荷値 : [LOW]

[BAR SETTING]

項目	設定内容
[BAR SW] U	カラーバーの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値 : [OFF]
[BAR SELECT] U	カラーバーの種類を設定します。 [FULL]、[SMPTE]、[ARIB] •工場出荷値 : [FULL]

[PAINT]

[PAINT SWITCH]

項目	設定内容
[WHITE SHADING] US	ホワイトシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[FLARE] US	フレアの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[GAMMA] US	ガンマの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[BLACK GAMMA] US	ブラックガンマの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[KNEE] US	ニーの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[MANUAL]、[AUTO] ●工場出荷値：[MANUAL]
[WHITE CLIP] US	ホワイトクリップの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[DRS SW] US	ダイナミックレンジストレッチャーの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] UHD モード / UHD CROP モードのときは [---] と表示されます。 ●工場出荷値：[OFF]
[DETAIL] US	ディテールの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[SKIN TONE DETAIL] US	スキントーンディテールの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[MATRIX] US	マトリックス（リニアマトリックス / 12 軸色補正）の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[LINEAR MATRIX] US	リニアマトリックスの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[COLOR CORRECT] US	12 軸色補正の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]

[PEDESTAL]

項目	設定内容
[MASTER PEDESTAL] US	マスターペダスタルの黒レベルを調整します。 [-99] … [99] ●工場出荷値：[0]
[R PEDESTAL] US	マスターペダスタルに対して赤色の補正レベルを設定します。 [-800] … [+800] ●工場出荷値：[0]
[G PEDESTAL] US	マスターペダスタルに対して緑色の補正レベルを設定します。 [-800] … [+800] ●工場出荷値：[0]
[B PEDESTAL] US	マスターペダスタルに対して青色の補正レベルを設定します。 [-800] … [+800] ●工場出荷値：[0]
[PEDESTAL OFFSET] US	オートブラックバランスを調整したときの、Rch、Gch、Bch のペダスタルレベルを保持するかどうかを設定します。 [ON]：[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL] で設定した値を保持したままにします。 [OFF]：[R PEDESTAL]、[G PEDESTAL]、[B PEDESTAL] で設定を [0] にします。 ●工場出荷値：[OFF]
[MASTER PEDESTAL RANGE] US	マスターペダスタルの可変量を設定します。 [NORMAL]：現状の可変量 [WIDE]：現状の 2 倍の可変量 ●工場出荷値：[NORMAL]

[CHROMA]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[CHROMA LEVEL SWITCH] US	クロマのゲイン調整の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[CHROMA LEVEL] US	クロマのゲイン調整を設定します。 [-100%] … [+40%] ●工場出荷値：[0%]

[COLOR TEMP SETTING]

項目	設定内容	
[COLOR TEMP PRESET]	[COLOR TEMP PRE SWITCH] US	色温度の調整の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
	[COLOR TEMP] US	[COLOR TEMP PRE SWITCH] が [ON] のときの色温度を設定します。 [2000K] … [15000K] ●工場出荷値：[3200K]
	[R GAIN] US	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] ●工場出荷値：[0]
	[B GAIN] US	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] ●工場出荷値：[0]
	[G AXIS] US	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] ●工場出荷値：[0]
[COLOR TEMP]	[COLOR TEMP] US	ホワイトバランスを実行したときの色温度を設定します。 [2000K] … [15000K] ●工場出荷値：[3200K]
	[R GAIN] US	色温度に対して赤色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] ●工場出荷値：[0]
	[B GAIN] US	色温度に対して青色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] ●工場出荷値：[0]
	[G AXIS] US	色温度に対して緑色の補正レベルを設定します。 [-400] … [+400] ●工場出荷値：[0]

[RB GAIN CONTROL SETTING]

項目	設定内容	
[RB GAIN PRESET]	[R GAIN] US	Rch ゲインのプリセット値を設定します。 [COLOR TEMP PRE SWITCH] が [OFF] のときは、使用できません。 [-1000] … [+1000] ●工場出荷値：[0]
	[B GAIN] US	Bch ゲインのプリセット値を設定します。 [COLOR TEMP PRE SWITCH] が [OFF] のときは、使用できません。 [-1000] … [+1000] ●工場出荷値：[0]
[RB GAIN]	[R GAIN] US	ゲインに対して赤色の補正レベルを設定します。 [-1000] … [+1000] ●工場出荷値：[0]
	[B GAIN] US	ゲインに対して青色の補正レベルを設定します。 [-1000] … [+1000] ●工場出荷値：[0]
	[GAIN OFFSET] US	オートホワイトバランスを調整したときの Rch、Bch のゲインレベルを保持するかどうかを設定します。 [ON]：[R GAIN]、[B GAIN] で設定した値を保持したままにします。 [OFF]：[R GAIN]、[B GAIN] で設定を [0] にします。 ●工場出荷値：[OFF]

[WHITE SHADING]

項目	設定内容
[CORRECT] US	ホワイトシェーディング（ノコギリ歯状波形またはパラボラ波形）の補正の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[H SAW R] US	Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[H SAW G] US	Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[H SAW B] US	Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[H PARA R] US	Rch に対して、バラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[H PARA G] US	Gch に対して、バラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[H PARA B] US	Bch に対して、バラボラ波形を使って水平方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[V SAW R] US	Rch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[V SAW G] US	Gch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[V SAW B] US	Bch に対して、ノコギリ歯状波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[V PARA R] US	Rch に対して、バラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[V PARA G] US	Gch に対して、バラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[V PARA B] US	Bch に対して、バラボラ波形を使って垂直方向にホワイトシェーディングのゲインを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]

[FLARE]

項目	設定内容
[FLARE] US	フレア補正の有効/無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[MASTER FLARE] US	マスターフレアを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[R FLARE] US	Rch フレアを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[G FLARE] US	Gch フレアを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]
[B FLARE] US	Bch フレアを調整します。 [-100] … [+100] ●工場出荷値：[0]

[GAMMA/BLACK GAMMA]

項目	設定内容
[GAMMA] US	ガンマ補正の有効/無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[GAMMA MODE SELECT] US	ガンマの種類を選択します。 [HD]、[FILMLIKE1]、[FILMLIKE2]、[FILMLIKE3]、[FILM REC]、[VIDEO REC] ●工場出荷値：[HD]
[MASTER GAMMA] US	ガンマ特性を調整します。 [GAMMA MODE SELECT] が [HD] のとき：[0.150] … [0.750] (0.0020 ステップ) [GAMMA MODE SELECT] が [FILMLIKE1] / [FILMLIKE2] / [FILMLIKE3] のとき：[0.3000] … [0.7500] (0.0025 ステップ) [GAMMA MODE SELECT] が [FILM REC] / [VIDEO REC] のとき：[0.150] … [0.750] (0.0020 ステップ) [MAIN MENU] → [PAINT] → [DRS] → [DRS] が [ON] のとき：[0.150] … [0.750] (0.0020 ステップ) ●工場出荷値：[0.450]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[R GAMMA] US	マスターガンマに対して赤色のガンマ特性を調整します。 [-75] … [+75] •工場出荷値：[0]
[B GAMMA] US	マスターガンマに対して青色のガンマ特性を調整します。 [-75] … [+75] •工場出荷値：[0]
[BLACK STRETCH LEVEL] US	([FILM REC] 設定時のみ) ガンマストレッチの位置を設定します。 [0%] … [30%] •工場出荷値：[0%]
[DYNAMIC LEVEL] US	([FILM REC] 設定時のみ) ダイナミックレンジを設定します。 [200%]、[300%]、[400%]、[500%] •工場出荷値：[500%]
[KNEE POINT] US	([VIDEO REC] 設定時のみ) ニーポイントを設定します。 [30] … [90] •工場出荷値：[30]
[KNEE SLOPE] US	([VIDEO REC] 設定時のみ) ニーロープを設定します。 [150%] / [200%] / [250%] / [300%] / [350%] / [400%] / [450%] / [500%] / [550%] / [600%] •工場出荷値：[150%]
[BLACK GAMMA] US	ブラックガンマの有効/無効を設定します。 [MAIN MENU] → [PAINT] → [DRS] → [DRS] → [ON] のときは設定できません。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[MASTER BLACK GAMMA] US	黒付近のガンマ特性を調整します。 [-48] … [+48] •工場出荷値：[0]
[R BLACK GAMMA] US	マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。 [-20] … [+20] •工場出荷値：[0]
[B BLACK GAMMA] US	マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。 [-20] … [+20] •工場出荷値：[0]

[KNEE]

次の場合は、設定は無効になり、設定できません。

- [GAMMA/BLACK GAMMA] → [GAMMA MODE SELECT] が [FILE REC] / [VIDEO REC] のとき
- [MAIN MENU] → [PAINT] → [DRS] → [DRS] が [ON] のとき

項目	設定内容
[KNEE] US	ニー機能の有効/無効を設定します。 [OFF]、[MANUAL]、[AUTO] •工場出荷値：[MANUAL]
[KNEE MASTER POINT] US	ニーポイントの位置を設定します。 [080.00%] … [110.00%] (0.25% ステップ) •工場出荷値：[95.00%]
[KNEE R POINT] US	[KNEE MASTER POINT] に対して赤色のニーポイントを調整します。 [-25.00%] … [25.00%] (0.25% ステップ) •工場出荷値：[0.00%]
[KNEE B POINT] US	[KNEE MASTER POINT] に対して青色のニーポイントを調整します。 [-25.00%] … [25.00%] (0.25% ステップ) •工場出荷値：[0.00%]
[KNEE MASTER SLOPE] US	ニーの傾きを設定します。 [00] … [199] •工場出荷値：[130]
[KNEE R SLOPE] US	[KNEE MASTER SLOPE] に対して赤色のニーの傾きを調整します。 [-99] … [+99] •工場出荷値：[0]
[KNEE B SLOPE] US	[KNEE MASTER SLOPE] に対して青色のニーの傾きを調整します。 [-99] … [+99] •工場出荷値：[0]
[AUTO KNEE POINT] US	オートニーの折れ点位置を設定します。 [080.00%] … [107.00%] •工場出荷値：[95%]
[AUTO KNEE LEVEL] US	オートニーの最大レベルを設定します。 [100%] … [109%] •工場出荷値：[108%]
[AUTO KNEE RESPONSE] US	オートニーの応答速度を設定します。設定値が小さいほど応答速度が速くなります。 [1] … [8] •工場出荷値：[4]

[WHITE CLIP]

項目	設定内容
[WHITE CLIP] US	ホワイトクリップ機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[MASTER WHITE CLIP LEVEL] US	ホワイトクリップレベルを設定します。 [80%] … [109%] ●工場出荷値：[109%]
[R WHITE CLIP LEVEL] US	[MASTER WHITE CLIP LEVEL] に対して赤色を調整します。 [-15%] … [+15%] ●工場出荷値：[0%]
[B WHITE CLIP LEVEL] US	[MASTER WHITE CLIP LEVEL] に対して青色を調整します。 [-15%] … [+15%] ●工場出荷値：[0%]
[HI-COLOR] US	高輝度部分の色再現性を改善させるかどうかを設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[HI-COLOR LEVEL] US	色のダイナミックレンジを拡大するモードのレベルを設定します。 [1] … [32] ●工場出荷値：[32]

[DRS]

項目	設定内容
[DRS] US	ダイナミックレンジストレッチャー機能の有効 / 無効を設定します。[ON] にするとコントラストを自動調整します。 [OFF]、[ON] UHD モード / UHD CROP モードのときは [--] と表示されます。 ●工場出荷値：[OFF]
[EFFECT DEPTH] US	ダイナミックレンジストレッチャー機能の高輝度部の圧縮レベルを設定します。数値が大きいほど、高輝度部の圧縮レベルが大きくなります。 [1] … [5] UHD モード / UHD CROP モードのときは [--] と表示されます。 ●工場出荷値：[5]

[DETAIL SETTING]

項目	設定内容
[DETAIL] US	全ディテール機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[MASTER DETAIL] US	マスターディテールを設定します [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[H DETAIL LEVEL] US	水平ディテール補正レベルを設定します。 [00] … [63] ●工場出荷値：[20] (UHD モード / UHD CROP モード)、[15] (HD モード)
[V DETAIL LEVEL] US	垂直ディテール補正レベルを設定します。 [00] … [63] ●工場出荷値：[32] (UHD モード / UHD CROP モード)、[27] (HD モード)
[PEAK FREQUENCY] US	水平ディテールのピーク周波数を設定します。 UHD モード / UHD CROP モード： [0] … [4] HD モード： [00] … [31] ●工場出荷値：[3] (UHD モード / UHD CROP モード)、[18] (HD モード)
[V DETAIL FREQUENCY] US	垂直ディテール周波数を設定します。 UHD モード / UHD CROP モード： [0] … [4] HD モード： [00] … [31] ●工場出荷値：[3] (UHD モード / UHD CROP モード)、[18] (HD モード)
[CRISP] US	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。 [00] … [63] ●工場出荷値：[5] (UHD モード / UHD CROP モード)、[0] (HD モード)
[DETAIL GAIN(+)] US	ディテールの + (上) 方向のレベルを設定します。 UHD モード / UHD CROP モードのときは [--] と表示されます。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[DETAIL GAIN(-)] US	ディテールの - (下) 方向のレベルを設定します。 UHD モード /UHD CROP モードのときは [--] と表示されます。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[DETAIL CLIP+] US	ディテールの付きすぎによるぎらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。 [00] … [63] •工場出荷値：[0]
[DETAIL CLIP-] US	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分を調整します。 [00] … [63] •工場出荷値：[0]
[DETAIL SOURCE] US	ディテールを作成する RGB 信号成分の比率を設定します。 [(G+R)/2]、[(G+B)/2]、[(2G+B+R)/4]、[(3G+R)/4]、[R]、[G] UHD モード /UHD CROP モードのときは [--] と表示されます。 •工場出荷値：[(G+R)/2]
[KNEE APERTURE LEVEL] US	二一の開口部のレベルを調整します。 [00] … [39] •工場出荷値：[0] (UHD モード /UHD CROP モード)、[5] (HD モード)
[LEVEL DEPENDENT SWITCH] US	暗部のディテールを除去する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[ON] (UHD モード /UHD CROP モード)、[OFF] (HD モード)
[LEVEL DEPENDENT] US	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。 [00] … [15] •工場出荷値：[8]

[DOWNCON DETAIL SETTING]

HD モードのときは表示されません。

項目	設定内容
[DETAIL] US	全ディテール機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[ON]
[MASTER DETAIL] US	マスターディテールを設定します [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[H DETAIL LEVEL] US	水平ディテール補正レベルを設定します。 [00] … [63] •工場出荷値：[15]
[V DETAIL LEVEL] US	垂直ディテール補正レベルを設定します。 [00] … [63] •工場出荷値：[15]
[PEAK FREQUENCY] US	水平ディテールのピーク周波数を設定します。 [00] … [31] •工場出荷値：[10]
[V DETAIL FREQUENCY] US	垂直ディテール周波数を設定します。 [00] … [31] •工場出荷値：[10]
[CRISP] US	ディテール信号のノイズ除去レベルを設定します。 [00] … [63] •工場出荷値：[10]
[DETAIL GAIN(+)] US	ディテールの + (上) 方向のレベルを設定します。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[DETAIL GAIN(-)] US	ディテールの - (下) 方向のレベルを設定します。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]
[DETAIL CLIP+] US	ディテールの付きすぎによるぎらつきを抑えるため、ディテールクリップを調整します。 [00] … [63] •工場出荷値：[0]
[DETAIL CLIP-] US	ディテールエッジ成分のアンダーシュート部分を調整します。 [00] … [63] •工場出荷値：[0]
[DETAIL SOURCE] US	ディテールを作成する RGB 信号成分の比率を設定します。 [(G+R)/2]、[(G+B)/2]、[(2G+B+R)/4]、[(3G+R)/4]、[R]、[G] •工場出荷値：[(G+R)/2]
[KNEE APERTURE LEVEL] US	二一の開口部のレベルを調整します。 [00] … [39] •工場出荷値：[00]
[LEVEL DEPENDENT SWITCH] US	暗部のディテールを除去する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[LEVEL DEPENDENT] US	暗部のディテールを除去するレベルを設定します。 [00] … [15] •工場出荷値：[8]

[SKIN TONE DETAIL SETTING]

項目	設定内容
[SKIN TONE DETAIL] US	スキントーンディテール機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[SKIN GET]	カーソル位置から自動で彩度と色相情報を取得するかどうかを選択します。 [NO]、[YES]
[MEMORY SELECT] US	スキントーンテーブルを効かせる被写体の肌色テーブルを選択します。 [A]、[B]、[C] •工場出荷値：[A]
[CURSOR] US	画面中央のボックスカーソルの表示 / 非表示を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[H POSITION] US	カーソルの水平位置を調整します。 [0%] … [100.00%] (0.25% ステップ) •工場出荷値：[50.00%]
[V POSITION] US	カーソルの垂直位置を調整します。 [0%] … [100.00%] (0.25% ステップ) •工場出荷値：[50.00%]
[ZEBRA]	ゼブラ表示の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[ZEBRA EFFECT MEMORY] US	ゼブラ表示のテーブルを選択します。 [A]、[B]、[C]、[A+B]、[A+C]、[B+C]、[A+B+C] •工場出荷値：[A+B+C]
[SKIN TONE EFFECT MEMORY] US	スキントーンディテールを効かせる肌色テーブルを選択します。 [A]、[B]、[C]、[A+B]、[A+C]、[B+C]、[A+B+C] •工場出荷値：[A+B+C]
[SKIN TONE CRISP] US	スキントーンディテールを調整します。 [-63] … [+63] •工場出荷値：[+63]
[I CENTER] US	I軸上の中心位置（スキントーンを効かせるエリア）を設定します。 [0] … [255] •工場出荷値：[87] (UHD モード/UHD CROP モード)、[18] (HD モード)
[I WIDTH] US	[I CENTER] を中心としたI軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 [0] … [255] •工場出荷値：[20] (UHD モード/UHD CROP モード)、[8] (HD モード)
[Q WIDTH] US	[I CENTER] を中心としたQ軸上のスキントーンを効かせるエリア幅を設定します。 [0] … [255] •工場出荷値：[43]
[Q PHASE] US	Q軸を基準としたスキントーンを効かせるエリアの位相を設定します。 [0] … [359] •工場出荷値：[90]

[LINEAR MATRIX]

項目	設定内容
[MATRIX] US	マトリックス機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[LINEAR MATRIX]	リニアマトリックス機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[LINEAR TABLE] US	リニアマトリックスのテーブルを選択します。 [A]、[B] •工場出荷値：[A]
[COLOR CORRECT]	12 軸色補正機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[COLOR CORRECT TABLE] US	色補正テーブルを選択します。 [A]、[B] •工場出荷値：[A]
[MATRIX (R-G)_N] US	赤と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] •工場出荷値：[0]

第 4 章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[MATRIX (R-G)_P] US	赤と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (R-B)_N] US	赤と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (R-B)_P] US	赤と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (G-R)_N] US	緑と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (G-R)_P] US	緑と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (G-B)_N] US	緑と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (G-B)_P] US	緑と青の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (B-R)_N] US	青と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (B-R)_P] US	青と赤の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (B-G)_N] US	青と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]
[MATRIX (B-G)_P] US	青と緑の間のリニアマトリックスを調整します。 [MATRIX] が [OFF] のときは使用できません。 [-31] … [+31] ●工場出荷値：[0]

[COLOR CORRECTION]

項目	設定内容
[MATRIX] US	マトリックス機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[LINEAR MATRIX]	— US
[LINEAR TABLE] US	リニアマトリックス機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[COLOR CORRECT]	— US
[COLOR CORRECT TABLE] US	リニアマトリックスのテーブルを選択します。 [A]、[B] ●工場出荷値：[A]
[G SAT] US	1 2 軸色補正機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]
[CY-G SAT] US	色補正テーブルを選択します。 [A]、[B] ●工場出荷値：[A]
[CY SAT] US	緑の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[CY-G SAT] US	緑とシアンの間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[CY SAT] US	シアンの色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[B-CY SAT] US	シアンと青の間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[B SAT] US	青の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[MG-B SAT] US	青とマゼンタの間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[MG_SAT] US	マゼンタの色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[R-MG SAT] US	マゼンタと赤の間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[R SAT] US	赤の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[YL-R SAT] US	赤と黄の間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[YL SAT] US	黄の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[G-YL SAT] US	黄と緑の間の色飽和度を調整します。 [-127] … [+126] ●工場出荷値：[0]
[G PHASE] US	緑の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[CY-G PHASE] US	緑とシアンの間の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[CY PHASE] US	シアンの色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[B-CY PHASE] US	シアンと青の間の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[B PHASE] US	青の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[MG-B PHASE] US	青とマゼンタの間の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[MG_PHASE] US	マゼンタの色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[R-MG PHASE] US	マゼンタと赤の間の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[R PHASE] US	赤の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[YL-R PHASE] US	赤と黄の間の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[YL PHASE] US	黄の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]
[G-YL PHASE] US	黄と緑の間の色相を調整します。 [-127] … [+127] ●工場出荷値：[0]

[SKIN CORRECTION]

項目	設定内容
[SKIN AREA SW] US	スキンエリアの色を微調整する機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[OFF]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[SKIN AREA TABLE] US	スキンエリアのテーブルを選択します。 [A]、[B] •工場出荷値：[A]
[SKIN AREA HUE] US	スキンエリアの色相を微調整します。 [-127] … [+127] •工場出荷値：[0]
[SKIN AREA TONE] US	スキンエリアのトーンを微調整します。 [-127] … [+126] •工場出荷値：[0]

[DNR]

項目	設定内容
[DNR SW] US	ノイズリダクション機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[ON]
[DNR LEVEL] US	ノイズリダクションのレベルを設定します。 数値が大きいくほど、ノイズリダクションの効果が強くなります。 [1] … [5] •工場出荷値：[3]

[HAZE REDUCTION]

項目	設定内容
[HAZE REDUCTION] US	霧除去機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[HAZE REDUCTION LEVEL] US	霧除去のレベルを設定します。 数値が大きいくほど、霧除去の効果が大きくなります。 [1] … [3] •工場出荷値：[1]

[SCENE FILE]

項目	設定内容
[MODE]	動作モードを選択します。 [LOAD]、[STORE] •工場出荷値：[LOAD]
[FILE NO.]	ファイル番号を選択します。 [MODE] が [LOAD] のとき：[OFF]、[1] … [8] [MODE] が [STORE] のとき：[1] … [8] •工場出荷値：[OFF]
[FILE NAME]	ファイル名を入力します。(15文字以内) •工場出荷値：[SCENE1]
[EXECUTE]	設定した内容で動作させるかどうか選択します。 [NO]、[YES]

[HDR-PAINT]

HDR 時の画像の設定をします。

項目	設定内容
[HLG MODE] US	HLG のモードを設定します。 [FIX]：固定モード [VAR]：可変モード •工場出荷値：[FIX]
[SDR CONVERT MODE] US	SDR に変換するモードを選択します。 [FIX]：固定モード [VAR]：可変モード •工場出荷値：[FIX]

[GAMMA/BLACK GAMMA]

[HLG MODE] で [FIX] を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

項目	設定内容
[HLG TYPE SELECT] US	HLG のタイプを選択します。 [NORMAL]：通常使用するモード [STRETCH]：HLG のカーブをストレッチしています。 •工場出荷値：[NORMAL]

第 4 章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[BLACK GAMMA SW] US	ブラックガンマの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値：[OFF]
[MASTER BLACK GAMMA] US	黒付近のガンマ特性を調整します。 [-32] … [+32] • 工場出荷値：[0]
[R BLACK GAMMA] US	マスターガンマに対して黒付近の赤色のガンマ特性を調整します。 [-32] … [+32] • 工場出荷値：[0]
[B BLACK GAMMA] US	マスターガンマに対して黒付近の青色のガンマ特性を調整します。 [-32] … [+32] • 工場出荷値：[0]

[KNEE]

[HLG MODE] で [FIX] を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

項目	設定内容
[KNEE SW] US	ニーの有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] • 工場出荷値：[ON]
[KNEE POINT] US	ニーポイントの位置を設定します。 [60.00] … [100.00] (0.25 ステップ) • 工場出荷値：[80.00]
[KNEE SLOPE] US	ニーの傾きを設定します。 [00] … [199] • 工場出荷値：[130]

[SDR CONVERT]

[SDR CONVERT MODE] で [FIX] を選択した場合は、設定は無効になり設定できません。

項目	設定内容
[GAIN] US	SDR のゲインを設定します。 [-12]、[-9]、[-6]、[-3]、[0] • 工場出荷値：[-6]
[CLIP] US	SDR のクリップを設定します。 [LOW]、[MID]、[HIGH] • 工場出荷値：[HIGH]

[SYSTEM MODE]

電源を入れた直後または [FORMAT] の 59.94、29.97、23.98 と 50、25 を切り替えたあとは、本機が起動中のため [FORMAT] を選択できません。異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。

項目	設定内容
[FORMAT]	システムフォーマットを設定します。 [2160/60p]、[2160/59.94p]、[2160/50p]、[2160/29.97p]、[2160/29.97PsF]、 [2160/25p]、[2160/25PsF]、[2160/23.98p]、[2160/23.98PsF]、[1080/60p]、 [1080/59.94p]、[1080/59.94p CROP]、[1080/59.94i]、[1080/59.94i CROP]、 [1080/50p]、[1080/50p CROP]、[1080/50i]、[1080/50i CROP]、[1080/29.97PsF]、 [1080/25PsF]、[1080/23.98p]、[1080/23.98PsF]、[720/60p]、[720/59.94p]、 [720/50p] • 工場出荷値：[2160/59.94p]
[HDR SW (MAIN)]	<UHD/HD SDI OUT 1> ~ <UHD/HD SDI OUT 4> 端子からの出力の HDR/SDR を切り替えます。 [ON] : HDR [OFF] : SDR • 工場出荷値：[OFF]  NOTE • [IN/OUT SELECT] の設定と連動します。
[HDR SW (SDI 1)] U	<HD SDI OUT 1> 端子からの出力の HDR/SDR を切り替えます。 [ON] : HDR [OFF] : SDR • 工場出荷値：[ON]  NOTE • [HDR SW (MAIN)] が [OFF] のときは、設定は無効となり [OFF] に設定されます。 [IN/OUT SELECT] の設定と連動します。

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[HDR SW (SDI 2)] U	<p>〈HD SDI OUT 2〉 端子からの出力の HDR/SDR を切り替えます。</p> <p>[ON] : HDR [OFF] : SDR</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [ON] <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [HDR SW (MAIN)] が [OFF] のときは、設定は無効となり [OFF] に設定されます。 [IN/OUT SELECT] の設定と連動します。
[HDR SW (LAN)] U	<p>〈LAN〉 端子からの出力の HDR/SDR を切り替えます。</p> <p>[ON] : HDR [OFF] : SDR</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [ON] <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [HDR SW (MAIN)] が [OFF] のときは、設定は無効となり [OFF] に設定されます。 [IN/OUT SELECT] の設定と連動します。
[SHOOTING MODE] U	<p>撮影モードを設定します。</p> <p>[NORMAL]、[HIGH SENS]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [NORMAL]
[SCAN REVERSE] U	<p>映像出力のスキャン方法を設定します。</p> <p>[OFF]、[H]、[V]、[H+V]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [OFF]

[IN/OUT SELECT]

項目	設定内容
[HD-SDI 3G SDI] U	<p>HD SDI 3G 出力のときの出力形式を設定します。</p> <p>[LEVEL-A]、[LEVEL-B]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [LEVEL-A]
[SDI1 OUT FMT] U	<p>〈HD SDI OUT 1〉 端子の出力フォーマットを設定します。</p> <p>[FORMAT] が [2160/60p] のとき： [1080/60p]、[1080/60i]、[720/60p]</p> <p>[FORMAT] が [2160/59.94p] のとき： [1080/59.94p]、[1080/59.94i]、[720/59.94p]</p> <p>[FORMAT] が [2160/29.97p] のとき： [1080/29.97PsF]</p> <p>[FORMAT] が [2160/23.98p] のとき： [1080/23.98p]、[1080/23.98p over]</p> <p>[FORMAT] が [2160/29.97PsF] のとき： [1080/29.97PsF]</p> <p>[FORMAT] が [2160/23.98PsF] のとき： [1080/23.98PsF]、[1080/23.98p over]</p> <p>[FORMAT] が [2160/50p] のとき： [1080/50p]、[1080/50i]、[720/50p]</p> <p>[FORMAT] が [2160/25p] のとき： [1080/25PsF]</p> <p>[FORMAT] が [2160/25PsF] のとき： [1080/25PsF]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [1080/59.94p]
[HD-SDI1 CHAR] U	<p>〈HD SDI OUT 1〉 端子の出力映像にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。</p> <p>[OFF]、[ON]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [OFF]
[HD-SDI OUT ITEM] U	<p>〈HD SDI OUT 1〉 / 〈HD SDI OUT 2〉 端子の出力映像に重畳するキャラクターの内容を設定します。</p> <p>[MENU ONLY] : メニューのときのみ表示</p> <p>[STATUS] : モニターに表示しているキャラクターと同じものを全て表示</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [MENU ONLY]
[HDR SW (SDI 1)] U	<p>〈HD SDI OUT 1〉 端子からの出力の HDR/SDR を切り替えます。</p> <p>[ON] : HDR [OFF] : SDR</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [ON] <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [HDR SW (MAIN)] が [OFF] のときは、設定は無効となり [OFF] に設定されます。 [SYSTEM MODE] の設定と連動します。
[HDR SW (SDI 2)] U	<p>〈HD SDI OUT 2〉 端子からの出力の HDR/SDR を切り替えます。</p> <p>[ON] : HDR [OFF] : SDR</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [ON] <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [HDR SW (MAIN)] が [OFF] のときは、設定は無効となり [OFF] に設定されます。 [SYSTEM MODE] の設定と連動します。

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目		設定内容
[HDR SW (LAN)] U		<p>〈HD SDI OUT 2〉端子からの出力の HDR/SDR を切り替えます。</p> <p>[ON] : HDR [OFF] : SDR</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [ON] <p> NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ [HDR SW (MAIN)] が [OFF] のときは、設定は無効となり [OFF] に設定されます。 [SYSTEM MODE] の設定と連動します。
[UHD-SDI S-LINK] U		<p>12G 出力ボード AK-UHD12G (別売品) を装着したときの出力信号を切り替えます。</p> <p>[ON] : 12G SDI 信号を出力します。 [OFF] : 3G SDI 信号を出力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [ON] <p>12G 出力ボード AK-UHD12G (別売品) を装着したときのみ表示されます。</p>
[UHD-SDI OUT TYPE] U		<p>UHD の出力形式を設定します。</p> <p>[SQUARE]、[2 SAMPLE INT]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [SQUARE]
[UHD-SDI 3G SDI] U		<p>UHD SDI 3G 出力のときの出力形式を設定します。</p> <p>[LEVEL-A]、[LEVEL-B]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [LEVEL-A]
[LAN CHAR] U		<p>〈LAN〉端子の出力信号にキャラクターを重畳するかどうかを設定します。</p> <p>[OFF]、[ON]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [OFF]
[UHD CROP]	[HD-SDI2 OUT SEL] U	<p>クロップ時に、〈HD SDI OUT 2〉端子の出力映像を設定します。</p> <p>[FULL]、[CROP]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [FULL]
	[LAN OUT SEL] U	<p>クロップ時に、〈LAN〉端子の出力映像を設定します。</p> <p>[FULL]、[CROP]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [CROP]
	[CROP OUT SEL] U	<p>クロップ時の切り出し出力映像を設定します。</p> <p>[YL]、[G]、[MG]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [YL]
	[CROP MARKER SEL] U	<p>クロップ時に、表示する切り出し枠を設定します。</p> <p>[YL]、[G]、[MG]、[YL+G]、[YL+MG]、[G+MG]、[YL+G+MG]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [YL+G+MG]
	[CROP ADJ SEL] U	<p>クロップ時の位置を調整する切り出し枠を設定します。</p> <p>[YL]、[G]、[MG]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [YL]
	[CROP H POSITION] U	<p>クロップ時の切り出し水平位置を設定します。</p> <p>[-50.00%] … [+50.00%] (0.25% ステップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [0.00%]
	[CROP V POSITION] U	<p>クロップ時の切り出し垂直位置を設定します。</p> <p>[-50.00%] … [+50.00%] (0.25% ステップ)</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [0.00%]
[DISPLAY STATUS/ BAR OSD]	[CAM ID SWITCH] U	<p>本線信号に重畳するステータス表示を設定します。</p> <p>[OFF] : カメラ ID を表示しません。 [BAR] : [BAR] のときのみ、カメラ ID を表示します。 [ON] : 常時、カメラ ID を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [OFF]
	[CAM ID CHARACTER] U	<p>カメラ名を設定します。</p>
	[CAM ID POSI] U	<p>カメラ ID の表示位置を設定します。</p> <p>[0] : 左上 [1] : 右上 [2] : 左下 [3] : 右下</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [1]
[GEN-LOCK]	[GEN-LOCK INPUT] U	<p>同期信号入力を BNC から入力するか、D-SUB から入力するかを設定します。</p> <p>[BNC]、[DSUB]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [BNC]
	[H PHASE-COARSE] U	<p>水平同期の位相合わせの粗調整をします。</p> <p>[-5] … [+5]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [0]
	[H PHASE-FINE] U	<p>水平同期の位相合わせの微調整をします。</p> <p>[-100] … [+100]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [0]
[PROTCOL]	[PROTCOL] U	<p>プロトコルの種類を設定します。</p> <p>[1] : 情報カメラ通信プロトコル (EIA422) [2] : 情報カメラ通信プロトコル (EIA232) [3] : コンパチブルパーソナルコンピューター制御プロトコル (EIA422) [4] : コンパチブルパーソナルコンピューター制御プロトコル (EIA232)</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [3]

[INTELLIGENT]

[INTELLIGENT MEMORY]

項目	設定内容
[MEMORY] U	インテリジェント機能の対象メモリーを切り替えます。 [1]、[2] ●工場出荷値：[1]
[MASTER GAIN]	現在のゲインの合計を表示します。
[ND FILTER]	現在の ND フィルターの位置を表示します。
[INTELLIGENT] U	インテリジェント機能の動作モードを設定します。 [OFF]：メニューやカメラコントローラーからの設定で動作します。 [ON]：自動露出およびオートトラッキングホワイトバランスを行います。 [LOCK]：[ON] から [LOCK] にした時点で自動露出およびオートトラッキングホワイトバランスの調整状態を保持します。 ●工場出荷値：[OFF]
[INTELLIGENT MODE] U	インテリジェント機能の制御項目を設定します。 [INTELLIGENT] が [LOCK] のときは変更できません。 [AE]：[IRIS RANGE] の範囲内で調整しきれないときに、ゲイン（[FRAME MIX] を含む）の制御および ND フィルターの可変による自動露出を制御します。 [ATW]：白の被写体があると判断したときに、自動でホワイトバランスを調整します。 [AE+ATW]：[AE] と [ATW] を同時に行います。 ●工場出荷値：[AE+ATW]
[ND FILTER SELECT] U	自動露出の動作中の ND フィルターを設定します。 自動露出の動作中はカメラコントローラーからの制御はできません。 [CLEAR]、[1/4]、[1/16]、[1/64]、[AUTO] ●工場出荷値：[AUTO]
[AGC SPEED] U	オートゲインコントロールの収束時間を設定します。 数値が大きいほど収束時間が速くなります。 [1] … [5] ●工場出荷値：[3]
[AGC GAIN STEP] U	オートゲインコントロールのゲインアップまたはゲインダウンのステップを設定します。 [NORMAL]：露出アンダーのとき、0 dB から [AGC MAX GAIN] で設定した値まで細かいステップでゲインアップします。露出オーバーのとき、[AGC MAX GAIN] で設定した値から 0 dB まで細かいステップでゲインダウンします。 [MAX]：露出アンダーのとき、0 dB から [AGC MAX GAIN] で設定した値まで粗いステップでゲインアップします。露出オーバーのとき、[AGC MAX GAIN] で設定した値から 0 dB まで粗いステップでゲインダウンします。 [MAX] に設定したときは、レンズのアイリス可変範囲を超えないように [AGC MAX GAIN] を設定してください。 ●工場出荷値：[NORMAL]
[HIGH LIGHT DETECT] U	有効映像内にスポット光が入ったときに、無視するレベルを 10 段階で設定します。数値が大きいほど、スポット光に反応します。 [1] … [10] ●工場出荷値：[5]
[IRIS LIMIT] U	オートゲインコントロール動作のときのアイリス制御範囲を設定します。 [1]：F2.0 ~ F8 [2]：F2.0 ~ F11 [3]：F2.0 ~ F16 ●工場出荷値：[2]
[ATW SPEED] U	オートトラッキングホワイトバランスの収束時間を 5 段階で設定します。数値が大きいほど、収束時間が速くなります。 [1] … [5] ●工場出荷値：[3]
[ATW WIDTH] U	オートトラッキングホワイトバランスで追従する色温度範囲を設定します。 [1] … [5] ●工場出荷値：[5]
[D5600K] U	オートトラッキングホワイトバランスのセンター値を 5600 K にするかどうか設定します。 [OFF]、[ON] ●工場出荷値：[ON]
[AGC MODE] U	オートゲインコントロールの制御モードを設定します。 [NORMAL]：オートゲインコントロールの制御により、最大 +18 dB までゲインアップします。 [SPORTS]：動きの速い映像にあわせて制御します。 [SN]：SN を優先し制御します。 ●工場出荷値：[NORMAL]
[AGC MAX GAIN]	オートゲインコントロールの最大ゲインアップ量を表示します。
[FRAME MIX]	オートゲインコントロールにおける最大フレーム加算の量を表示します。

[INTELLIGENT SETTING]

項目	設定内容
[INTELLIGENT] U	インテリジェントモードを切り替えます。 [OFF]：[INTELLIGENT1]、[INTELLIGENT2] とともに手動になります。 [INTEL1]：[INTELLIGENT1] は自動、[INTELLIGENT2] は手動になります。 [INTEL2]：[INTELLIGENT1] は手動、[INTELLIGENT2] は自動になります。 ●工場出荷値：[OFF]
[IRIS ON LOCK] U	インテリジェント機能がロックされたときのアイリスの動作状態を選択します。 [LOCK]：アイリスをロック開始状態で保持します。 [MANUAL]：手動操作に切り替わります。 [PANEL]：カメラコントローラーからの制御でアイリス動作の自動 / 手動を切り替えます。 ●工場出荷値：[LOCK]

[NETWORK SETUP]

電源を入れた直後または [FORMAT] の 59.94、29.97、23.98 と 50、25 を切り替えたあとは、本機が起動中のため [NETWORK SETUP] を選択できません。

異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。

項目	設定内容
[IP ADDRESS]	IP アドレスを設定します。 ●工場出荷値：[192.168.0.40]
[SUBNET MASK]	サブネットマスクを設定します。 ●工場出荷値：[255.255.255.0]
[DEFAULT GATEWAY]	デフォルトゲートウェイを設定します。 ●工場出荷値：[192.168.0.1]
[HTTP PORT]	HTTP のポート番号 (Web ブラウザーからアクセスする時のポート番号) を設定します。 [1] … [65535] ●工場出荷値：[80]
[SET EXECUTE]	設定した内容で動作させるかどうかを選択します。 [NO]、[YES]
[MAC ADDRESS]	MAC アドレスを表示します。(変更できません)

[FILE]

[SCENE FILE]

項目	設定内容
[MODE]	動作モードを選択します。 [LOAD]、[STORE] ●工場出荷値：[LOAD]
[FILE NO.]	ファイルを選択します。 [MODE] が [LOAD] のとき： [OFF]、[1] … [8] ●工場出荷値：[OFF] [MODE] が [STORE] のとき： [1] … [8] ●工場出荷値：[1]
[FILE NAME]	ファイル名を入力します。(15 文字以内) ●工場出荷値：[SCENE1]
[EXECUTE]	設定した内容で動作させるかどうかを選択します。 [NO]、[YES]

[USER FILE]

項目	設定内容
[MODE]	動作モードを選択します。 [LOAD]、[STORE] ●工場出荷値：[LOAD]
[FILE NO.]	ファイルを選択します。 [1]、[2]、[3] ●工場出荷値：[1]
[FILE NAME]	ファイル名を入力します。(15 文字以内) ●工場出荷値：[USER1]
[EXECUTE]	設定した内容で動作させるかどうかを選択します。 [NO]、[YES]

[MAINTENANCE]

[LENS FILE ADJUST]

項目	設定内容
[LENS FILE SW]	レンズファイルの有効 / 無効を切り替えます。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[OFF]
[LENS FILE MODE]	動作モードを選択します。 [LOAD]、[STORE]、[CANCEL] •工場出荷値：[LOAD]
[FILE NO.]	ファイルを選択します。 [1] … [32] •工場出荷値：[1]
[FILE NAME]	ファイル名を入力します。(15文字以内) •工場出荷値：[LENS FILE 1]
[EXECUTE]	動作させるかどうか選択します。 [NO]、[YES]
[FLARE R] U	[FILE NO.] で選択したデータの Rch フレアを調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[FLARE G] U	[FILE NO.] で選択したデータの Gch フレアを調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[FLARE B] U	[FILE NO.] で選択したデータの Bch フレアを調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[GAIN R] U	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ゲインを調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[GAIN B] U	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ゲインを調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W H SAW R] U	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W H SAW G] U	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W H SAW B] U	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W H PARA R] U	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをバラバラ波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W H PARA G] U	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをバラバラ波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W H PARA B] U	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをバラバラ波形を使って水平方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W V SAW R] U	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W V SAW G] U	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W V SAW B] U	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをノコギリ歯状波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W V PARA R] U	[FILE NO.] で選択したデータの Rch ホワイトシェーディングをバラバラ波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]

第4章 メニュー操作 — メニューの一覧

項目	設定内容
[W V PARA G] U	[FILE NO.] で選択したデータの Gch ホワイトシェーディングをバラボラ波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]
[W V PARA B] U	[FILE NO.] で選択したデータの Bch ホワイトシェーディングをバラボラ波形を使って垂直方向に調整します。 [-100] … [+100] •工場出荷値：[0]

[BLACK SHADING]

項目	設定内容
[CORRECT] U	ブラックシェーディングの自動補正機能の有効 / 無効を設定します。 [OFF]、[ON] •工場出荷値：[ON]
[DETECTION]	ブラックシェーディングの自動補正機能を実行するかどうかを選択します。 [NO]、[YES]
[SAVE]	自動補正データを保存するかどうかを選択します。 [NO]、[YES]
[CLEAR]	自動補正データを破棄するかどうかを選択します。 [NO]、[YES]

[FAN SETTING]

項目	設定内容
[FAN MODE] U	空冷ファンの動作モードを設定します。 [AUTO]、[LOW] •工場出荷値：[AUTO]  NOTE • [LOW] で動作させるときは、周囲温度 30 °C 以下でご使用ください。

[INITIALIZE]

電源を入れた直後または [FORMAT] の 59.94、29.97、23.98 と 50、25 を切り替えたあとは、本機が起動中のため [READ FACTORY ALL DATA] を選択できません。
異常ではありません。しばらく待ってから操作してください。

項目	設定内容
[MENU INITIALIZE]	[MAIN MENU] の値を工場出荷値に戻します。 [YES]、[NO]
[READ USER ALL DATA]	[MAIN MENU] およびシーンファイル、ユーザーファイルの値を工場出荷値に戻します。 [YES]、[NO]
[READ FACTORY ALL DATA]	[MAIN MENU] およびシーンファイル、ユーザーファイル、工場調整値を工場出荷値に戻します。 [YES]、[NO]

[DIAGNOSTIC]

[VERSION]

項目	設定内容
[VERSION]	全てのファームウェアのバージョンを表示します。
[CAM MAIN]	カメラのソフトのバージョンを表示します。
[NETWORK]	ネットワークソフトのバージョンを表示します。
[ROM TABLE]	カメラテーブルのバージョンを表示します。
[CAM FPGA]	カメラの FPGA バージョンを表示します。
[AVIO FPGA]	AVIO FPGA のバージョンを表示します。
[TENC FPGA]	TENC FPGA のバージョンを表示します。 3G TICO UHD 出力ボード AK-UTS03G (別売品) を装着したときのみ表示されます。

[HOUR METER]

項目	設定内容
[FAN]	ファンの駆動時間を表示します。 [0000000] … [1193046]
[OPERATION]	カメラヘッドの駆動時間を表示します。 [0000000] … [1193046]

第5章 外部機器との接続

本機と接続できる外部機器について説明します。

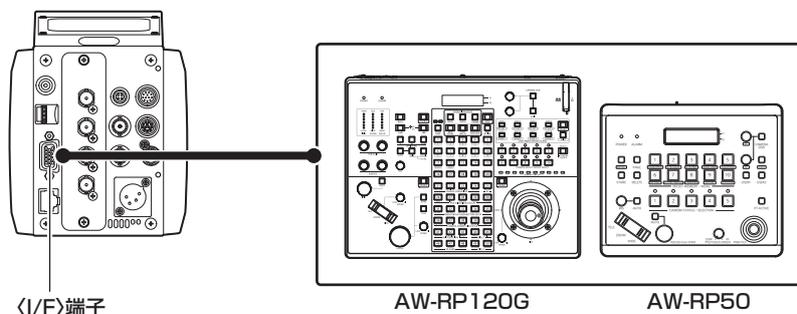
リモートカメラコントローラー (AW-RP50/AW-RP120G) の接続

- リモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールできます。
- リモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G のダイレクト接続制御により、回転台を介さずに本機を制御できます。

NOTE

- リモートカメラコントローラーのバージョンを次のようにアップデートしてください。
AW-RP50 : 3.30.00 以上
AW-RP120G : 2.40.00 以上
- 詳しくはリモートカメラコントローラーの取扱説明書および付属のチラシを参照してください。

〈I/F〉 端子とのシリアル接続



- 1 本機の 〈I/F〉 端子とリモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G の 〈TO PAN/TILT HEAD〉 端子を接続する。
- 2 [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [PROTCOL] → [PROTCOL] で [3] を選択する。
- 3 リモートカメラコントローラーをダイレクト接続制御 (CAM_Direct) に設定する。

NOTE

- 接続ケーブルについては、「コネクタ信号の内容」の「I/F ケーブル仕様」を参照してください。(122 ページ)

■ 制御できる機能

機能	内容	設定値
GAIN	ゲインモードの切り替え	[LOW]、[MID]、[HIGH]、[S.GAIN1]、[S.GAIN2]、[S.GAIN3]
PED	マスターペダスタルの調整	[-99] ~ [+99]
R GAIN/B GAIN	Rch および Bch ゲインの調整	[-1000] ~ [+1000]
R PED/B PED	Rch および Bch ペダスタルの調整	[-800] ~ [+800]
AWB	オートホワイトバランスの実行	—
ABB	オートブラックバランスの実行	—
SHUTTER	モードの切り替え	[OFF]、[STEP]、[SYNCHRO]
	ステップスピードの設定	59.94 Hz の場合 [1/100]、[1/120]、[1/125]、[1/250]、[1/500]、 [1/1000]、[1/1500]、[1/2000]、[180.0deg]、 [172.8deg]、[144.0deg]、[120.0deg]、[90.0deg]、 [45.0deg]
DETAIL	有効 / 無効の切り替え	—
MASTER DETAIL	マスターディテールの調整	[-31] ~ [+31]
SCENE	データの読み出し	AW-RP50 : [CURRENT]、[SCENE1] ~ [SCENE8] AW-RP120G : [CURRENT]、[SCENE1] ~ [SCENE3] • 対応するボタンは次のようになります。 〈SCENE1〉ボタン : [CURRENT] 〈SCENE2〉ボタン : [SCENE1] 〈SCENE3〉ボタン : [SCENE2] 〈SCENE4〉ボタン : [SCENE3]
BARS	バー表示の切り替え	—
ND FILTER	ND フィルターの設定	[CLEAR]、[1/4]、[1/16]、[1/64]
AUTO	オートアイリスの有効 / 無効	—
CAMERA OSD	メニューの表示 / 非表示	—
EXIT (AW-RP50 のみ)	メニューを 1 階層戻す	—
IRIS	アイリスの調整	—
ZOOM/FOCUS	ズーム / フォーカスの調整	—
CROP OUT SEL	クロップ時の切り出し出力映像の設定	[YL]、[G]、[MG]
CROP ADJ SEL	クロップ時の位置を調整する切り出し枠の設定	[YL]、[G]、[MG]

機能	内容	設定値
CROP H/V POSITION	クロープ時の切り出し枠のポジション調整	—

UHD 切り出し機能の制御

■ AW-RP50 での制御

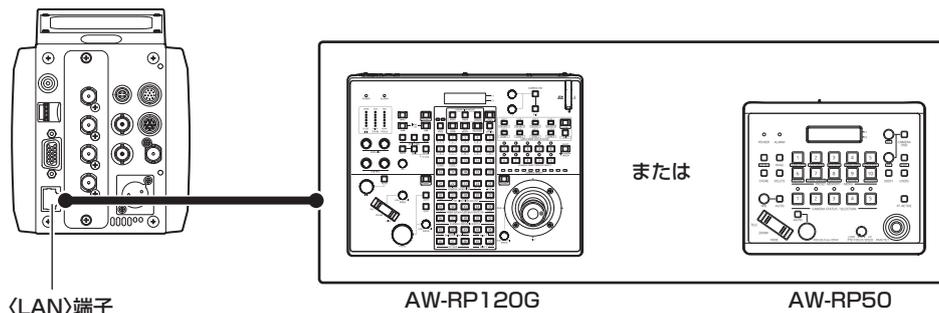
- 1 〈MENU〉 ボタンを押し、ボタンを点灯させる。
- 2 〈PRESET MEMORY/MENU〉 の 〈9 SETUP〉 ボタンを押し、ボタンを点灯させる。
- 3 〈F1〉 ダイアルを回して LCD パネルに [[2] SW LINK] を表示し、〈F1〉 ダイアルを押す。
- 4 〈F1〉 ダイアルを回して [1.SWLINK] を表示し、〈F2〉 ダイアルで [Off] を選択する。
- 5 〈PRESET MEMORY/MENU〉 の 〈8 CAMERA〉 ボタンを押し、ボタンを点灯させる。
- 6 〈F1〉 ダイアルを回して LCD パネルに [[5] CROP] を表示し、〈F1〉 ダイアルを押す。
- 7 〈F1〉 ダイアルを回して [3.P/T LEVER] を表示し、〈F2〉 ダイアルで [CROP] を選択する。
- 8 〈F1〉 ダイアルを回して [1.OUT SEL] を表示し、〈F2〉 ダイアルで切り出し出力する映像の枠を [YL]、[G]、[MG] から選択する。
- 9 〈F1〉 ダイアルを回して [2.ADJ SEL] を表示し、〈F2〉 ダイアルで切り出し位置を調整したい映像の枠を [YL]、[G]、[MG] から選択する。
- 10 〈PAN/TILT〉 レバーと 〈PTZ/FOCUS SPEED〉 ダイアルを使って切り出し位置を調整する。

■ AW-RP120G での制御

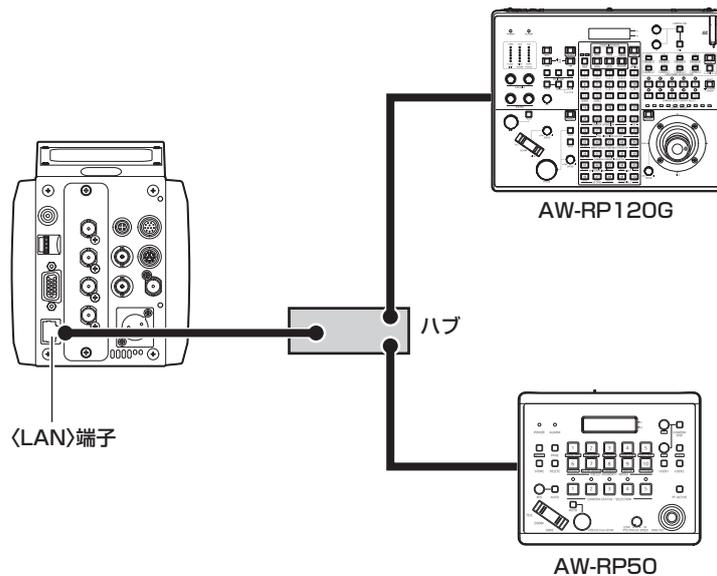
- 1 〈MENU〉 ボタンを押し、ボタンを点灯させる。
- 2 〈SWITCHER LINK〉 の 〈42 FUNCTION〉 ボタンを押し、ボタンを点灯させる。
- 3 〈F1〉 ダイアルを回して LCD パネルに [1.SWLINK] を表示し、〈F2〉 ダイアルで [Off] を選択する。
- 4 〈CAMERA OPERATION〉 の 〈23 FUNCTION〉 ボタンを押し、ボタンを点灯させる。
- 5 〈F1〉 ダイアルを回して [12.CROP P/T LVR] を表示し、〈F2〉 ダイアルで [CROP] を選択する。
- 6 〈F1〉 ダイアルを回して [10.CROP OUT SEL] を表示し、〈F2〉 ダイアルで切り出し出力する映像の枠を [YL]、[G]、[MG] から選択する。
- 7 〈F1〉 ダイアルを回して [11.CROP ADJ SEL] を表示し、〈F2〉 ダイアルで切り出し位置を調整したい映像の枠を [YL]、[G]、[MG] から選択する。
- 8 〈PAN/TILT〉 レバーと 〈PAN/TILT SPEED〉 ダイアルを使って位置を調整する。

〈LAN〉端子との IP 接続

(例 1) ハブを経由せずに接続するとき



(例 2) ハブを経由して接続するとき



1 本機の 〈LAN〉 端子とリモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G の 〈LAN〉 端子を接続する。

- ハブを経由せずに接続するときは、LAN クロスケーブルを使用してください。
- ハブを経由して接続するときは、LAN ストレートケーブルを使用してください。

2 リモートカメラコントローラーを IP ダイレクト接続制御 (IP_Direct) に設定する。

■ 制御できる機能

シリアル接続のときと、同等の機能が利用できます。

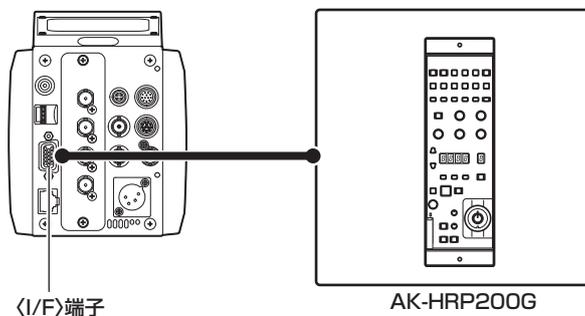
リモートオペレーションパネル (AK-HRP200G) の接続

- リモートオペレーションパネル AK-HRP200G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールできます。

NOTE

- リモートオペレーションパネルのバージョンを次のようにアップデートしてください。
5.10-00-1.07 以上
- 詳しくはリモートオペレーションパネルの取扱説明書および付属のチラシを参照してください。

〈I/F〉端子とのシリアル接続



1 本機の〈I/F〉端子とリモートオペレーションパネル AK-HRP200G の〈RS-422〉端子を接続する。

2 [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [PROTOCOL] → [PROTOCOL] で [3] を選択する。

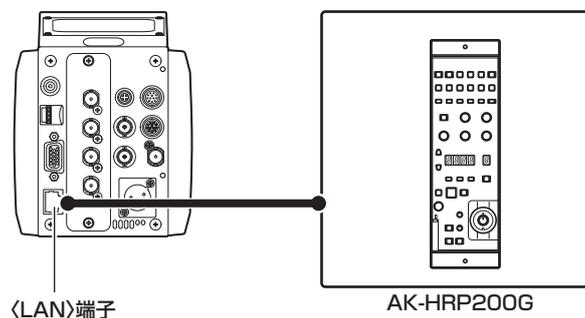
動作する機能は、次の Web サイトの対応機能一覧を参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

NOTE

- 接続ケーブルについては、「コネクタ信号の内容」の「I/F ケーブル仕様」を参照してください。(122 ページ)

〈LAN〉端子との IP 接続



1 本機の〈LAN〉端子とリモートオペレーションパネル AK-HRP200G の〈LAN〉端子を接続する。

- ハブを経由せずに接続するときは、LAN クロスケーブルを使用してください。
- ハブを経由して接続するときは、LAN ストレートケーブルを使用してください。

■ 制御できる機能

シリアル接続のときと、同等の機能が利用できます。

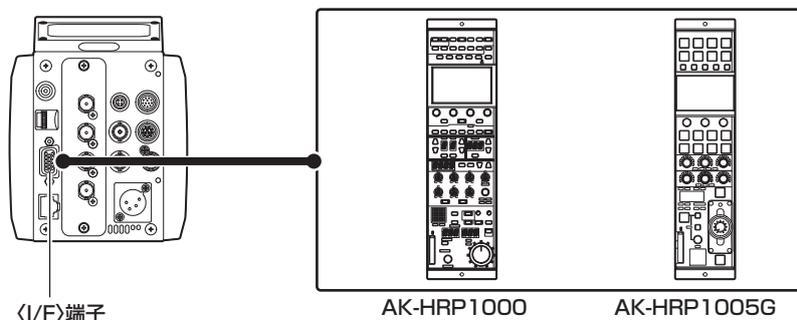
リモートオペレーションパネル (AK-HRP1000/AK-HRP1005G) の接続

- リモートオペレーションパネル AK-HRP1000/AK-HRP1005G (別売品) を接続して、機能の一部をリモートコントロールできます。

NOTE

- リモートオペレーションパネルのバージョンを次のようにアップデートしてください。
AK-HRP1000 : 4.21-00-0.00 以上
AK-HRP1005G : 4.21-00-0.00 以上
- 詳しくはリモートオペレーションパネルの取扱説明書および付属のチラシを参照してください。

〈I/F〉 端子とのシリアル接続

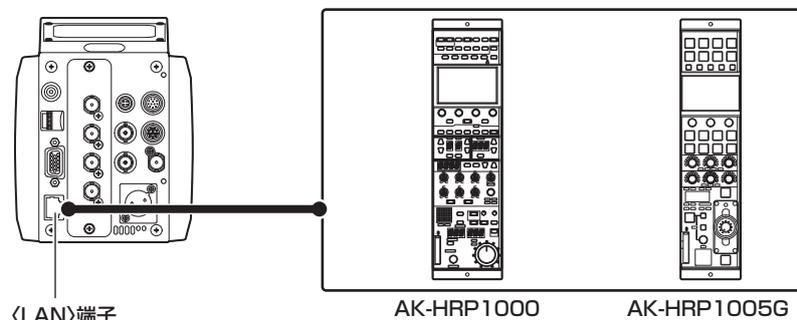


- 本機の 〈I/F〉 端子とリモートオペレーションパネル AK-HRP1000/AK-HRP1005G の 〈CCU〉 端子を接続する。
- [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [PROTOCOL] → [PROTOCOL] で [3] を選択する。
- リモートオペレーションパネル AK-HRP1000/AK-HRP1005G で、メニューの [CONNECT SETTING] を [Serial(AW)] に設定する。
動作する機能は、次の Web サイトの取扱いガイドを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

NOTE

- 接続ケーブルについては、「コネクタ信号の内容」の「I/F ケーブル仕様」を参照してください。(122 ページ)

〈LAN〉 端子との IP 接続



- 本機の 〈LAN〉 端子とリモートオペレーションパネル AK-HRP1000/AK-HRP1005G の 〈LAN〉 端子を接続する。
 - ハブを経由せずに接続するときは、LAN クロスケーブルを使用してください。
 - ハブを経由して接続するときは、LAN ストレートケーブルを使用してください。
- リモートオペレーションパネル AK-HRP1000/AK-HRP1005G で、メニューの [CONNECT SETTING] を [LAN(AW)] に設定する。

■ 制御できる機能

シリアル接続のときと、同等の機能が利用できます。

NOTE

- リモートオペレーションパネル AK-HRP1000/AK-HRP1005G の電源は 〈LAN〉 端子から供給してください。
- 〈LAN〉 端子から PoE 給電する場合は、イーサネットハブおよび PoE インジェクターをご使用ください。
- 動作確認済みイーサネットハブおよび PoE インジェクターについては、販売店にお問い合わせください。

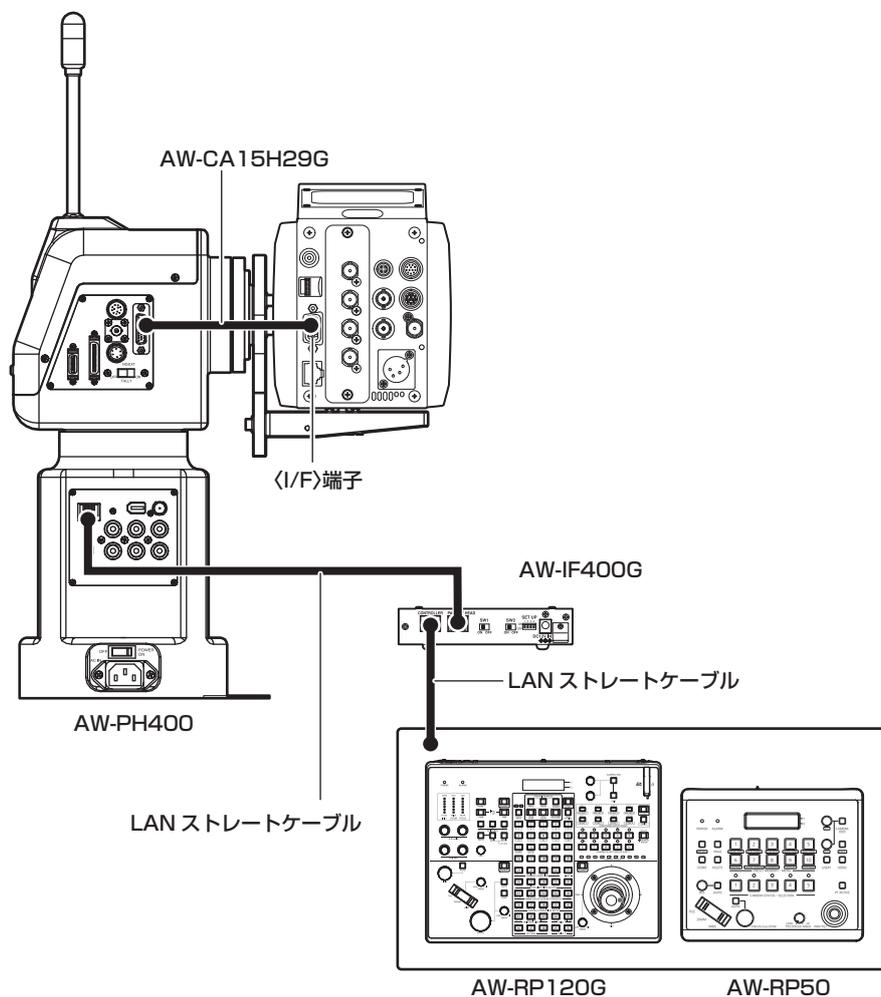
屋内回転台 (AW-PH400) の接続

- 屋内回転台 AW-PH400 (別売品)、プロトコルコンバーター AW-IF400G (別売品)、およびリモートカメラコントローラー AW-RP50/ AW-RP120G (別売品) を接続して、屋内回転台に載せた状態で本機の機能の一部をリモートコントロールできます。

NOTE

- リモートカメラコントローラーのバージョンについては、販売店にお問い合わせください。
- 詳しくは屋内回転台、プロトコルコンバーター、およびリモートカメラコントローラーの取扱説明書および付属のチラシを参照してください。

〈I/F〉 端子との接続



- 1 本機の 〈I/F〉 端子と屋内回転台 AW-PH400 の 〈CAMERA I/F〉 端子を接続する。
- 2 プロトコルコンバーター AW-IF400G の 〈PAN-TILT HEAD〉 端子と屋内回転台 AW-PH400 の 〈IP/FP〉 端子を接続する。
- 3 リモートカメラコントローラー AW-RP50/ AW-RP120G の 〈TO PAN/TILT HEAD〉 端子とプロトコルコンバーター AW-IF400G の 〈CONTROLLER〉 端子を接続する。
- 4 [MAIN MENU] → [IN/OUT SELECT] → [PROTOCOL] → [PROTOCOL] で [4] を選択する。
- 5 リモートカメラコントローラー AW-RP50/ AW-RP120G の接続設定で [Serial] を選択する。
- 6 リモートカメラコントローラー AW-RP50/ AW-RP120G で、本機を割り当てた 〈CAMERA STATUS/SELECTION〉 または 〈CAMERA SELECT/GROUP SELECT〉 ボタンを長押しする。
LCD パネルの上段にカメラ品番、下段に [POWER] が表示されます。
- 7 リモートカメラコントローラー AW-RP50/ AW-RP120G で、〈CAMERA STATUS/SELECTION〉 または 〈CAMERA SELECT/GROUP SELECT〉 ボタンを押したまま、〈F2〉ダイヤルを回して [ON] を選択し、〈F2〉ダイヤルを押す。
動作する機能は、次の Web サイトの AW-RP50/ AW-RP120G 対応機能一覧を参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>
ただし、UHD 切り出し機能は制御できません。

NOTE

- 本機と屋内回転台を接続するケーブルは、AW-CA15H29G (別売品) を使用してください。
- リモートカメラコントローラー AW-RP50/ AW-RP120G を使って本機のオートアイリスを動作させるには、次のいずれかの操作をしてください。

- 本機にリモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G を直接接続して、リモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G を使って IRIS 設定を AUTO にします。
- 本機にリモートオペレーションパネル AK-HRP200G/AK-HRP1000G/AK-HRP1005G を直接接続して、リモートオペレーションパネル AK-HRP200G/AK-HRP1000G/AK-HRP1005G を使って IRIS 設定を AUTO にします。
- 本機にパーソナルコンピューターを接続して UB300 Setting Tool を起動し、UB300 Setting Tool を使って IRIS 設定を AUTO にします。
- IRIS 設定を変更した後、プロトコルコンバーター AW-IF400G と屋内回転台 AW-PH400 を起動したときは、IRIS の動作を確立するためにリモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G の IRIS 設定を一度 AUTO にしてください。
- インテリジェント機能を使用するときは、リモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G で IRIS 設定を AUTO にしてください。
- プロトコルコンバーター AW-IF400G の後面にあるスイッチは次のように設定してください。
 - 〈SW1〉 スイッチ：〈OFF〉
 - 〈SW2〉 スイッチ：〈OFF〉
 - 〈SET UP〉 スイッチ
 - 〈1〉：〈ON〉
 - 〈2〉：〈OFF〉
 - 〈3〉：〈ON〉 (300°) または 〈OFF〉 (190°)
 - 〈4〉：〈OFF〉

第6章 Web画面

パーソナルコンピューターからの設定方法について説明します。

ネットワークの設定

ソフトウェアについて

簡単 IP 設定ソフトウェア (EasyIPSetup.exe) を次の Web サイトよりダウンロードし、インストールしてください。(Windows)
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

■ 簡単 IP 設定ソフトウェア (EasyIPSetup.exe)

本機のネットワーク設定をするソフトウェアです。(80 ページ)

■ 表示用プラグインソフトウェア

本機の IP 映像を Web ブラウザーで表示するために必要なプラグインソフトウェア (Network Camera View 4S) をインストールします。(81 ページ)

簡単 IP 設定ソフトウェアを使用して本機の設定をする

本機のネットワークに関する設定は、簡単 IP 設定ソフトウェアを使って行うことができます。

本機を複数台設定する場合は、カメラごとに設定する必要があります。

簡単 IP 設定ソフトウェアを使って設定できない場合は、[MAIN MENU] → [NETWORK SETUP] で個別に本機とパーソナルコンピュータの設定をします。

NOTE

- ・ ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器と IP アドレスが重複すると、正しく動作しません。IP アドレスが重複しないように設定してください。
- ・ 1 台のカメラに対して複数の簡単 IP 設定ソフトウェアから同時にネットワーク設定しないでください。
- ・ 簡単 IP 設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- ・ 旧バージョンの簡単 IP 設定ソフトウェア (Ver.4.25 以前) では、本機を表示したり設定したりすることはできません。

設定手順



図 1



図 2



図 3

- 1 簡単 IP 設定ソフトウェアを起動する。
- 2 [検索] ボタンをクリックする。(図 1)
- 3 設定するカメラの MAC アドレス / IPv4 アドレスをクリックし、[ネットワーク設定] ボタンをクリックする。(図 2)
 - ・ IP アドレスが重複している場合、該当するカメラの [IPv4 アドレス重複] 欄に、重複するカメラの番号が表示されます。
 - ・ [カメラ画面を開く] ボタンをクリックすると、選択したカメラの [Live] 画面が表示されます。
- 4 ネットワークの各項目を入力し、[保存] ボタンをクリックする。(図 3)
 - ・ 本機の接続モードは [固定 IP] のみ対応しています。DHCP などには対応していません。設定しないでください。

- [保存] ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約 2 分かかります。
設定が完了する前に AC アダプターや LAN ケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度、設定してください。

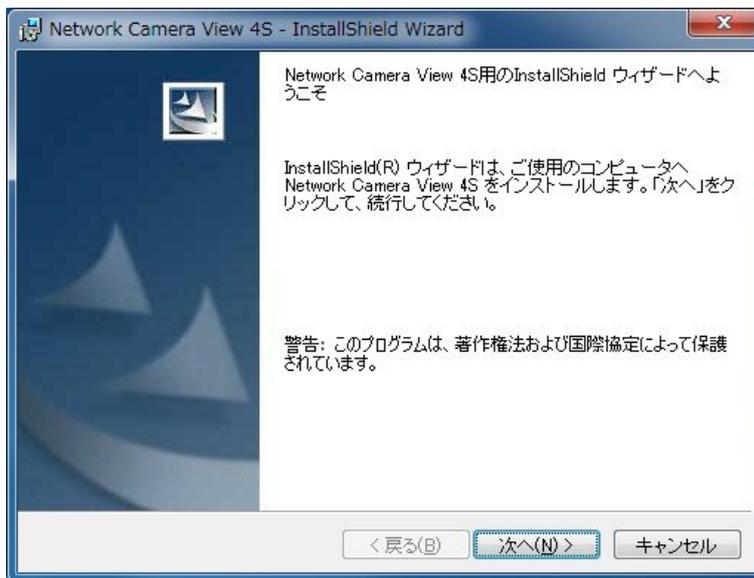
NOTE

- 本機は、IPv6 には対応していません。
- ファイアウォール (ソフトを含む) を導入している場合、UDP の全ポートに対してアクセスを許可してください。
- 本機は DNS には対応していません。

表示用プラグインソフトウェアをインストールする

本機の IP 映像を Web ブラウザーで表示するには、表示用プラグインソフトウェア Network Camera View 4S (ActiveX®) をインストールする必要があります。

表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールしてください。



- 工場出荷時は、[Automatic installation of viewer software] が [On] に設定されており、本機から直接インストールできます。
Web ブラウザーの情報バーにメッセージが表示される場合は「故障かな?と思ったら」(110 ページ) を参照してください。
- 最初にパーソナルコンピュータから [Live] 画面を表示すると、表示用プラグインソフトウェア (ActiveX®) のインストール画面が表示されます。
画面の指示に従ってインストールしてください。
- 表示用プラグインソフトウェア (ActiveX®) のインストールが完了しても、画面を切り替えるたびにインストール画面が表示される場合は、パーソナルコンピュータを再起動してください。
- 表示用プラグインソフトウェアをアンインストールするには、Windows で [コントロールパネル] - [プログラム] - [プログラムのアンインストール] を選択し、Network Camera View 4S を削除してください。
- 表示用プラグインソフトウェアは、パーソナルコンピュータごとにライセンスが必要です。
表示用プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、[Maintenance] 画面で確認できます。(99 ページ)
ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

Web 画面の表示

本機とパーソナルコンピューターをつないで、Web ブラウザーからカメラの IP 映像を見たり、各種の設定をしたりすることができます。本機の IP 制御用 LAN 端子とパーソナルコンピューターを直接接続する場合は LAN クロスケーブルを使用します。スイッチングハブなどを介して接続する場合は LAN ストレートケーブルを使用します。

Web 画面に関するお知らせ

IP アドレスとサブネットマスクについて

パーソナルコンピューターの IP アドレスは、プライベートアドレスの範囲内で本機と違うアドレスを設定し、サブネットマスクは本機と同じアドレスに設定します。

本機の IP アドレスとサブネットマスク (工場出荷値)

- IP アドレス : 192.168.0.40
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- プライベートアドレスの範囲 : 192.168.0.0 ~ 192.168.0.255 (IP アドレス、サブネットマスクが上記の工場出荷値の場合)

Web 画面の表示に必要なパーソナルコンピューター的环境

Web 画面の表示に必要なパーソナルコンピューター的环境については、「必要なパーソナルコンピューター的环境」(10 ページ) をご参照ください。[Setup]画面における一部の機能は、Windows 搭載パーソナルコンピューターからのみ利用できます。OS X 搭載のパーソナルコンピューター (Mac) からは利用できません。

Windows のみ利用できる機能には、(Windows) を付けて記載しています。

Windows 搭載パーソナルコンピューターで本機の IP 映像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア Network Camera View 4S がインストールされている必要があります。OS X 搭載のパーソナルコンピューター (Mac) には必要ありません。(81 ページ)

パーソナルコンピューターによる Web 画面の表示

本書では、Windows (Internet Explorer) の画面をもとに説明しています。Mac (Safari) の場合も同様の手順となります。画面上の表示は、一部異なります。



図 1



図 2

1 パーソナルコンピューターの Web ブラウザーを起動する。

パーソナルコンピューターに搭載されている OS に応じて、それぞれ次の Web ブラウザーを使用してください。

- Windows : Internet Explorer
- OS X (Mac) : Safari

2 簡単 IP 設定ソフトウェアで設定した IP アドレスを、Web ブラウザーのアドレスボックスに入力する。(図 1)

- 入力例 : http://192.168.0.40
- HTTP ポート番号が「80」から変更されている場合は、「http:// カメラの IP アドレス : ポート番号」をアドレスボックスに入力してください。
例 : http://192.168.0.40:8080 (ポート番号が 8080 に設定されている場合)
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、Web ブラウザー (メニューバーの [ツール] - [インターネットオプション]) からプロキシサーバーの設定をしてください。

3 [Enter] キーを押す。

Web 画面が表示されます。(図 2)

初期画面は、[Live] 画面が表示されます。必要に応じて [Setup] 画面に切り替えてください。(83 ページ)

NOTE

- 表示用プラグインソフトウェアがインストールされていないパーソナルコンピューターでは、[Live] 画面が表示される前に、インストール確認メッセージが表示されます。
その場合は、画面に従ってインストールしてください。(Windows) (81 ページ)
- [User auth.] (96 ページ) を [On] に設定した場合、[Live] 画面が表示される前に、ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。
初期設定のユーザー名とパスワードは次のとおりです。
ユーザー名 : admin
パスワード : 12345
- ユーザー名とパスワードを初期設定のまま使用している間は、認証後にユーザー名、パスワードの変更を促すメッセージが表示されます。
セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

- 1 台のパーソナルコンピューターで複数の H.264 映像を表示しようとすると、パーソナルコンピューターの性能によっては、IP 映像が表示されないことがあります。(Windows)
- 画面上で下線表示されている項目をクリックすると、別ウィンドウが開き入力例が表示されます。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264 画像を受信しているユーザーと JPEG 画像を受信しているユーザーとを合計した最大 14 人までです。

ただし、[Bandwidth control (bitrate)]、[Max bit rate (per client)] の設定によっては、アクセスできるユーザー数が 14 人未満に制限されることがあります。

アクセスできる最大ユーザー数 14 人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。

[H.264] の [Transmission type] を [Multicast port] に設定したとき、H.264 画像を受信している 2 人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。

- [H.264 transmission] (92 ページ) を [On] に設定すると、H.264 画像が表示されます。[Off] に設定すると、JPEG 画像が表示されます。[H.264 transmission] を [On] に設定した場合でも、JPEG 画像が表示できます。しかし、この場合、JPEG 画像の画像更新速度は最大 5 fps に制限されます。(Windows)
- JPEG 画像の画像更新速度はネットワークの環境、パーソナルコンピューターの性能、被写体、アクセス数により遅くなる場合があります。
JPEG 画像更新速度
[H.264 transmission] が [On] の場合：最大 5 fps
[H.264 transmission] が [Off] の場合：最大 30 fps

[Live] 画面 / [Setup] 画面の切り替え

[Live] 画面を表示しているときに、[Setup] ボタンをクリックします。

[Setup] 画面について詳しくは、「[Setup] 画面」(89 ページ) を参照してください。



[Setup] 画面を表示しているときに、[Live] ボタンをクリックします。

[Live] 画面について詳しくは、「[Live] 画面 (シングル表示モード)」(84 ページ) を参照してください。

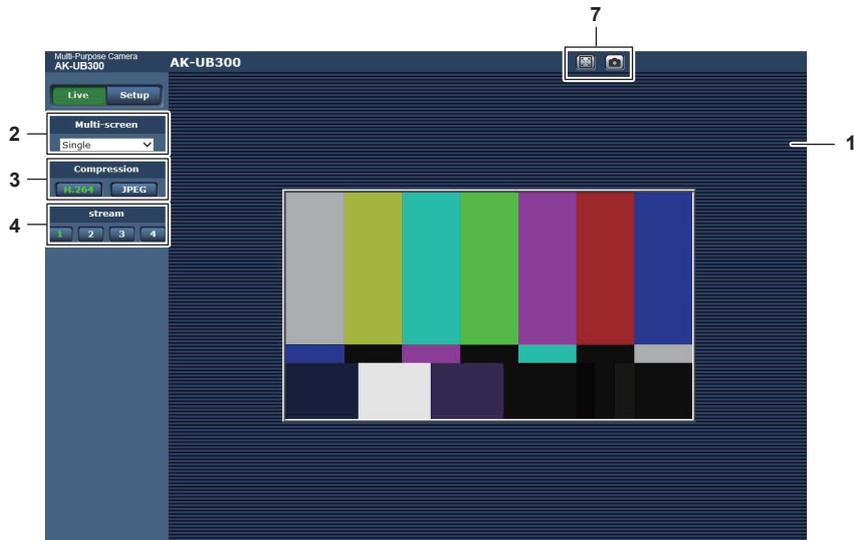


[Live] 画面 (シングル表示モード)

パーソナルコンピュータにカメラ画像を表示します。

[Compression] ボタンで、[H.264] を選択しているときと [JPEG] を選択しているときでは、表示される項目が一部異なります。

■ H.264



■ JPEG



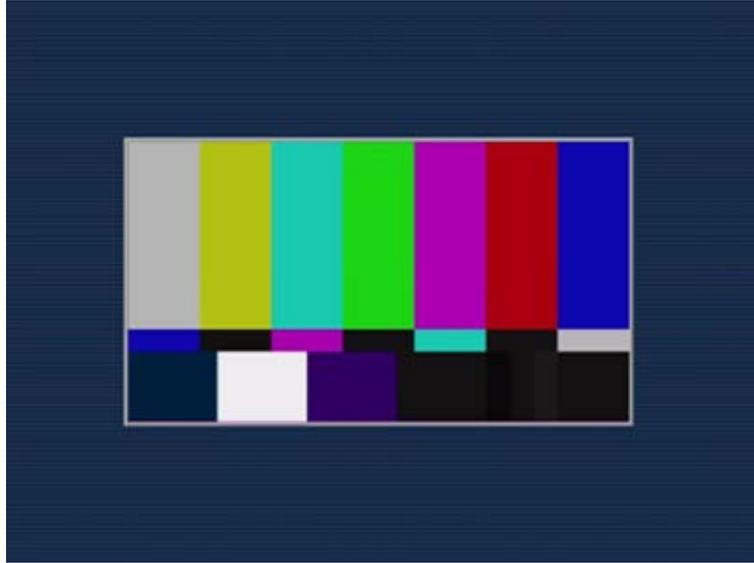
- 1 メインエリア (IP 映像表示エリア) (85 ページ)
- 2 [Multi-screen] ボタン (85 ページ)
- 3 [Compression] ボタン (86 ページ)
- 4 [Stream] ボタン (86 ページ)
- 5 [Image quality] ボタン (86 ページ)
- 6 [Image capture size] ボタン (87 ページ)
- 7 全画面表示ボタン / スナップショットボタン (Windows) (87 ページ)

各部の名前とはたらき ([Live] 画面)

メインエリア (IP 映像表示エリア)

接続中のカメラの IP 映像が表示されます。

エリア内でマウスホイールを操作すると、表示用プラグインソフトウェアによるデジタルズームができます。(Windows)



- お使いのパーソナルコンピュータによっては、撮影シーンが大きく変わる際に、搭載 OS の描画処理 (GDI) の制約により、ティアリング (画面の一部がずれて表示される現象) が発生することがあります。
- Windows 搭載のパーソナルコンピュータでは、[H.264 transmission] を [On] に設定すると、H.264 映像または JPEG 画像が表示できます。[Off] に設定すると、JPEG 画像のみ表示できます。
また、OS X 搭載のパーソナルコンピュータ (Mac) では、[H.264 transmission] の設定にかかわらず、JPEG 画像のみ表示できます。H.264 映像は表示できません。(92 ページ)
- [H.264 transmission] を [On] に設定した場合、H.264 映像が配信中かどうかにかかわらず、JPEG 画像の画像更新速度は低下することがあります。
- JPEG 画像の画像更新速度は、ネットワークの環境、お使いのパーソナルコンピュータの性能、被写体、アクセス数により遅くなる場合があります。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264 画像を受信しているユーザーと JPEG 画像を受信しているユーザーとを合計した最大 14 人までです。
ただし、[Bandwidth control (bitrate)]、[Max bit rate (per client)] の設定によっては、アクセスできるユーザー数が 14 人未満に制限されることがあります。
- アクセスできる最大ユーザー数が上限を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。(Windows)
- 本機にタリー信号 (R タリー) が入力された場合、メインエリア (IP 映像表示エリア) のエリア枠は赤になります。ただし、赤枠になるのはシングル表示モードのときのみです。マルチ表示モードのときは赤枠にはなりません。

[Multi-screen] ボタン

[Live] 画面の表示方法を選択します。



- 1 [Single]
接続したカメラの IP 映像を表示します
- 2 [4Split 1/4 Group]、[4Split 2/4 Group]、[4Split 3/4 Group]、[4Split 4/4 Group]、[16Split]
あらかじめマルチスクリーン設定画面 [Multi-screen setup] でマルチスクリーン表示するカメラを設定しておく、1 画面で複数の IP 映像を見ることができます。(マルチ表示モード)

[Compression] ボタン

H.264 画像表示と JPEG 画像表示を切り替えます。
 選択したボタンの文字が緑色に変わります。

**1 [H.264]**

H.264 画像が表示されます。(Windows)

IP 映像設定で [H.264(1)] ~ [H.264(4)] の [H.264 transmission] を [On] に設定すると、[H.264] ボタンが有効になります。(92 ページ)

2 [JPEG]

JPEG 画像が表示されます。

次のような場合、[Compression] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ: [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。(Windows)

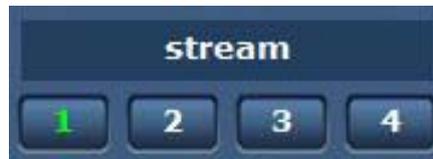
- いったん、別の画面に移動した場合
- 画面を再更新した場合

[Stream] ボタン

このボタンは、H.264 画像が表示されているときのみ表示されます。(Windows)

[H.264(1)] / [H.264(2)] / [H.264(3)] / [H.264(4)] で設定した内容に従って表示されます。

選択したボタンの文字が緑色に変わります。

**1 [1]**

メインエリアの画像が、[H.264(1)] で設定した内容に従って表示されます。(92 ページ)

2 [2]

メインエリアの画像が、[H.264(2)] で設定した内容に従って表示されます。(92 ページ)

3 [3]

メインエリアの画像が、[H.264(3)] で設定した内容に従って表示されます。(92 ページ)

4 [4]

メインエリアの画像が、[H.264(4)] で設定した内容に従って表示されます。(92 ページ)

次のような場合、[Stream] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ: [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。(Windows)

- いったん、別の画面に移動した場合
- 画面を再更新した場合

選択した H.264 画像の解像度設定が [1920×1080] または [1280×720] の場合、Web ブラウザー画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小されることがあります。

[Image quality] ボタン

このボタンは、JPEG 画像が表示されているときのみ表示されます。

[Image quality(JPEG)] で設定した内容に従って表示されます。

選択したボタンの文字が緑色に変わります。

**1 [1]**

[Image quality(JPEG)] の [Quality1] で設定した内容に従って表示されます。(91 ページ)

2 [2]

[Image quality(JPEG)] の [Quality2] で設定した内容に従って表示されます。(91 ページ)

次のような場合、[Image quality] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ: [Initial display settings for "Live" page] の [Image quality(JPEG)] での設定に戻ります。

- いったん、別の画面に移動した場合
- 画面を再更新した場合

[Image capture size] ボタン

このボタンは、JPEG 画像が表示されているときのみ表示されます。
 メインエリアに表示される画像のサイズを切り替えます。
 選択したボタンの文字が緑色に変わります。



- 1 **[1920×1080]**
 メインエリアの画像が 1920×1080 サイズで表示されます。
- 2 **[1280×720]**
 メインエリアの画像が 1280×720 サイズで表示されます。
- 3 **[640×360]**
 メインエリアの画像が 640×360 サイズで表示されます。
- 4 **[320×180]**
 メインエリアの画像が 320×180 サイズで表示されます。
- 5 **[160×90]**
 メインエリアの画像が 160×90 サイズで表示されます。
 [Video over IP] タブ - [JPEG] の [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)] で選択している解像度で表示されます。
 解像度が [1920×1080] または [1280×720] の場合、Web ブラウザーの画面の大きさによって、実際のサイズよりも縮小されることがあります。
 次のような場合、[Image capture size] ボタンの選択状態は、[Video over IP] タブ: [Initial display settings for "Live" page] の [Stream] での設定に戻ります。
 - いったん、別の画面に移動した場合
 - 画面を再更新した場合

全画面表示ボタン / スナップショットボタン

画像を全画面で表示します。(全画面表示ボタン)
 スナップショットを取得します。(スナップショットボタン)



- 1 **全画面表示ボタン (左)**
 画像が全画面で表示されます。
 メインエリアの画像が縮小表示されている場合は、1 回押すと、メインエリアで解像度ごとの画像が表示されます。
 解像度どおりに表示されている場合は、全画面で表示されます。
 [Live] 画面に戻るには、全画面で表示されているときにパーソナルコンピュータのキーボードの Esc キーを押します。
 または、全画面で表示されているときに、マウスを右クリックし [Back] をクリックします。
- 2 **スナップショットボタン (右)**
 スナップショット (静止画 1 枚) を取得し、その画像が別ウィンドウで表示されます。
 右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、[Save] を選択すると、パーソナルコンピュータに画像を保存できます。
 また、[Print] を選択すると、プリンターに出力できます。

NOTE

- 次の設定が必要になることがあります。
 Internet Explorer のメニューバーの [ツール] - [インターネットオプション] - [セキュリティ] タブにある [信頼済みサイト] を選択し、[サイト] をクリックします。表示される信頼済みウィンドウの「Web サイト」にカメラのアドレスを登録してください。
- ネットワーク環境などにより、スナップショットの取得に一定の時間以上かかる場合には、画像が表示されないことがあります。

[Live] 画面 (マルチ表示モード)

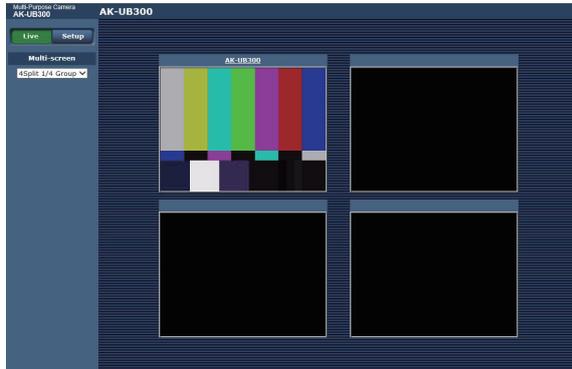
複数台のカメラ画像を 1 つの画面 (マルチスクリーン) で確認します。

一度に 4 台あるいは 16 台までのカメラの画像を確認できます。

各画像のカメラタイトルをクリックすると、対応するカメラの [Live] 画面のシングル表示モードが別ウィンドウで表示されます。

マルチスクリーンを使用するには、あらかじめマルチスクリーンで表示させるようにカメラを設定する必要があります。

4 台を 1 グループとして、最大 4 グループ (合計 16 台) まで登録できます。



4 台



16 台

[Multi-screen] ボタン

[Live] 画面の表示方法を選択します。



1 [Single]

接続したカメラの IP 映像を表示します

2 [4Split 1/4 Group]、[4Split 2/4 Group]、[4Split 3/4 Group]、[4Split 4/4 Group]、[16Split]

あらかじめマルチスクリーン設定画面 [Multi-screen setup] でマルチスクリーン表示するカメラを設定しておく、1 画面で複数の IP 映像を見ることができます。(マルチ表示モード)

NOTE

- マルチスクリーンで表示される IP 映像は JPEG のみです。
- マルチスクリーンでは、アスペクト比が 4:3 の表示枠に合わせて、縦に引き伸ばした画像になります。
- 次の場合は、[Live] 画面からマルチスクリーンに移動することはできません。
 - IP 映像の表示中に本機の電源を切った場合
 - ネットワークケーブルを抜いた場合
- マルチスクリーンでは、本機にタリー信号 (R タリー) が入力されても IP 映像表示枠は赤枠になりません。

[Setup] 画面

本機に対して各種設定を行います。

設定メニューは、[Access level] の設定が [1. Administrator] のユーザーのみ操作できます。(96 ページ)

[Setup] 画面へのログイン



図 1

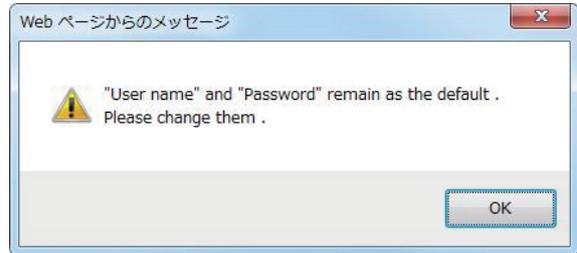


図 2

1 [Setup] ボタンをクリックする。

ログイン画面が表示されます。(図 1)

2 ユーザー名とパスワードを入力する。

工場出荷値のユーザー名とパスワードは次のとおりです。

ユーザー名：admin

パスワード：12345

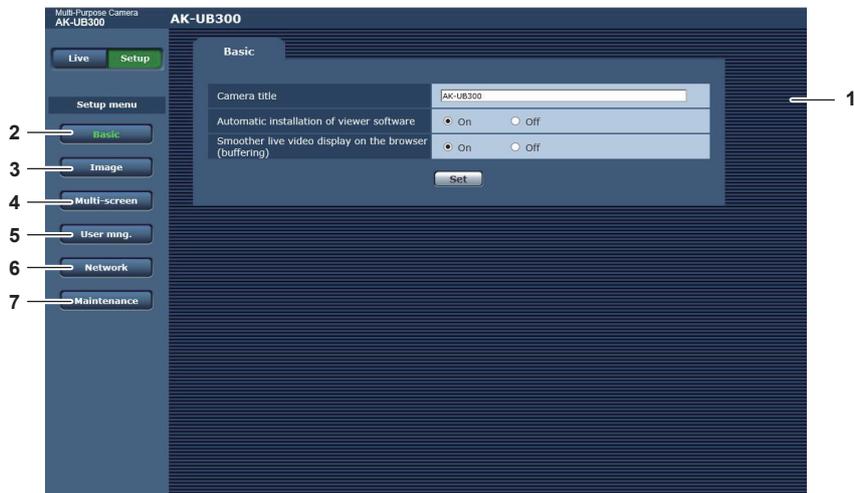
3 [OK] ボタンをクリックする。

メッセージ画面が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックする。

ユーザー名とパスワードを初期設定のまま使用している間は、認証後にユーザー名、パスワードの変更を促すメッセージが表示されます。(図 2) セキュリティーを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。また、パスワードは定期的に変更することをお勧めします。

各部の名前とはたらき ([Setup] 画面)



1 メインエリア

メニュー画面が表示されます。

2 [Basic] ボタン

ボタンをクリックすると、[Basic] 画面がメインエリアに表示されます。(90 ページ)

3 [Image] ボタン

ボタンをクリックすると、[Image] 画面がメインエリアに表示されます。(90 ページ)

4 [Multi-screen] ボタン

ボタンをクリックすると、[Multi-screen] 画面がメインエリアに表示されます。(95 ページ)

5 [User mng.] ボタン

ボタンをクリックすると、[User mng.] 画面がメインエリアに表示されます。(96 ページ)

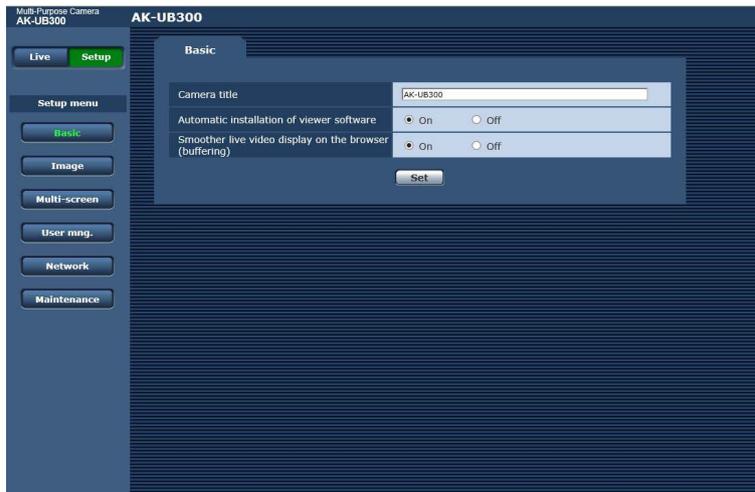
6 [Network] ボタン

ボタンをクリックすると、[Network] 画面がメインエリアに表示されます。(97 ページ)

7 [Maintenance] ボタン

ボタンをクリックすると、[Maintenance] 画面がメインエリアに表示されます。(99 ページ)

[Basic] 画面



項目	設定内容
[Camera title]	<p>本機の名称を入力します。 [Set] ボタンをクリックすると、入力した名称がカメラタイトル表示部に表示されます。 工場出荷値は本機の製品品番です。 半角 0 ~ 20 文字を入力できます。 使用できる文字</p> <ul style="list-style-type: none"> • 半角数字： 0123456789 • 半角英字 (大文字 / 小文字)： ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz • 半角記号： !#\$%()*+,-./:;<=>?@[^_`{ }~\
[Automatic installation of viewer software]	<p>表示用プラグインソフトウェアの自動インストールについて設定します。 [On]：表示用プラグインソフトウェアを自動インストールします。 [Off]：表示用プラグインソフトウェアを自動インストールしません。 • 工場出荷値：[On]</p>
[Smoother live video display on the browser (buffering)]	<p>表示用プラグインソフトウェアで、本機の画像を表示する際の設定をします。 [On]：本機の画像を一時的にパーソナルコンピュータに蓄積し、より滑らかに表示します。 [Off]：本機の画像をパーソナルコンピュータに蓄積せず、リアルタイムに表示します。 表示用プラグインソフトウェア Network Camera View 4S がインストールされていないパーソナルコンピュータでは、画像の表示や音声の視聴ができません。 プラグインソフトウェアのインストール回数は、[Setup] 画面の [Maintenance] メニューの [Product info.] タブで確認できます。 • 工場出荷値：[On]</p>

[Image] 画面

JPEG 画像、H.264 画像の設定や、画質に関する設定をします。

■ [Initial display settings for "Live" page]

[Live] 画面に表示する初期設定を行います。



第 6 章 Web 画面 — [Setup] 画面

項目	設定内容
[Stream]	<p>[Live] 画面に表示する画像を選択します。</p> <p>[H.264(1)] : 動画 (H.264 (1)) を表示します。 [H.264(2)] : 動画 (H.264 (2)) を表示します。 [H.264(3)] : 動画 (H.264 (3)) を表示します。 [H.264(4)] : 動画 (H.264 (4)) を表示します。 [JPEG(1)] : 静止画 (JPEG (1)) を表示します。 [JPEG(2)] : 静止画 (JPEG (2)) を表示します。 [JPEG(3)] : 静止画 (JPEG (3)) を表示します。</p> <p>• 工場出荷値 : [H.264(1)]</p>
[Refresh interval (JPEG)]	<p>JPEG 画像を更新する速度を設定します。</p> <p>59.94 Hz のとき [1fps]、[2fps]、[3fps]、[5fps]、[6fps] *、[10fps] *、[15fps] *、[30fps] *</p> <p>• 工場出荷値 : [5fps]</p> <p>50 Hz のとき [1fps]、[2fps]、[5fps]、[10fps] *、[12.5fps] *、[25fps] *</p> <p>• 工場出荷値 : [5fps]</p> <p>ネットワークの環境や解像度、画質、同時アクセス数などによっては、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。 設定した画像更新速度で配信されない場合は、解像度や画質を下げることで設定した値に近づけることができます。</p> <p>* [H.264 transmission] を [On] に設定している場合は、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。</p>
[Image quality(JPEG)]	<p>[Live] 画面で JPEG 画像を表示する際、最初に表示する画像の画質を設定します。</p> <p>[Quality1] : 画質 1 [Quality2] : 画質 2</p> <p>• 工場出荷値 : [Quality1]</p>

■ JPEG

[JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)] の [Image capture size]、[Image quality] を設定します。

JPEG		
JPEG(1)	Image capture size	1920x1080
	Image quality	Quality 1 5 Normal Quality 2 8
JPEG(2)	Image capture size	640x360
	Image quality	Quality 1 5 Normal Quality 2 8
JPEG(3)	Image capture size	320x180
	Image quality	Quality 1 5 Normal Quality 2 8

Set

NOTE

- [JPEG(1)]、[JPEG(2)]、[JPEG(3)] でそれぞれ異なる解像度を選択する必要があります。同じ解像度を別の JPEG 画像で選択することはできません。

項目	設定内容
[Image capture size]	<p>JPEG 画像を表示する際、表示する画像の解像度を設定します。</p> <p>[1920×1080]、[1280×720]、[640×360]、[320×180]、[160×90]</p> <p>• 工場出荷値 : [1920×1080] ([JPEG(1)])、[640×360] ([JPEG(2)])、[320×180] ([JPEG(3)])</p>
[Image quality]	<p>それぞれの解像度における JPEG 画像の画質を 2 種類設定します。</p> <p>[0 Super fine]、[1 Fine]、[2]、[3]、[4]、[5 Normal]、[6]、[7]、[8]、[9 Low]</p> <p>• 工場出荷値 : [5 Normal] ([Quality1])、[8] ([Quality2])</p>

■ H.264

H.264 画像の [Max bit rate (per client)]、[Image capture size]、[Image quality] などを設定します。(Windows) 画面は [H.264(1)] の例です。

項目	設定内容
[H.264 transmission]	H.264 画像を配信するかどうかを設定します。 [On] : H.264 画像を配信します。 [Off] : H.264 画像を配信しません。 [H.26 transmission] を [On] に設定した場合は、[Live] 画面で H.264 画像と JPEG 画像の両方を表示できます。 [H.26 transmission] を [On] に設定した場合は、JPEG 画像の画像更新速度が低下することがあります。 ● 工場出荷値 : [On]
[Internet mode (over HTTP)]	H.264 画像をインターネット経由で配信するかどうかを設定します。 ブロードバンドルーターの設定を JPEG 画像配信時と同じ設定のまま H.264 画像を配信できます。 [On] : HTTP ポートを使用して H.264 画像を配信します。HTTP ポート番号の設定については [HTTP port] (98 ページ) を参照してください。 [Off] : UDP ポートを使用して H.264 画像を配信します。 [On] に設定すると、配信方式は [Unicast port (AUTO)] に制限されます。 [On] に設定すると、H.264 画像が表示されるまでに数秒かかります。 [On] に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、H.264 画像が表示されないことがあります。 ● 工場出荷値 : [Off]
[Image capture size]	H.264 画像の解像度を設定します。 選択している解像度によって、選択が制限されます。 [H.264(1)] のとき [1920×1080]、[1280×720] ● 工場出荷値 : [1920×1080] [H.264(2)] のとき [1920×1080]、[1280×720]、[640×360]、[320×180]、[160×90] ● 工場出荷値 : [640×360] [H.264(3)] のとき [1280×720]、[640×360]、[320×180]、[160×90] ● 工場出荷値 : [320×180] [H.264(4)] のとき [1280×720]、[640×360]、[320×180]、[160×90] ● 工場出荷値 : [160×90]
[Transmission priority]	H.264 画像の配信モードを設定します。 [Constant bit rate] : H.264 画像を [Max bit rate (per client)] で設定したビットレートで配信します。 [Frame rate] : H.264 画像を [Frame rate] で設定したフレームレートで配信します。 [Best effort] : ネットワークの帯域に応じて、H.264 画像を [Max bit rate (per client)] で設定した最大、最小ビットレートの間でビットレートを可変して配信します。 [Advanced VBR] : H.264 画像を [Frame rate] で設定したフレームレートで配信します。このとき、[Control time period] で設定した期間での配信量の平均が、[Max bit rate (per client)] で設定したビットレートになるように配信します。 [Transmission priority] を [Frame rate] または [Advanced VBR] に設定すると、接続できるユーザー数が少なくなることがあります。 ● 工場出荷値 : [Frame rate]
[Burst tolerance level]	H.264 ビットレートが、[Max bit rate (per client)] をどれだけ超えることを許容するかを設定します。 [High]、[Middle]、[Low] [Transmission priority] で [Advanced VBR] を選択しているときのみ設定できます。 ● 工場出荷値 : [Low]

第 6 章 Web 画面 — [Setup] 画面

項目	設定内容
[Control time period]	<p>H.264 ビットレートを制御する期間を設定します。 選択した期間での配信量の平均が [Max bit rate (per client)] で設定したビットレートになるように配信します。 [1h] : 1 時間 [6h] : 6 時間 [24h] : 1 日 (24 時間) [1week] : 1 週間 [Transmission priority] で [Advanced VBR] を選択しているときのみ設定できます。 ●工場出荷値 : [24h]</p>
[Frame rate]	<p>H.264 画像のフレームレートを設定します。 59.94 Hz のとき [5fps]、[15fps]、[30fps]、[60fps] ●工場出荷値 : [30fps] 50 Hz のとき [5fps]、[12.5fps]、[25fps]、[50fps] ●工場出荷値 : [25fps] [Frame rate] は、[Max bit rate (per client)] によって制限されます。設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。 [Transmission priority] で [Frame rate] または [Advanced VBR] を選択したときのみ設定できます。 [H.264(1)] は、[60fps] (59.94 Hz) または [50fps] (50 Hz) の固定値になります。 [H.264(2)] ~ [H.264(4)] は、[60fps] (59.94 Hz) または [50fps] (50 Hz) が選択できません。</p>
[Max bit rate (per client)]	<p>1 クライアントに対する H.264 ビットレートを設定します。 [Transmission priority] で [Best effort] を選択している場合は、最大 ([Max])、最小 ([Min]) を設定します。 [64kbps]、[128kbps]、[256kbps]、[384kbps]、[512kbps]、[768kbps]、[1024kbps]、 [1536kbps]、[2048kbps]、[3072kbps]、[4096kbps]、[6144kbps]、[8192kbps]、 [10240kbps]、[12288kbps]、[14336kbps]、[16384kbps]、[20480kbps]、[24576kbps] H.264 ビットレートは、[Network] 画面の [Network] タブにある [Bandwidth control (bitrate)] により制限されます。 [64kbps] 以外のビットレートでは、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。 ([Bandwidth control (bitrate)]) H.264 ビットレートは、「解像度」によって設定できる範囲が異なります。 [160x90] の場合 : [64kbps] ~ [2048kbps] [320x180]、[640x360] の場合 : [64kbps] ~ [4096kbps] [1280x720] の場合 : [256kbps] ~ [8192kbps] [1920x1080] の場合 : [512kbps] ~ [14336kbps] [1920x1080] (60 fps)、[1280x720] (60 fps) の場合 : [1024kbps] ~ [24576kbps] ●工場出荷値 : [4096kbps] ([H.264(1)])、[1536kbps] ([H.264(2)])、[1024kbps] ([H.264(3)])、[512kbps] ([H.264(4)])</p>
[Image quality]	<p>H.264 画像の画質を設定します。 [Transmission priority] で [Constant bit rate] または [Best effort] を選択しているときのみ設定できます。 [Low (Motion priority)]、[Normal]、[Fine (Image quality priority)] ●工場出荷値 : [Normal]</p>
[Refresh interval]	<p>H.264 画像をリフレッシュする間隔 (1 フレーム間隔 : 0.2 ~ 5 秒) を設定します。 ネットワーク環境でエラーが多い場合は、リフレッシュ間隔を短く設定すると画像の乱れが少なくなります。ただし、画像の更新速度が低下することがあります。 59.94 Hz のとき [0.2s]、[0.25s]、[0.33s]、[0.5s]、[1s]、[2s]、[3s]、[4s]、[5s] ●工場出荷値 : [1s] 50 Hz のとき [0.2s]、[0.5s]、[1s]、[2s]、[3s]、[4s]、[5s] ●工場出荷値 : [1s]</p>

第 6 章 Web 画面 — [Setup] 画面

項目	設定内容
[Transmission type]	<p>H.264 画像の配信方式を設定します。</p> <p>[Unicast port (AUTO)] : 1 台のカメラに最大 14 人まで同時にアクセスできます。カメラから画像を送信する場合、[Unicast port 1 (Image)] が自動的に設定されます。ネットワーク内で使用する場合など、H.264 画像を配信するポート番号を固定する必要のない場合は、[Unicast port (AUTO)] に設定することをお勧めします。</p> <p>[Unicast port (MANUAL)] : 1 台のカメラに最大 14 人まで同時にアクセスできます。カメラから画像を送信する場合、[Unicast port 1 (Image)] を手動で設定する必要があります。インターネット経由で H.264 画像を配信する場合、ブロードバンドルーター（以下、ルーター）に設定する通信許可ポート番号を固定して使用してください。（[HTTP port]（98 ページ））詳しくは使用するルーターの取扱説明書をお読みください。</p> <p>[Multicast port] : 1 台のカメラに人数の制限なしに同時にアクセスできます。マルチキャストで H.264 画像を送信する場合は、[Multicast address]、[Multicast port]、[Multicast TTL/HOP Limit] を入力します。</p> <p>マルチキャストで H.264 画像を配信するときは、マルチキャスト対応ルーターなどを使って配信先を指定してください。そのとき、ほかの接続機器（AW-RP50/AW-RP120G など）に H.264 画像を配信しないように設定してください。AW-RP50/AW-RP120G に対して H.264 画像を配信すると、カメラと IP 通信ができなくなることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [Unicast port (AUTO)] <p>最大同時アクセス数について</p> <p>本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264 画像を受信しているユーザーと JPEG 画像を受信しているユーザーとを合計した最大 14 人までです。</p> <p>ただし、[Bandwidth control (bitrate)]、[Max bit rate (per client)] の設定によっては、アクセスできるユーザー数が 14 人未満に制限されることがあります。</p> <p>アクセスできる最大ユーザー数 14 人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。</p> <p>[H.264] の [Transmission type] を [Multicast port] に設定したとき、H.264 画像を受信している 2 人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。</p>
[Unicast port 1 (Image)]	<p>ユニキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を設定します。</p> <p>[Transmission type] が [Unicast port (MANUAL)] に設定されている場合に、設定が必要です。</p> <p>[1024] … [50000]</p> <p>偶数のみ設定できます。</p> <p>10670 はポート番号に設定できません。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [32004] ([H.264(1)]), [32014] ([H.264(2)]), [32024] ([H.264(3)]), [32034] ([H.264(4)])
[Multicast address]	<p>マルチキャストの IP アドレスを設定します。</p> <p>指定した IP アドレスに画像を送信します。</p> <p>[Transmission type] が [Multicast port] に設定されている場合に、設定が必要です。</p> <p>使用できるマルチキャスト IP アドレスをご確認のうえ設定してください。</p> <p>[224.0.0.0] … [239.255.255.255]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [239.192.0.20] ([H.264(1)]), [239.192.0.21] ([H.264(2)]), [239.192.0.22] ([H.264(3)]), [239.192.0.23] ([H.264(4)])
[Multicast port]	<p>マルチキャストポート番号（本機から画像を送信するときに使用）を入力します。</p> <p>[Transmission type] が [Multicast port] に設定されている場合に、設定が必要です。</p> <p>偶数のみ設定できます。</p> <p>10670 はポート番号に設定できません。</p> <p>[1024] … [50000]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [37004]
[Multicast TTL/HOP Limit]	<p>マルチキャストの TTL/HOP Limit 値を入力します。</p> <p>[Transmission type] が [Multicast port] に設定されている場合に、設定が必要です。</p> <p>[1] … [254]</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値 : [16] <p>インターネット経由で H.264 画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。</p> <p>複数の LAN カードが入っているパーソナルコンピューターを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しない LAN カードを無効にしてください。</p>

[Multi-screen setup] 画面

[Multi-screen setup] 画面では、マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。

項目	設定内容
[IP address]	<p>マルチスクリーンで表示するカメラの IP アドレスを入力します。4 台を 1 グループとして、最大 4 グループ（16 台）まで登録できます。</p> <p>表示したいカメラの HTTP ポート番号を変更しているときは、次のように入力してください。 (例) 192.168.0.40:8080</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値：[selfcamera]（[Cam1]）、登録なし（[Cam2]～[Cam16]） <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> IP アドレスに [selfcamera] と表示されているカメラは、本機で [IP address] が設定されています。
[Camera title]	<p>カメラのタイトルを入力します。入力したカメラのタイトルがマルチスクリーン画面に表示されます。半角 0～20 文字を入力できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> 工場出荷値：品番表示（[Cam1]）、空欄（[Cam2]～[Cam16]） <p>使用できる文字</p> <ul style="list-style-type: none"> 半角数字： 0123456789 半角英字（大文字 / 小文字）： ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ abcdefghijklmnopqrstuvwxyz 半角記号： !#\$%()*+,-./:;<=>?@[^_`{ }~\ <p>NOTE</p> <ul style="list-style-type: none"> 16 画面のマルチスクリーンを選択したときは、カメラタイトルが途中までしか表示されないことがあります。 マルチスクリーンの表示は 4:3 になります。

[User mng.] 画面

[User mng.] 画面では、パーソナルコンピューターから本機にアクセスできるユーザーやパーソナルコンピューター（IP アドレス）を制限する認証登録を行います。

[User mng.] 画面は、[User auth.] タブ、[Host auth.] タブで構成されています。

[User auth.] タブ

パーソナルコンピューターから本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。
最大 24 ユーザーまで登録できます。

NOTE

- 同じ IP アドレスのパーソナルコンピューターから、30 秒間に 8 回以上ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

The screenshot shows the 'User auth.' tab with the following fields and options:

- User auth.:** Radio buttons for 'On' and 'Off'.
- Authentication:** A dropdown menu set to 'Digest or Basic'.
- User name:** A text input field.
- Password:** A text input field.
- Retype password:** A text input field.
- Access level:** Radio buttons for '1. Administrator' and '2. Live only'.
- User check:** A dropdown menu showing 'admin [1]' and a 'Delete' button.

項目	設定内容
[User auth.]	ユーザー認証するかどうかを設定します。 [On] ：ユーザー認証します。 [Off] ：ユーザー認証しません。 • 工場出荷値：[Off]
[Authentication]	ユーザー認証で利用する認証方式を設定します。 [Digest or Basic] ：ダイジェスト認証またはベーシック認証を使用します。 [Digest] ：ダイジェスト認証を使用します。 [Basic] ：ベーシック認証を使用します。 [Authentication] の設定を変更したときは、次の操作が必要です。 • Web ブラウザーは一度閉じてもう一度接続してください。 • リモートカメラコントローラー AW-RP50/AW-RP120G およびリモートオペレーションパネル AK-HRP200G/AK-HRP1000/AK-HRP1005G を IP 接続しているときは、一度接続を解除して、もう一度接続してください。 [Authentication] で [Digest] を選択した状態で [User auth.] を [On] にすると、UB300 Setting Tool はカメラと接続できなくなります。 • 工場出荷値：[Digest or Basic]
[User name]	ユーザー名を入力します。 入力できる文字数：1～32 文字 入力不可な文字：全角、半角記号 " & ; : \\ 登録済みのユーザー名を入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。
[Password] [Retype password]	パスワードを入力します。 入力できる文字数：4～32 文字 入力不可な文字：全角、半角記号 " &
[Access level]	ユーザーのアクセスレベルを設定します。 [1. Administrator] ：本機の全ての操作ができます。 [2. Live only] ：[Live] 画面の表示のみできます。本機の操作、設定はできません。 • 工場出荷値：[2. Live only]
[User check]	[User check] の▼をクリックすると、登録されているユーザーを確認できます。 登録ユーザーは「登録したユーザー名 [Access level]」で表示されます。(例：admin [1]) 右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したユーザーを削除できます。

[Host auth.] タブ

本機にアクセスできるパーソナルコンピューター（IP アドレス）を制限するホスト認証設定を行います。



項目	設定内容
[Host auth.]	ホスト認証するかどうかを設定します。 [On] ：ホスト認証します。 [Off] ：ホスト認証しません。 ●工場出荷値：[Off]
[IP address]	本機へのアクセスを許可するパーソナルコンピューターの IP アドレスを入力します。 ホスト名を IP アドレスとして入力することはできません。 IP アドレス / サブネットのマスク長を入力すると、サブネットごとにアクセスできるパーソナルコンピューターを制限できます。192.168.0.1/24 と入力し、[Access level] で [1. Administrator] を選択した場合は、192.168.0.1 ~ 192.168.0.254 のパーソナルコンピューターが [1. Administrator] のアクセスレベルで本機へアクセスできます。 登録済みの IP アドレスを入力し、[Set] ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。
[Access level]	ホストのアクセスレベルを設定します。 [1. Administrator] ：本機の全ての操作ができます。 [2. Live only] ：[Live] 画面の表示のみできます。本機の操作、設定はできません。 ●工場出荷値：[2. Live only]
[Host check]	[Host check] の▼をクリックすると、登録されているホストの IP アドレスを確認できます。 ホストは「登録した IP アドレスとアクセスレベル」で表示されます。(例：192.168.0.21 [1]) 右の [Delete] ボタンをクリックすると、選択したホスト (IP アドレス) を削除できます。

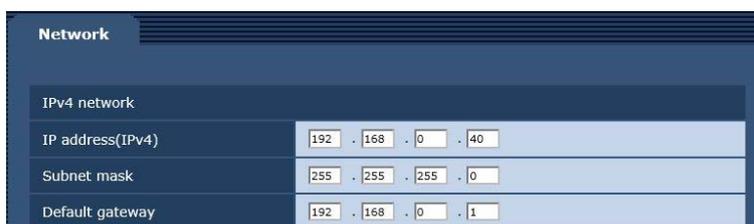
[Network] 画面

[Network] 画面では、ネットワークに関する設定をします。

次の情報は、ネットワークの設定をするために必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにご確認ください。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ (ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合)
- HTTP ポート

[IPv4 network]



項目	設定内容
[IP address(IPv4)]	本機の IP アドレスを入力します。パーソナルコンピューターや他のネットワークカメラに設定した IP アドレスと重複しないように入力してください。 ●工場出荷値：[192.168.0.40]
[Subnet mask]	本機のサブネットマスクを入力します。 ●工場出荷値：[255.255.255.0]
[Default gateway]	本機のデフォルトゲートウェイを入力します。 デフォルトゲートウェイに複数の IP アドレスは使用できません。 ●工場出荷値：[192.168.0.1]

[Common]

項目	設定内容
[HTTP port]	<p>HTTP のポート番号 (Web ブラウザーからアクセスする時のポート番号) を個別に割り当てます。 [1] … [65535] ● 工場出荷値 : [80] 次のポート番号は、本機で使用しています。設定できません。 [20] / [21] / [23] / [25] / [42] / [53] / [67] / [68] / [69] / [110] / [123] / [161] / [162] / [443] / [554] / [995] / [10669] / [10670] / [49152] / [49200] … [49299] / [59000] … [61000]</p>
[Line speed]	<p>データの通信速度を設定します。 [Auto] : 通信速度が自動設定されます。 [100M-Full] : 100 Mbps 全二重 [100M-Half] : 100 Mbps 半二重 [10M-Full] : 10 Mbps 全二重 [10M-Half] : 10 Mbps 半二重 通常は初期設定の [Auto] のまま使用することをお勧めします。 ● 工場出荷値 : [Auto]</p>
[Max RTP packet size]	<p>RTP を使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する RTP パケットサイズを制限するかどうかを設定します。 [Unlimited (1500byte)] : 制限なし (1500 バイト) [Limited (1280byte)] : 制限あり (1280 バイト) 通常は [Unlimited (1500byte)] で使用することをお勧めします。 使用する通信回線のパケットサイズが制限されている場合は、[Limited (1280byte)] を選択してください。 通信回線の最大パケットサイズについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● 工場出荷値 : [Unlimited (1500byte)]</p>
[HTTP max segment size (MSS)]	<p>HTTP を使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ (MSS) を制限するかどうかを設定します。 [Unlimited (1460byte)] : 制限なし (1460 バイト) [Limited (1280byte)] : 制限あり (1280 バイト) [Limited (1024byte)] : 制限あり (1024 バイト) 通常は [Unlimited (1460byte)] で使用することをお勧めします。 使用する通信回線の最大セグメントサイズ (MSS) が制限されている場合は、[Limited (1024byte)] または [Limited (1280byte)] を選択してください。 通信回線の最大セグメントサイズ (MSS) については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● 工場出荷値 : [Unlimited (1460byte)]</p>
[Bandwidth control (bitrate)]	<p>データの配信量を設定します。 [Unlimited]、[64kbps]、[128kbps]、[256kbps]、[384kbps]、[512kbps]、[768kbps]、[1024kbps]、[2048kbps]、[4096kbps]、[8192kbps] [Bandwidth control (bitrate)] を低く設定した場合、使用環境によっては、スナップショットボタンが動作しないことがあります。その場合は、[Live] 画面の [Compression] ボタンで [JPEG] を選択し、最も小さい解像度を配信する状態からスナップショットしてください。 ● 工場出荷値 : [Unlimited]</p>
[Easy IP Setup accommodate period]	<p>簡単 IP 設定ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を設定します。 [20min] : 簡単 IP 設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を、本機起動後 20 分間のみ有効にします。 [Unlimited] : 簡単 IP 設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を常時有効にします。 簡単 IP 設定ソフトウェアでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を表示することができます。 各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● 工場出荷値 : [Unlimited]</p>

第 6 章 Web 画面 — [Setup] 画面

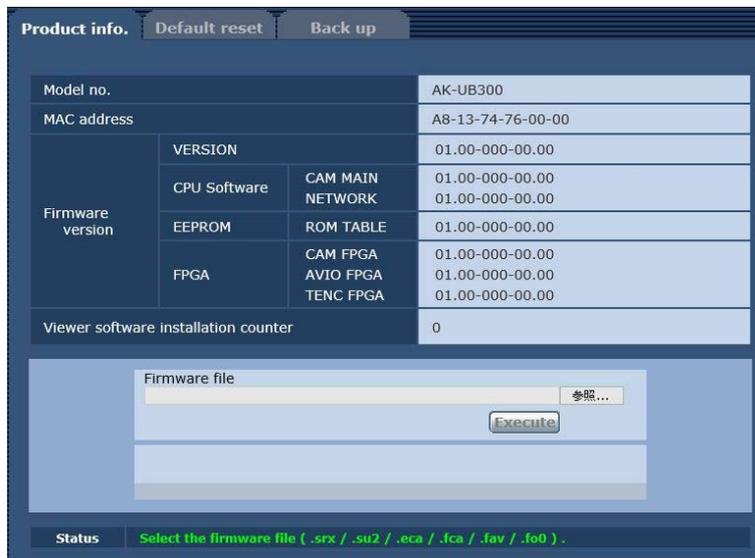
項目	設定内容
[Recommended network setting for internet]	<p>カメラをインターネットに公開するために、お勧めする設定をします。 [Set] ボタンをクリックすると、設定項目の設定が変更されることが、ダイアログボックスに表示されます。確認した後に、[OK] ボタンをクリックしてください。</p> <p>[Image] 画面</p> <ul style="list-style-type: none"> • [JPEG(1)] [Image capture size] : [640×360] • [JPEG(2)] [Image capture size] : [320×180] • [JPEG(3)] [Image capture size] : [160×90] • [H.264(1)] / [H.264(2)] / [H.264(3)] / [H.264(4)] (Windows) [Internet mode (over HTTP)] : [On] [Transmission priority] : [Best effort] • [H.264(1)] (Windows) [Image capture size] : [1280×720] [Max bit rate (per client)] : [Max1024 kbps]、[Min1024 kbps] • [H.264(2)] (Windows) [Image capture size] : [640×360] [Max bit rate (per client)] : [Max1024 kbps]、[Min128 kbps] • [H.264(3)] (Windows) [Image capture size] : [320×180] [Max bit rate (per client)] : [Max1024 kbps]、[Min128 kbps] • [H.264(4)] (Windows) [Image capture size] : [160×90] [Max bit rate (per client)] : [Max1024 kbps]、[Min128 kbps] <p>[Network] 画面 [Max RTP packet size] : [Limited (1280byte)] [HTTP max segment size (MSS)] : [Limited (1280byte)]</p>

[Maintenance] 画面

システムログの確認やソフトウェアのバージョン確認、本機の初期化などを行います。
 [Product info.]、[Default reset]、[Back up] の3つのタブで構成されています。

[Product info.] タブ

本機のソフトウェアのバージョンを確認できます。
 [Model no.]、[MAC address]、[Serial no.]、[Firmware version] など本機の各情報が表示されます。



項目	設定内容
[Model no.]	本機の品番が表示されます。
[MAC address]	本機の MAC アドレスが表示されます。
[Firmware version]	<p>[VERSION] : カメラのシステムバージョンを表示します。 [CPU Software - CAM MAIN] : カメラのメインソフトバージョンを表示します。 [CPU Software - NETWORK] : ネットワーク部のソフトバージョンを表示します。 [EEPROM - ROM TABLE] : カメラテーブルのバージョンを表示します。 [FPGA - CAM FPGA] : カメラの FPGA バージョンを表示します。 [FPGA - AVIO FPGA] : 映像処理部の FPGA バージョンを表示します。 [FPGA - TENC FPGA] : TICO の FPGA バージョンを表示します。3G TICO UHD 出力ボード AK-UTS03G (別売品) を装着したときのみ表示されます。</p>
[Viewer software installation counter]	本機から自動インストールを実施した表示用プラグインソフトウェアの数が表示されます。

項目	設定内容
[Firmware file]	ファームウェアをアップデートします。
[Status]	本機の現在の状態を表示します。

■ ファームウェアのアップデート方法

1 お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをパーソナルコンピューターのハードディスクにダウンロードする。

2 [参照] ボタンをクリックして、ダウンロードしたソフトウェアを指定する。

3 [Execute] ボタンをクリックする。

アップデート実行の確認画面が表示されます。

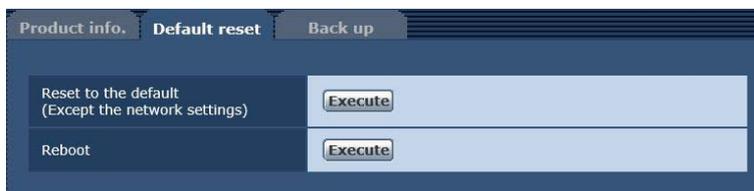
アップデートしたあとは、インターネット一時ファイルを必ず削除してください。

NOTE

- 保存ディレクトリー名には、スペースや全角文字は使用できません。
- 保存ディレクトリー名とダウンロードしたソフトウェア名とを合わせて、250 文字以内にしてください。
- ファームウェアのアップデートは、必ずアップデート対象の機器と同じネットワーク（LAN）内にあるパーソナルコンピューターから実施してください。
- [Execute] ボタンを押したあと、アップデート処理中を示すプログレスバーが表示されるまでの時間は次のとおりです。
 - CAM FPGA：約 1 分
 - NETWORK および AVIO FPGA：約 2 分
 - その他：30 秒以内
- アップデート時のソフトウェアは、当社指定の次のファイルを使用してください。
 - CPU Software - CAM MAIN
RX_SOFT.srx
 - CPU Software - Network
US2_SOFT.su2
 - EEPROM - ROM TABLE
CAM_TABLE.eca
 - FPGA - CAM FPGA
CAM_FPGA.fca
 - FPGA - AVIO FPGA
AVIO_FPGA.fav
- アップデート中は、プログレスバーが消えるまで、本機の電源を切らないでください。
- アップデート中は、アップデートが終了するまで一切の操作は行わないでください。

[Default reset] タブ

本機の設定データを初期化し、本機を再起動します。



項目	設定内容
[Reset to the default (Except the network settings)]	[Execute] ボタンをクリックすると、本機の設定内容を初期設定に戻します。ログイン用のユーザー名およびパスワードも初期値（admin/12345）に戻ります。初期化動作を行うと、約 3 分間操作できません。次の設定項目は初期化されません。 <ul style="list-style-type: none"> • [IPv4 network] の全ての項目 • [HTTP port] • [Line speed] • [Bandwidth control (bitrate)]
[Reboot]	[Execute] ボタンをクリックすると、本機を再起動します。再起動後は、本機の電源を入れたときと同様に、約 1 分間操作ができません。

[Back up] タブ

本機のネットワーク関連の設定をパーソナルコンピューターに保存したり、パーソナルコンピューターに保存されている設定を本機に適用したりすることができます。



項目	設定内容
[Download]	本機のネットワーク関連の設定をパーソナルコンピューターに保存します。(101 ページ)
[Upload]	ダウンロード機能でパーソナルコンピューターに保存した本機の設定ファイルをアップロードします。(101 ページ)

■ 本機のネットワーク関連の設定をパーソナルコンピューターに保存する [Download]

次の手順で、本機のネットワーク関連の設定をパーソナルコンピューターに保存します。

ダウンロード中は、本機の電源を切らないでください。

ダウンロード中は、ダウンロードが終了するまで一切の操作をしないでください。

1 [Download] の [Execute] ボタンをクリックする。

保存先ダイアログ画面が表示されます。

2 保存先のフォルダーを指定し、[OK] ボタンをクリックする。

データが保存されます。

■ パーソナルコンピューターに保存されている設定を本機に適用する [Upload]

次の手順で、ダウンロード機能 [Download] でパーソナルコンピューターに保存した本機の設定ファイルをアップロードして、本機に適用します。

アップロードに使用するデータは、本機でダウンロードしたファイルを使用してください。

また、ダウンロードしたファイルの拡張子 (.ndt) は変更しないでください。

アップロード中は、本機の電源を切らないでください。

アップロード中は、アップロードが終了するまで一切の操作をしないでください。

1 [Upload] の [参照] ボタンをクリックし、ダウンロードした設定ファイルを指定する。

2 [Execute] ボタンをクリックする。

メッセージダイアログ画面が表示されます。

3 [OK] ボタンをクリックする。

アップロードを開始します。

アップロードが完了すると、メッセージダイアログ画面が表示されます。

4 [OK] ボタンをクリックする。

本機が自動的に再起動します。

第 7 章 UB300 Setting Tool

UB300 Setting Tool を使った設定メニューの変更やファームウェアのアップデートについて説明します。

はじめに

UB300 Setting Tool は AK-UB300G 専用です。

Windows と Macintosh で動作します。

AK-UB300G の設定メニューの変更、およびファームウェアのアップデートができます。

■ 本書での記載について

本書での記載は Windows と Macintosh の共用となっています。特に注釈がない限り、記載内容は Windows と Macintosh で共通です。

本書で使用している画面写真は Windows 7 のものです。画面構成は Windows と Macintosh で共通ですが、次の部分が異なります。

- ウィンドウ上部の「最小化」「閉じる」ボタン
Windows と Macintosh では、表示位置が異なります。
- ダイアログの [OK] [Cancel] ボタン
Windows と Macintosh では、並び順が異なります。

なお、本書で記載されるキャプチャー画像は、実際と異なることがあります。

NOTE

- UB300 Setting Tool を同時に複数起動しての使用はサポートしていません。
- UB300 Setting Tool を動作させるローカルホストの受信ポートは、開放してください。
受信ポートは UB300 Setting Tool の設定画面で任意に指定できます。

UB300 Setting Tool の機能

接続設定

接続情報を設定することで任意の AK-UB300G に接続できます。

設定できる項目は次のとおりです。

■ カメラ情報

- IP アドレス：接続する AK-UB300G の IP アドレスを指定します。
- ポート番号：接続する AK-UB300G のポート番号を指定します。カメラ側のデフォルトは 80 番です。

■ 認証情報

- ユーザー名：接続時に、使用する管理者権限を持ったアカウント名を指定します。
- パスワード：接続時に、使用する管理者権限を持ったアカウントのパスワードを指定します。

■ ローカルホスト情報

- ポート番号：UB300 Setting Tool が接続時に、使用する自身のポート番号を指定します。必要がないときは、変更は不要です。
- これらの項目を設定したあと、[Connect] ボタンをクリックすると、指定した AK-UB300G に接続できます。

ファームウェアアップデート機能

接続した AK-UB300G に対し、任意のファームウェアを指定してアップデートできます。

アップデートできるファームウェアは次のとおりです。

- CAM MAIN
- NETWORK
- ROM TABLE
- CAM FPGA
- AVIO FPGA
- Option (オプションボードを追加搭載したときのみ有効)

設定メニュー操作

接続した AK-UB300G の設定メニュー操作ができます。

表示される設定メニューのステータスは接続中の AK-UB300G と同期されています。

ただし、全ての設定メニューが本ツールから操作できるわけではありません。

OSD 操作機能

AK-UB300G の OSD メニュー操作のボタンが実行できます。

AK-UB300G から出力される映像を視聴できる状態で OSD 操作する場合にご使用ください。

セットアップ

インストール

Windows の場合

インストールは Administrator 権限を持つユーザーでログインしてください。

1 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする。

ファイルが解凍され、setup.exe が表示されます。
UB300 Setting Tool は次のサイトからダウンロードできます。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

2 setup.exe をダブルクリックする。

導入画面が表示されます。
以降、インストーラの誘導にしたがってインストールしてください。

NOTE

・お使いのパーソナルコンピュータの環境によっては、再起動が必要です。そのときは、パーソナルコンピュータを再起動したあとで UB300 Setting Tool を使用してください。

■ アンインストールするには

1 [コントロールパネル] → [プログラム] → [プログラムと機能] を選択する。

2 プログラム一覧から [UB300 Setting Tool] を選択して [アンインストール] をクリックする。

確認画面が表示されます。

3 [はい] をクリックする。

アンインストールされます。

Macintosh の場合

インストールは管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

1 ダウンロードしたファイルをダブルクリックする。

ファイルが解凍され、UB300SettingTool.app が表示されます。

2 UB300SettingTool.app をアプリケーションフォルダーに移動する。

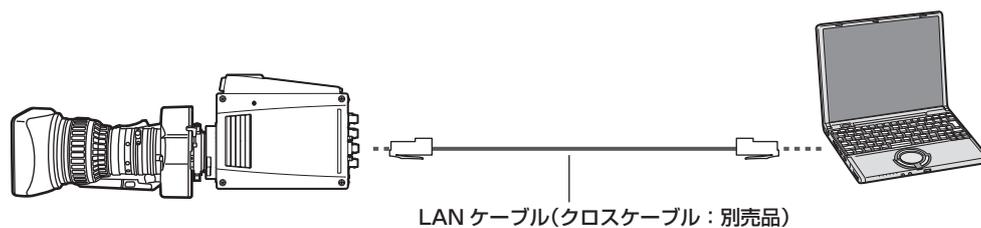
必要に応じて適切な場所に移動してください。

■ アンインストールするには

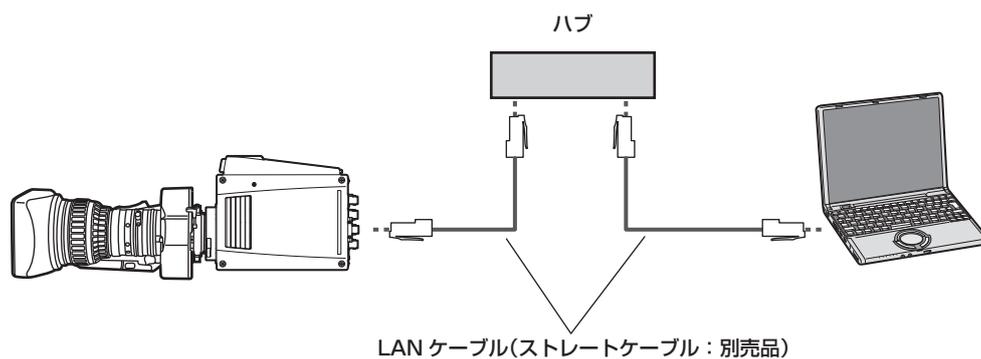
1 UB300SettingTool.app をゴミ箱にドラッグして削除する。

接続

UB300 Setting Tool が動作するパーソナルコンピュータと AK-UB300G は次のように接続してください。



ハブ使用時



パーソナルコンピュータの IP アドレスは、プライベートアドレスの範囲内で、AK-UB300G と異なるアドレスを設定してください。サブネットマスクは AK-UB300G と同じアドレスに設定してください。

(例)

- パーソナルコンピュータ：192.168.0.100
- AK-UB300G：192.168.0.40

操作

起動

Windows の場合

1 [スタート] → [プログラム] → [Panasonic] → [UB300 Setting Tool] をクリックする。

NOTE

- ・ポート開放を設定せずに UB300 Setting Tool を起動した場合、セキュリティの警告が出ることがあります。そのときは、警告の指示に従い UB300 Setting Tool のアクセスを許可する設定をしてください。
- ・Windows 10 をご利用の場合、UB300 Setting Tool の画面の文字のレイアウトが崩れる場合があります。(文字が画面に収まらずに、はみ出す場合があります)
このような現象が発生したときは、次の手順で Windows の設定を変更すると、解決できる場合があります。
 - [スタート] → [設定] → [システム] をクリックします。[ディスプレイ] → [テキスト、アプリ、その他の項目のサイズを変更する] の値を [100%] に設定します。設定を有効にするため、パーソナルコンピュータを再起動します。

■ 終了するには

1 起動中に右上の [x] をクリックする。

Macintosh の場合

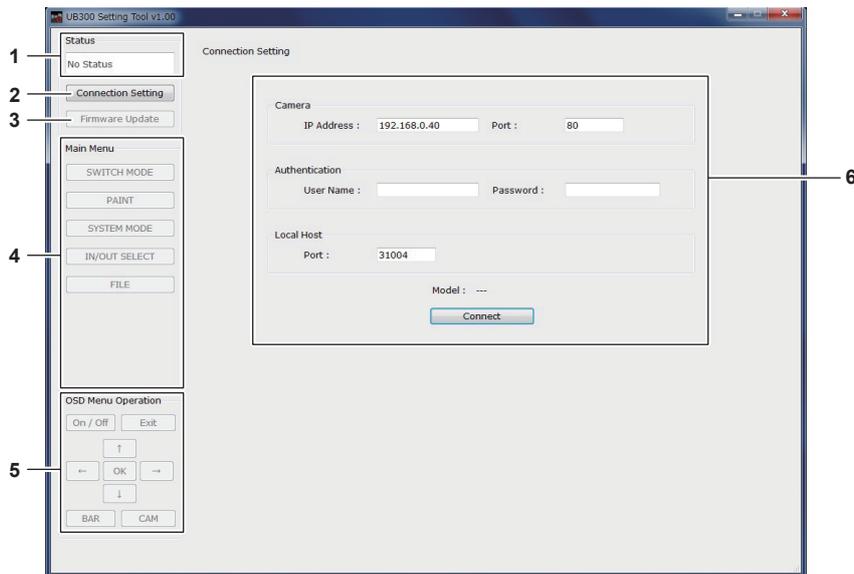
1 [Finder] からアプリケーションフォルダーにある [UB300 Setting Tool] アイコンをダブルクリックする。

■ 終了するには

1 起動中に左の赤ボタンをクリックする。

トップ画面

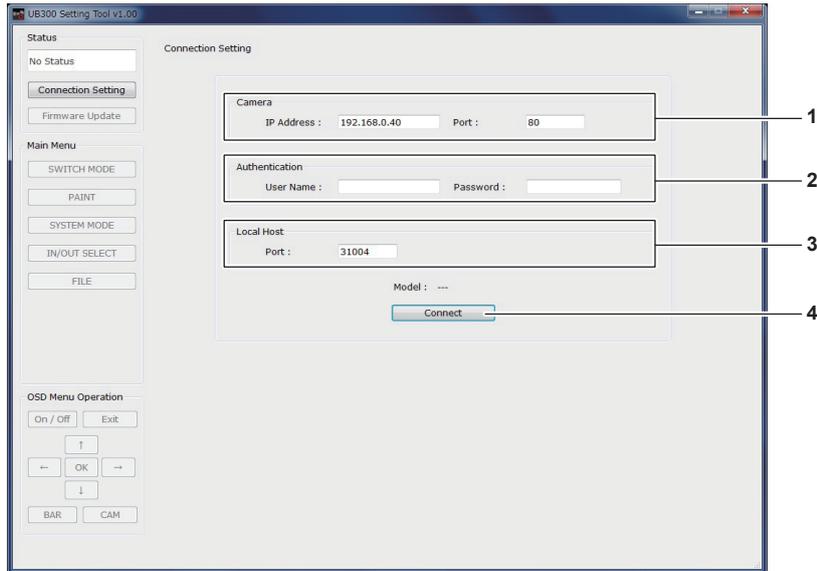
起動時に、表示される画面です。



- 1 [Status]
AK-UB300G の接続状態や発生したエラー内容を表示します。
- 2 [Connection Setting] ボタン
AK-UB300G への接続設定画面を表示します。起動直後は自動的に接続設定画面が表示されます。
- 3 [Firmware Update] ボタン
AK-UB300G のファームウェアアップデート実行画面を表示します。
- 4 [Main Menu] ボタン
接続した AK-UB300G で変更したい設定メニューを選択します。
- 5 [OSD Menu Operation] ボタン
OSD 操作ボタンです。AK-UB300G の出力映像に対して、OSD メニューを表示したり、カーソルを操作したりできます。
- 6 メニュー設定画面
[Main Menu] ボタンで選択したカテゴリーの設定メニューが表示されます。設定内容を変更できます。

接続設定画面

[Connection Setting] ボタンをクリックすると表示される画面です。起動時にも、表示されます。



1 [Camera]

- [IP Address]
接続先の AK-UB300G の IP アドレスを設定します。
- [Port]
接続先の AK-UB300G のポート番号を指定します。
AK-UB300G 側の HTTP ポート番号をデフォルト値から変更していないときは、ここでの設定は不要です。

2 [Authentication]

- [User Name]
AK-UB300G に接続するときに、使用するアカウント名を指定します。管理者権限を持ったアカウントを指定してください。
- [Password]
接続時に、使用するアカウントのパスワードを指定します。

3 [Local Host]

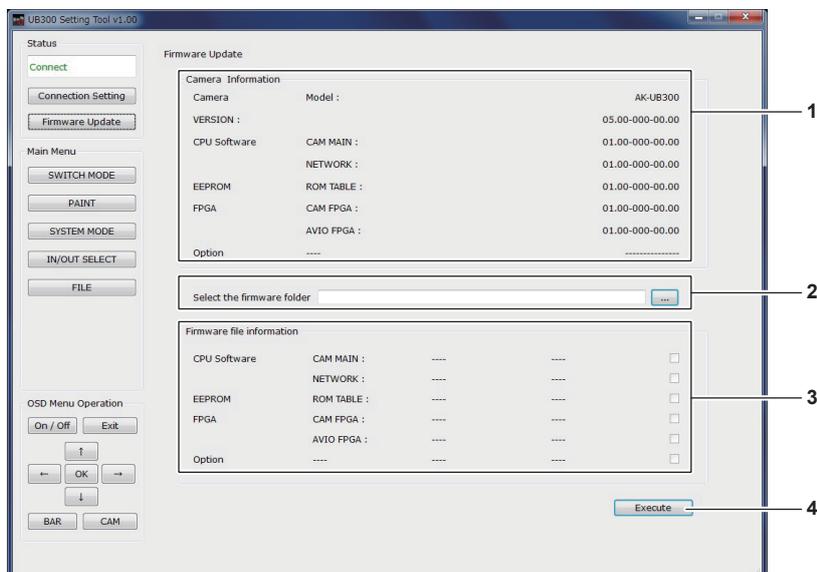
- [Port]
UB300 Setting Tool が動作するパーソナルコンピューター側の通信ポート番号を指定します。

4 [Connect] ボタン

[IP Address] / [Port] / [User Name] / [Password] を設定したあと、[Connect] ボタンをクリックすると、指定した AK-UB300G に接続を開始します。
接続が成功すると、[Model] に [AK-UB300] と表示されます。

ファームウェアアップデート機能画面

[Firmware Update] ボタンをクリックすると表示される画面です。



1 [Camera Information]

接続中の AK-UB300G のファームウェアバージョンが表示されます。
[Option] には、AK-UB300G にオプションボードを追加した場合のみ、バージョン情報が表示されます。

2 [Select the firmware folder]

AK-UB300G に書き込むファームウェアファイルを格納しているフォルダーが表示されます。

3 [Firmware file information]

選択したファームウェアファイルのファームウェアバージョンが表示されます。

4 [Execute]

[Execute] ボタンをクリックすると、選択中のファームウェアファイルで AK-UB300G のアップデートが行われます。アップデート中はプログレスバーが表示されます。

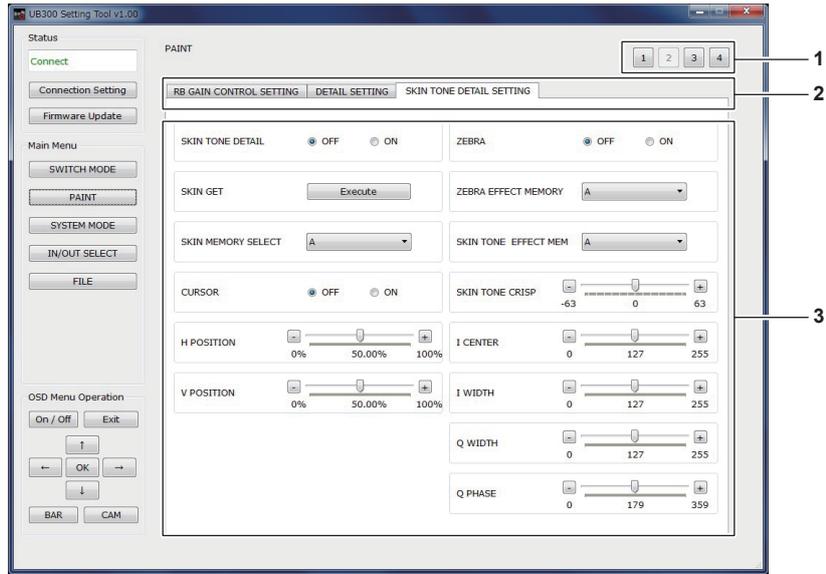
NOTE

・アップデート中は、リセットがかかったり、出力の映像が乱れたりすることがあります。

設定メニュー画面

[Main Menu] のいずれかのボタンをクリックすると表示される画面です。

(例) [PAINT] ボタンをクリックしたとき



1 タブページ切り替えボタン

設定メニューのなかで項目の多いメニューは、複数のページにタブを割り当てています。このボタンでページを切り替えます。

2 メニュータブ

表示された設定メニューのカテゴリーが、タブごとに割り当てられています。タブをクリックすると、表示したいカテゴリーを切り替えます。

3 設定エリア

設定メニューのエリアです。設定値に応じて、コンボボックス、スライダー、ラジオボタン、プッシュボタンなどがあります。表示される設定値は AK-UB300G の設定値と同期されています。

NOTE

- ・ UB300 Setting Tool の [Main Menu] では、全ての設定メニューには対応していません。AK-UB300G 本体で変更してください。
- ・ UB300 Setting Tool の [Main Menu] から変更できる項目については、実際の表示画面を確認してください。
- ・ UB300 Setting Tool の [Main Menu] から変更できる項目は予告なく変更することがあります。
- ・ ネットワーク環境や動作パーソナルコンピュータの状況によっては表示される設定メニューの設定値が、接続中の AK-UB300G と一致しないことがあります。その場合は、動作環境に問題がないか確認してください。

第8章 メンテナンス

本機のワーニング表示やアフターサービスについて説明します。

故障かな？と思ったら

操作関係

症状	原因・対策	
電源が入らない	電源コードがコンセントに確実に接続されていますか？	
IP 接続したリモートカメラコントローラーから操作できない	電源は入っていますか？ ● 本機の〈DC IN〉ランプが消灯している場合は、本機の電源が入っていません。	
	本機に有効な IP アドレスは設定されていますか？	
	操作したい本機を正しく選んでいますか？	
	リモートカメラコントローラーと正しく接続されていますか？ ● リモートカメラコントローラーの取扱説明書も参照してください。	
	本機に対応するためのリモートカメラコントローラーのファームウェアアップデートが必要なことがあります。 ● 販売店にご相談ください。	
Web ブラウザーからアクセスできない	〈LAN〉 端子にカテゴリ 5 以上の LAN ケーブルを使って接続していますか？	
	〈LAN〉 端子のランプは点灯していますか？ ● 点灯している場合は、LAN に正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。 LAN ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	
	電源は入っていますか？ ● 本機の〈DC IN〉ランプが消灯している場合は、本機の電源が入っていません。	
	本機に有効な IP アドレスは設定されていますか？	
	間違った IP アドレスにアクセスしていませんか？ (Windows) ● Windows のコマンドプロンプトで >ping xxx.xxx.x.xx (xxx.xxx.x.xx は本機に設定した IP アドレス) を実行し、本機から応答が返ってくると、正常に動作しています。 応答が返ってこない場合は、本機を再起動し、20 分以内に簡単 IP 設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更してください。	
	間違った IP アドレスにアクセスしていませんか？ (Mac) ● OS X のターミナルで >ping -c 10 xxx.xxx.x.xx (xxx.xxx.x.xx は本機に設定した IP アドレス) を実行し、本機から応答が返ってくると、正常に動作しています。 応答が返ってこない場合は、本機を再起動し、20 分以内に簡単 IP 設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更してください。	
	ポート番号に 554 を設定していませんか？ ● HTTP ポート番号は、本機で使用する次のポート番号以外を使用してください。 [20]、[21]、[23]、[25]、[42]、[53]、[67]、[68]、[69]、[110]、[123]、[161]、[162]、[554]、[995]、[10669]、[10670]、[49152]、[59000] … [59999]、[60000] … [61000]	
	設定した IP アドレスが他の機器と重複していませんか？ ● 本機およびアクセス機器 (パーソナルコンピューター、コントローラーなど)、他のカメラの IP アドレスを確認してください。	
	設定したサブネットマスクが設置先のネットワークサブネットと一致していますか？ ● 本機およびアクセス機器に設定されているサブネットマスクをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	
	Web ブラウザーで [プロキシサーバーを使う] の設定になっていませんか？ (本機とパーソナルコンピューターが同一サブネットに接続されている場合) ● Web ブラウザーの [プロキシ設定] でプロキシサーバーが設定されている場合は、本機の IP アドレスをプロキシから外すアドレスに設定することをお勧めします。	
	本機に設定したデフォルトゲートウェイが間違っていますか？ (本機とパーソナルコンピューターが異なるサブネットに接続されている場合) ● 本機に設定されているデフォルトゲートウェイをご確認のうえ、ネットワーク管理者にお問い合わせください。	
	[Setup] 画面の設定値がうまく更新されない、表示されない	パーソナルコンピューターのキーボードの F5 キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。(Windows) パーソナルコンピューターのキーボードの Command+R キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。(Mac) 次の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。(Windows) 1) Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 2) [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [削除] ボタンをクリックする。 3) [閲覧の履歴の削除] ダイアログボックスで、[インターネット一時ファイル] チェックボックスをオンにして [削除] ボタンをクリックする。 4) [OK] ボタンをクリックする。 次の手順でインターネット一時ファイル (キャッシュ) を削除してください。(Mac) 1) Safari で [Safari] - [キャッシュを空にする] を選択する。 2) [キャッシュを空にしてもよろしいですか?] ポップアップの [空にする] ボタンをクリックする。

第 8 章 メンテナンス — 故障かな？と思ったら

症状	原因・対策
	<p>インターネット一時ファイルの設定において、[保存しているページの新しいバージョンの確認] を [Web サイトを表示するたびに確認する] に設定してください。(Windows)</p> <p>次の手順で設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 2) [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [設定] ボタンをクリックする。 3) [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスで、[保存しているページの新しいバージョンの確認] の [Web サイトを表示するたびに確認する] ラジオボタンをオンにする。 4) [OK] ボタンをクリックする <p>ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。
設定ファイルのダウンロードができない	<p>ファイルのダウンロード機能が無効になっていませんか？(Windows)</p> <p>次の手順で設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 2) [セキュリティ] タブをクリックし、[このゾーンのセキュリティのレベル] の [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。 3) [セキュリティ設定] ダイアログボックスで、[ファイルのダウンロード] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。 4) [ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示] の [有効にする] ラジオボタンをオンにする。(Internet Explorer 8 のみ) 5) [OK] ボタンをクリックする。 6) [OK] ボタンをクリックする。
認証画面が連続して表示される	<p>ユーザー名やパスワードが変更されていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機にアクセス中に、異なる Web ブラウザーでログイン中のユーザーに対するユーザー名やパスワードを変更すると、画面を切り替えたときに、認証画面が表示されます。 <p>Web ブラウザーを閉じて、本機にアクセスし直してください。</p> <p>ユーザー認証方式の設定を変更していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● [User auth.] - [Authentication] の設定を変更した場合は、Web ブラウザーを閉じて、アクセスし直してください。
画面表示に時間がかかる	<p>同じローカルネットワークの本機をプロキシ経由でアクセスしていませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● プロキシを経由しないように Web ブラウザーの設定をしてください。 <p>複数のユーザーが同時に本機の IP 映像を参照していませんか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 複数のユーザーが同時に本機の IP 映像を参照すると、画面表示に時間がかかったり、IP 映像の更新速度が遅くなったりすることがあります。

IP 映像関係

症状	原因・対策
画像が表示されない	<p>表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？(Windows)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 表示用プラグインソフトウェアをインストールしてください。 <p>[Live] 画面の IP 映像が表示されないときは、インターネット一時ファイルの設定において、[保存しているページの新しいバージョンの確認] を [Web サイトを表示するたびに確認する] に設定してください。(Windows)</p> <p>次の手順で設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 2) [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [設定] ボタンをクリックする。 3) [インターネット一時ファイルと履歴の設定] ダイアログボックスで、[保存しているページの新しいバージョンの確認] の [Web サイトを表示するたびに確認する] ラジオボタンをオンにする。 4) [OK] ボタンをクリックする。
画像がぼやける	<p>フォーカスは正しく調整されていますか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フォーカス調整を確認してください。
画像が更新されない	<p>ご使用の Web ブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生することがあります。</p> <p>ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。本機の IP 映像設定を変更した場合、一時的に画像の表示が止まる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機へのアクセス状況を確認し、中断できるアクセスを停止してください。その後、パーソナルコンピュータのキーボードの F5 キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。(Windows) ● 本機へのアクセス状況を確認し、中断できるアクセスを停止してください。その後、パーソナルコンピュータのキーボードの Command+R キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。(Mac)
画像がうまく更新されない、表示されない	<p>次の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。(Windows)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Internet Explorer で [ツール] - [インターネットオプション] を選択する。 2) [全般] タブをクリックし、[閲覧の履歴] の [削除] ボタンをクリックする。 3) [閲覧の履歴の削除] ダイアログボックスで、[インターネット一時ファイル] チェックボックスをオンにして [削除] ボタンをクリックする。 4) [OK] ボタンをクリックする。 <p>次の手順でインターネット一時ファイル (キャッシュ) を削除してください。(Mac)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Safari で [Safari] - [キャッシュを空にする] を選択する。 2) [キャッシュを空にしてもよろしいですか?] ポップアップの [空にする] ボタンをクリックする。 <p>ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 本機の HTTP ポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。

症状	原因・対策
H.264 画像が表示されない	表示用プラグインソフトウェア Network Camera View 3 がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア Network Camera View 4S を削除した場合、H.264 画像の表示が行われなくなります。その場合、Network Camera View 3 を削除後、Network Camera View 4S のインストールをしてください。 インターネット経由でカメラとパーソナルコンピュータを接続していませんか？ ● [Internet mode (over HTTP)] の設定を [On] にします。
画像が乱れる	伝送路の輻輳などにより映像情報が適切に伝送されず、映像が乱れることがあります。 ● ネットワーク管理者にお問い合わせください。 伝送路にて映像パケットの順序入替が発生し、映像が乱れることがあります。 ● インターネットサービスプロバイダーを、カメラ側とパーソナルコンピュータ側で同一のものにする と回避できることがあります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
複数の Web ブラウザーを起動して H.264 画像を表示したとき、1 つの Web ブラウザーに複数のカメラ画像が切り替わり表示される	パーソナルコンピュータのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生することがあります。(Windows) ● この現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。解決しない場合は、次の手順で [ハードウェアアクセラレータ] の機能を調整してください。ここでは、Windows 7 を例に説明します。ご使用の環境によっては、設定を変更できないこともあります。 1) デスクトップでマウスを右クリックし、メニューから [画面の解像度] を選択する。 2) [詳細設定] をクリックする。 3) [トラブルシューティング] タブを選択し、[設定の変更] をクリックする。 4) [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示された場合は、[はい] をクリックする。管理者アカウント以外でログオンしている場合は、パスワードおよび、必要に応じてユーザー名も入力し、[はい] をクリックする。 5) [ハードウェアアクセラレータ] の項目を一番左の [なし] に変更し、[OK] ボタンをクリックする。

Web 画面

お使いのパーソナルコンピュータの OS によっては、次の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。

なお、これらの対応方法により、他のアプリケーションの動作に影響を与えることはありません。

この説明で使用している「情報バー」とは、Internet Explorer に表示されるメッセージバーのことです。(Windows)

■ Internet Explorer



「情報バー」は、Internet Explorer のアドレスバーの下に表示されます。

症状	原因・対策
Internet Explorer 9.0/10.0/11.0 で、次のメッセージの情報バーが表示される [この Web サイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'WebVideo Module' アドオンを実行しようとしています。]	次の手順で許可してください。 1) [許可 (A)] を選択する。
Internet Explorer 8.0 で、次のメッセージの情報バーが表示される [ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください…]	次の手順で許可してください。 1) 情報バーをクリックし、[このサイトのポップアップを常に許可 (A)…] を選択する。 [このサイトのポップアップを許可しますか?] の画面が表示されます。 2) [はい (Y)] ボタンをクリックする。
Internet Explorer 9.0/10.0/11.0 で、次のメッセージの情報バーが表示される [この Web サイトは、'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcw4SSetup.exe' アドオンをインストールしようとしています。]	次の手順で許可してください。 1) [インストール (I)] を選択する。 セキュリティの警告画面が表示されます。 2) [インストールする (I)] ボタンをクリックする。
Internet Explorer 8.0 で、次のメッセージの情報バーが表示される [このサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な可能性があります : 'Panasonic System Networks Co.,Ltd.' からの 'nwcw4SSetup.exe' をインストールするには、ここをクリックしてください…]	次の手順で許可してください。 1) 情報バーをクリックし、[ActiveX コントロールのインストール (C)…] を選択する。 セキュリティの警告画面が表示されます。 2) [インストールする (I)] ボタンをクリックする。
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	次の手順で許可してください。 1) Internet Explorer のセキュリティの設定画面を開き、[インターネット] を選択する。 2) [レベルのカスタマイズ] ボタンをクリックする。 3) [その他] の [サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する] で [有効にする] を選択し、[OK] ボタンをクリックする。 警告画面が表示されます。 4) [はい (Y)] ボタンをクリックする。

第 8 章 メンテナンス — 故障かな？と思ったら

症状	原因・対策
IP 映像が表示用の枠と一致していない	<p>画像の DPI 設定が 120DPI 以上に設定されている場合は、正しく表示されないことがあります。次のように設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1) パーソナルコンピュータ画面上で右クリックし、[画面の解像度] - [テキストやその他の項目の大きさの変更] をクリックする。2) [小-100% (規定)] に設定する。 <p>Internet Explorer のズーム機能における拡大レベルが 100% 以外に設定されている場合は、正しく表示されないことがあります。</p> <p>次のように設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1) Internet Explorer のメニューバーから [表示 (V)] - [拡大 (Z)] を選択し、[100%] をクリックする。
画面レイアウトが崩れている、または画面の一部のボタンが操作できない	<p>本機を互換表示しないように設定してください。</p> <ol style="list-style-type: none">1) Internet Explorer のメニューバーから [ツール (T)] - [互換表示設定 (B)] を選択する。

ご使用時間の確認

[MAIN MENU] → [DIAGNOSTIC] → [HOUR METER] で確認できます。

[OPERATION] : 本機の電源が入っていた時間の総合計を表示します。

[FAN] : ファンの駆動時間を表示します。

ワーニング表示について

動作中に異常が検出されると、〈HD SDI OUT 2〉端子からの出力にワーニング内容を表示します。

カメラワーニング表示

■ AWB（オートホワイトバランス）実行時

[AWB HIGH LIGHT NG]	光量が大きすぎてオートホワイトバランスを実行できません。 適度な光レベルを設定してください。
[AWB LOW LIGHT NG]	光量不足でオートホワイトバランスを実行できません。 適度な光レベルを設定してください。
[AWB RCH OUT RANGE]	赤のホワイトバランス収束ができません。 画面いっぱいに白を写して実行してください。
[AWB BCH OUT RANGE]	青のホワイトバランス収束ができません。 画面いっぱいに白を写して実行してください。

■ ABB（オートブラックバランス）実行時

[ABB RCH OUT RANGE]	赤のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB BCH OUT RANGE]	青のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB GCH OUT RANGE]	緑のブラックバランス収束ができません。 映像に異常がないか確認してください。
[ABB NG]	レンズアイリスがクローズになっていない可能性があります。

■ ブラックシェーディング実行時

[BSHD NG]	ブラックシェーディングに異常が発生しました。 レンズが正しく閉じているか確認してください。
-----------	--

その他のワーニング表示

ワーニング内容の表示と同時に、〈WARNING〉ランプが赤く点灯し、フロントタリールンプおよびバックタリールンプが赤く点滅します。

[FAN NG]	ファンに異常があります。
[HIGH TEMPERATURE]	内部の温度が高温になっています。
[LOW VOLTAGE]	外部 DC 電源の電圧が低くなっています。
[SHUTDOWN SOON]	内部の温度が想定以上に上昇しています。もしくは、外部 DC 電源の電圧が動作保証外まで下がっています。 30 秒後に強制的に電源を切ります。

本機搭載ファームウェアのアップデート

ファームウェアアップデートの有無および操作説明は次の Web サイトをご参照ください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（同梱印刷物に添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このマルチパーパスカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除してご依頼ください。

修理を依頼される時

この取扱説明書を再度ご確認ください。お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	マルチパーパスカメラ
品番	AK-UB300G
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

第9章 仕様

本製品の定格について説明します。

定格

総合

電源
DC ≒ 12 V (DC 11 V - 17 V)
消費電力
40 W (本体のみ、3G SDI×4 出力時)
60 W (全てのアクセサリを接続し、各出力端子の最大供給時の最大電力)

は安全項目です。

動作周囲温度	-10 °C - 45 °C (0 °C以下では予熱が必要)
保存温度	-20 °C - 60 °C
動作周囲湿度	85% 以下 (相対湿度)
質量	約 1.6 kg (本体のみ)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	本体のみ 110 mm × 140 mm × 160 mm (突起部分を除く)

カメラ部

撮像素子	1100 万画素、MOS×1
レンズマウント	2/3 型バヨネット式
ND フィルター	CLEAR、1/4、1/16、1/64
ゲイン	-6、-3、0、3、6、9、12、15、18、21、24、27、30、33、36 dB
蓄積ゲイン	6、12、18、24 dB から選択可能
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> • [60p] / [59.94i] / [59.94p] モード： 1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • [29.97p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • [23.98p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/120、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • [50i] / [50p] モード： 1/60、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • [25p] モード： 1/48、1/50、1/60、1/96、1/100、1/125、1/250、1/500、1/1000、1/1500、1/2000 秒 • 180.0 deg、172.8 deg、144.0 deg、120.0 deg、90.0 deg、45.0 deg
シンクロスキャンシャッター	<ul style="list-style-type: none"> • [60p] / [59.94i] / [59.94p] モード： 1/61.7 ~ 1/6130 秒 • [29.97p] モード： 1/30.9 ~ 1/2600 秒 • [23.98p] モード： 1/24.7 ~ 1/2880 秒 • [50i] / [50p] モード： 1/51.5 ~ 1/6250 秒 • [25p] モード： 1/25.7 ~ 1/3130 秒
シャッター開角度	3 deg ~ 359.5 deg (0.5 deg ステップで設定可能)
感度	[NORMAL] : F6 (2000 lx、3200 K、89.9% 反射、1080/59.94i) / F7 (2000 lx、3200 K、89.9% 反射、1080/50i) [HIGH SENS] : F10 (2000 lx、3200 K、89.9% 反射、1080/59.94i) / F11 (2000 lx、3200 K、89.9% 反射、1080/50i)
最低被写体照度	約 0.01 lx (50%、F1.4、+36 dB (ゲイン)、+24 dB (蓄積ゲイン)、29.97p/59.94 Hz、25p/50 Hz)
映像 S/N	60 dB (標準) ([DNR] = [ON])
水平解像度	HD : 1000TV 本以上 (中心) UHD : 1800TV 本以上 (中心)

システムフォーマット	<ul style="list-style-type: none"> • UHD <ul style="list-style-type: none"> 3840×2160/60p 3840×2160/59.94p 3840×2160/29.97p 3840×2160/29.97PsF 3840×2160/23.98p 3840×2160/23.98PsF 3840×2160/50p 3840×2160/25p 3840×2160/25PsF • HD <ul style="list-style-type: none"> 1080/60p、1080/59.94p、1080/59.94i 1080/29.97PsF、1080/23.98PsF、1080/23.98p (over 59.94i) 1080/50p、1080/50i、1080/25PsF 720/60p、720/59.94p、720/50p
------------	--

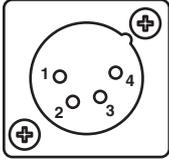
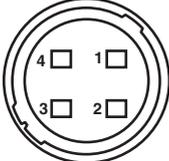
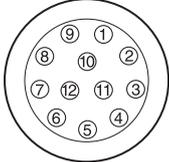
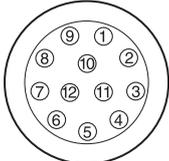
ビデオ入出力部

〈HD SDI OUT 1〉 端子	BNC×1 3G/1.5G SDI : 0.8 V [p-p]、75 Ω
〈HD SDI OUT 2〉 端子	BNC×1 1.5G SDI : 0.8 V [p-p]、75 Ω
〈UHD/HD SDI OUT 1〉 端子	BNC×1 3G/1.5G SDI : 0.8 V [p-p]、75 Ω
〈UHD/HD SDI OUT 2〉 端子	BNC×1 3G/1.5G SDI : 0.8 V [p-p]、75 Ω
〈UHD/HD SDI OUT 3〉 端子	BNC×1 3G/1.5G SDI : 0.8 V [p-p]、75 Ω
〈UHD/HD SDI OUT 4〉 端子	BNC×1 3G/1.5G SDI : 0.8 V [p-p]、75 Ω

その他入出力部

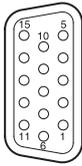
〈G/L IN〉 端子	BNC×1、1.0 V [p-p]、75 Ω
〈I/F〉 端子	D-SUB×1、15ピン
〈TALLY OUT〉 端子	4ピン×1
〈IRIS〉 端子	12ピン×1
〈ZOOM/FOCUS〉 端子	12ピン×1
〈LAN〉 端子	100BASE-TX/10BASE-T
〈DC IN〉 端子	XLR×1、4ピン、DC12 V (DC11 V - 17 V)

コネクター信号の内容

DC IN		
	1	UNREG GND
	2	未使用
	3	未使用
	4	+12 V
	HA16RA-4P (77) (ヒロセ電機)	
<p>NOTE</p> <p>・外部からの供給電源は、正しい極性で使用してください。</p>		
TALLY OUT		
	1	GND
	2	R TALLY (オープンコレクター)
	3	G TALLY (オープンコレクター)
	4	UNREG+12 V (最大 0.5 A)
	HR10A-7R-4SC (73) (ヒロセ電機)	
IRIS		
	1	リターンコントロール
	2	REC-START/STOP
	3	GND
	4	アイリスマニュアル切り替え
	5	アイリスコントロール
	6	UNREG +12 V (最大 0.75 A)
	7	IRIS-POSI
	8	IRIS-G-MAX
	9	EXT-POSI
	10	ズーム位置情報
	11	LENS-RXD
	12	LENS-TXD
HR10A-10R-12SC (71) (ヒロセ電機)		
ZOOM/FOCUS		
	1	フォーカスコントロールの切り替え
	2	ズームコントロールの切り替え
	3	GND
	4	未使用
	5	未使用
	6	未使用
	7	未使用
	8	フォーカスコントロール
	9	ズームコントロール
	10	未使用
	11	COM+V 電圧
	12	COM-V 電圧
HR10A-10R-12PC (71) (ヒロセ電機)		

I/F	
1	GND
2	未使用
3	未使用
4	TX_N (EIA422) /TXD (EIA232) 出力
5	RX_N (EIA422) /RXD (EIA232) 入力
6	未使用
7	G/L 信号入力
8	未使用
9	TX_P (EIA422) 出力
10	RX_P (EIA422) 入力
11	GND
12	未使用
13	GND
14	GND
15	GND

D02-M15SAG-20L9E (日本航空電子工業)



■ I/F ケーブル仕様

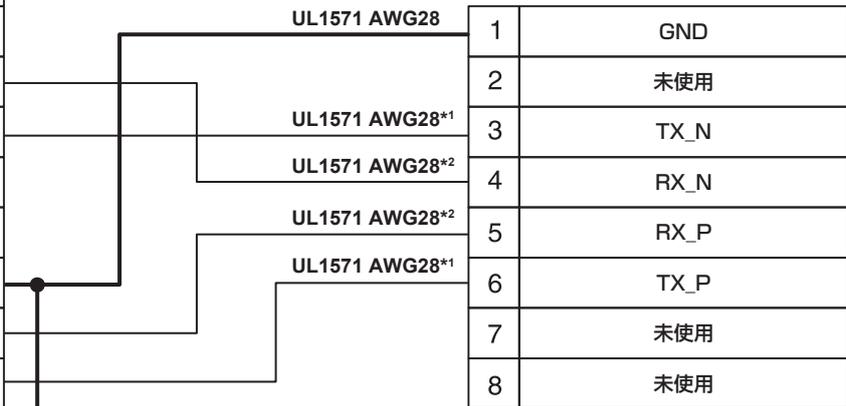
次の記載と同等か、それ以上の性能のケーブルを使用してください。

- AW-RP50/AW-RP120G/AK-HRP200G との接続

AK-UB300G
(I/F)端子側

GND	1
未使用	2
未使用	3
TX_N(EIA422)/TXD(EIA232)出力	4
RX_N(EIA422)/RXD(EIA232)入力	5
未使用	6
G/L 信号入力	7
未使用	8
TX_P(EIA422)出力	9
RX_P(EIA422)入力	10
GND	11
未使用	12
GND	13
GND	14
GND	15

AW-RP50/AW-RP120G
(TO PAN/TILT HEAD)端子側
AK-HRP200G
(RS-422)端子側



*1 ツイストペアケーブル使用

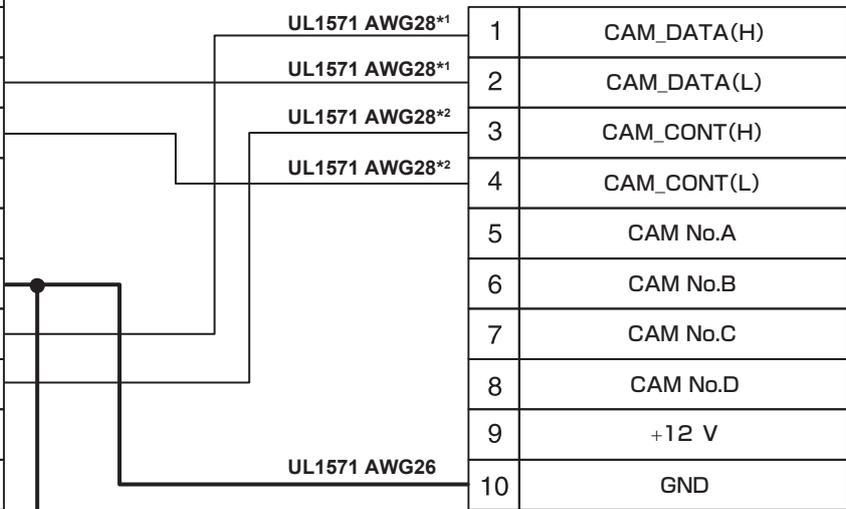
*2 ツイストペアケーブル使用

- AK-HRP1000/AK-HRP1005G との接続

AK-UB300G
(I/F)端子側

GND	1
未使用	2
未使用	3
TX_N(EIA422)/TXD(EIA232)出力	4
RX_N(EIA422)/RXD(EIA232)入力	5
未使用	6
G/L 信号入力	7
未使用	8
TX_P(EIA422)出力	9
RX_P(EIA422)入力	10
GND	11
未使用	12
GND	13
GND	14
GND	15

AK-HRP1000/AK-HRP1005G
(CCU)端子側



*1 ツイストペアケーブル使用
*2 ツイストペアケーブル使用

NOTE

- I/F ケーブル接続先のコネクターについては、対象になる機器の取扱説明書を参照してください。

さくいん

D		こ	
[DIAGNOSTIC]	70	コネクター信号	121
[DISPLAY SETUP]	49	し	
F		シャッタースピード	32
FBC	42	シャッターモード	32
[FILE]	68	出力フォーマット	38, 40
H		シンクロスキャンモード	32
[HDR-PAINT]	63	す	
I		スキャンリバース撮影	41
[IN/OUT SELECT]	65	スキントーン機能	33
[INTELLIGENT]	67	せ	
L		セーフティーゾーンマーカー	41
[Live] 画面		ゼブラパターン	41
シングル表示モード	84	センターマーカー	41
マルチ表示モード	88	た	
M		ダイナミックレンジストレッチャー機能	41
[MAINTENANCE]	69	て	
N		定格	119
[NETWORK SETUP]	68	ディテール機能	33
P		に	
[PAINT]	54	ニー機能	36
R		ね	
RB ゲインコントロール機能	34	ネットワーク設定	80
S		設定用ソフトウェア	80
[Setup] 画面	89	表示用プラグインソフトウェア	81
[Basic] 画面	90	は	
[Image] 画面	90	パーソナルコンピューターの環境	10
[Maintenance] 画面	99	ハイカラー機能	36
[Multi-screen setup] 画面	95	ふ	
[Network] 画面	97	フォーカスアシスト機能	42
[User mng.] 画面	96	ブラックコントロール機能	35
[SWITCH MODE]	50	ブラックバランス調整	30
[SYSTEM MODE]	64	フラッシュバンド補正機能	42
U		フランジバック調整	30
UB300 Setting Tool	103	フレーム周波数の設定	16
インストール	104	フレームマーカー	41
接続設定画面	107	ほ	
設定メニュー画面	108	ホワイトクリップ機能	36
トップ画面	106	ホワイトバランス調整	30
ファームウェアアップデート機能画面	107	ま	
UHD 切り出し機能	43	マトリックス機能	34
あ		め	
アイリスゲインボリューム調整	30	メニュー	
い		構成	48
インテリジェント機能	37	操作	46
お		ゆ	
オンスクリーン表示	26	ユーザーファイル	28
か		わ	
カラーコレクション機能	35	ワーニング表示	115
カラーバー	42		
ガンマ機能	35		
き			
霧除去機能	44		
く			
駆動時間	114		
クロマ設定機能	34		
け			
ゲンロック調整	31		

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

©Panasonic Connect Co., Ltd. 2016-2022